

# 注意制限事項集

1 注意 / 制限事項 .....	P.4
2 Notes and Restrictions.....	P.12
3 注意与限制事項 .....	P.21
4 注意與限制事項 .....	P.28
5 주의 및 제한 사항.....	P.35
6 หมายเหตุและข้อจำกัด .....	P.43
7 Catatan dan Batasan.....	P.53
8 Những chú ý và hạn chế .....	P.67

本書の中で、商品提供者として「富士ゼロックス株式会社」が使われている場合は、「富士フィルムビジネスイノベーション株式会社」と読み替えてください。

- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他の社名、または商品名等は各社の登録商標または商標です。

● このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。  
● このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。  
● このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

Xerox、Xerox ロゴ、Fuji Xerox ロゴ、および CentreWare は、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。  
DocuWorks、および Working Folder は、富士フィルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。

# 本書の使い方

## 本書の表記

- 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。



注記

注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。



補足

補足事項を記述しています。



参照

参照先を記述しています。

- 本文中では、次の記号を使用しています。

「	」	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 本書内にある参照先を表しています。</li><li>・ 機能の名称やタッチパネルディスプレイのメッセージ、入力文字列などを表しています。</li></ul>
『	』	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 参照するマニュアルを表しています。</li></ul>
[	]	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 機械のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。</li><li>・ コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。</li></ul>
{	}	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 操作や動作環境によって変わる値を表しています。 例：[{ログインユーザー名}] が表示されます。</li></ul>
<	> ボタン	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 機械の操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。</li></ul>
<	> キー	<ul style="list-style-type: none"><li>・ コンピューターのキーボード上のキーを表しています。</li></ul>
>		<ul style="list-style-type: none"><li>・ 機械の操作パネルで順に項目を選択する手順を、省略して表しています。 例：「[仕様設定 / 登録] &gt; [登録 / 変更] &gt; [ボックス登録] を選択します。」は、「[仕様設定 / 登録] を押して、[登録 / 変更] を押したあと、[ボックス登録] を選択します。」という手順を省略して記載したものです。</li><li>・ コンピューターで順に項目をクリックする手順を、省略して表しています。 例：「[スタート] &gt; [検索] &gt; [他のコンピュータ] で検索します。」は、「[スタート] ボタンをクリックして、[検索]、[他のコンピュータ] を順にクリックして検索します。」という手順を省略して記載したものです。</li><li>・ 参照先は、次のように表しています。 例：『管理者ガイド』の「5 仕様設定」 &gt; 「共通設定」 &gt; 「音の設定」を参照してください。」は、管理者ガイドの「5 章 仕様設定」内の、「共通設定」での「音の設定」を参照することを表しています。</li></ul>

# 1 注意 / 制限事項

- 業務別らくらくスキャン ..... P.4
- ペーパーレスファクス仕分け ..... P.9
- 複合機追加型アプリケーション更新 ..... P.11

## 業務別らくらくスキャン

### 全体に関する注意と制限

- スキャンおよび文書の転送機能を使用できない複合機に業務別らくらくスキャンを設定した場合、文書種類ボタンは表示されますが、スキャンおよび文書の転送はできません。
- 自動両面原稿送り装置が何らかの理由で使用できない場合でも、業務別らくらくスキャンで両面を指定できますが、入出力は片面で行われます。
- 複合機に関連機器を接続してご利用の場合、業務別らくらくスキャンでは、ユーザー情報を取得できる関連機器だけをサポートしています。  
次の機器を複合機に接続している場合は、動作を保証しません。
  - DocuLyzer
  - Coinkit
- 次の場合は、傾き補正が行われません。
  - 解像度が 600 dpi のカラー画像とグレー画像
  - 写真画像だけの原稿
- 転送先の 1 フォルダーに格納できる最大ファイル数およびフォルダー数は 10000 個です。

### ジョブ実行時の注意と制限

- ジョブの実行中にエラーが発生した場合は、ジョブが終了してもエラー画面が表示されません。この場合は、複合機のジョブ履歴にエラー情報が書き込まれるので、確認してください。ジョブ履歴の確認方法は、複合機に付属のマニュアルを参照してください。
- スキャン文書の送信先に同じ名前のファイルが存在した場合は、ファイル名の末尾にハイフン (-) と 4 桁の通し番号 (0001 ~ 9999) が付加されます。番号が 9999 を超えた場合はエラーになります。
- 複数の複合機から同じタイミングで、同じ名前のファイルを同じ送信先へ送った場合、ファイルが正しく転送されないことがあります。  
これを回避するために、ファイル名ルールには秒数を含めた日付を設定することをお勧めします (例: filename\_20151001123025.xdw)。
- FTP 転送では、SFTP (SSH FTP) や FTPS (FTP over SSL/TLS) などの暗号通信を伴うプロトコルには対応していません。
- 工場出荷時の設定では、FTP 通信は Passive モードで動作します。サーバーによっては、通信できるモードは Active モードだけという場合もあります。その場合は、CentreWare Internet Services から通信モードを変更してください。
- 送信先サーバーのファイルの格納先に、ファイルまたはフォルダーが 10000 個以上存在する場合は、スキャン文書が正しく処理されないことがあります。

## 業務別らくらくスキャンの設定に関する注意と制限

### データサイズに関する注意と制限

- 設定データのサイズが 1 MB を超えた場合は、エラーが表示され、設定が保存されません。この場合は、設定を見直し、データ量を減らしてください。

### 高圧縮機能に関する注意と制限

- 複合機の機種によっては、高圧縮機能に対応していない場合があります。詳しく、弊社の公式サイト「業務別らくらくスキャン」 > 「対応機種」 ページを参照してください。
- 高圧縮機能は、文書種類で次の値が設定されているときに使用できます。
  - ファイル形式  
PDF、DocuWorks のどちらか
  - 読み取り解像度 (dpi)  
200 dpi、300 dpi のどちらか
  - カラーモード  
フルカラー、自動、白黒 (256 階調) のどれか
- お使いの複合機によっては、高圧縮機能を使用するにはオプションの設定が必要な場合があります。詳細は、弊社担当者にお問い合わせください。

### 文字認識 (OCR) 機能に関する注意と制限

- 複合機の機種によっては、文字認識 (OCR) 機能に対応していない場合があります。詳しくは、弊社の公式サイト「業務別らくらくスキャン」 > 「対応機種」 ページを参照してください。
- 文字認識 (OCR) 機能は、文書種類で次の値が設定されているときに使用できます。
  - ファイル形式  
PDF、DocuWorks のどちらか
  - 読み取り解像度 (dpi)  
200 dpi、300 dpi のどちらか
  - 原稿の画質  
文字原稿、原稿に文字 / 写真混在のどちらか
- 文字認識 (OCR) 機能を使用するには、オプションのスキャン機能拡張キットが必要です。



#### 補足

お使いの複合機によっては、オプションの形式が異なる場合があります。詳細は、弊社担当者にお問い合わせください。

### 認証ユーザーへのメール送信機能に関する注意と制限

- 複合機で認証機能を設定していない場合や、認証ユーザーにメールアドレスが設定されていない場合は、認証ユーザーへのメール送信を有効にしても、メールは送信されません。
- 文書種類情報で [認証ユーザーに通知する] を選択し、[メール通知利用 (メールアドレス入力) 2] または [メール通知利用 (メールアドレス入力) 3] に認証ユーザーのメールアドレスを指定すると、同じメールアドレスに 2 通のメールが送信されます。

### DocuWorks のバージョンと規定属性 / 拡張属性に関する注意と制限

規定属性または拡張属性を DocuWorks 文書に保存した場合、ファイルを表示するには DocuWorks 7 以降が必要になります。

DocuWorks 7 より前のバージョンを使用している場合は、次のように規定属性と拡張属性を付与しない設定にしてください。

- [共通情報の設定] > [規定属性の付与] で [しない] を選択

- [文書種類設定] > [拡張属性] のチェックマークを外す、またはスキャン時の拡張属性の設定画面で [属性付与] を [しない] にする

### 設定情報の更新に関する注意と制限

- 複合機でジョブが実行されている、またはユーザーが操作パネルで操作しているときは、業務別らくらくスキャンの設定情報を更新できません。ジョブや操作パネルでの操作が終了したあと、あらためて更新操作をしてください。

### ファイル名のパス長に関する注意と制限

- ファイルのフルパス長が256バイト\*以上になる設定をした場合、ファイル名調整により、ファイル名ルールに指定したすべての項目がファイル名に付与されない場合があります。

\*：拡張子などを含んでいるため、ユーザーが指定できるパス長は 241 バイトです。



#### 補足

- ・「テキストのバイト数」は UTF-8 文字コードで表したバイト数です。文字によって、「テキストのバイト数」と、そのバイト数によって表現できる文字数が異なります。たとえば、日本語の全角文字は 2 ～ 4 バイトで表現されます。

### 処理言語に関する注意と制限

業務種類名、文書種類名、拡張属性名は、言語ごとに表示名が用意されているため、複合機で表示言語をあらかじめ設定する必要があります。表示名を未設定の言語は "not entered" が設定されます。

日本語と英語以外の言語の値の設定は、次の手順を実行してください。

#### 操作手順

- 1 複合機の [仕様設定 / 登録] > [共通設定] > [画面 / ボタンの設定] > [初期表示言語] を設定したい言語に変更します。
- 2 複合機を再起動します。
- 3 業務別らくらくスキャンの設定画面を表示します。
- 4 サイドメニューで [共通設定] > [共通情報の設定] を選択します。
- 5 [処理言語] を手順 1 で設定した言語に変更し、[新しい設定を適用] をクリックします。
- 6 サイドメニューで [らくらくスキャンの設定] を選択し、業務種類名、文書種類名、拡張属性名を設定します。

### SSL 通信時に Firefox ブラウザーを使用するときの注意と制限

Web ブラウザーに Firefox を使用して、SSL 通信が設定されている複合機にアクセスすると、CentreWare Internet Services が正しく表示されないことがあります。

この場合は、次の手順を実行してください。

#### 操作手順

- 1 Firefox ブラウザーを起動します。
- 2 ブラウザーのアドレス欄に「about:config」を入力して、<Enter> キーを押します。設定メニューが表示されます。
- 3 「security.tls.version.fallback-limit」の値を「1」に設定します。

## QR コードの印字サイズに関する注意と制限

スキャンした QR コードが正しく解読されるためには、QR コード自体の領域（コード領域）と QR コード周辺の余白を含めた領域（印字領域）を、正しいサイズで印字する必要があります。

下記の表に、QR コードの型番と誤り訂正レベル（L、M、Q、H）で決まる、QR コードに格納できるデータ量（バイト数）、およびそのデータ量に対応する読み取り解像度ごとのコード領域と印字領域の関係を示します。

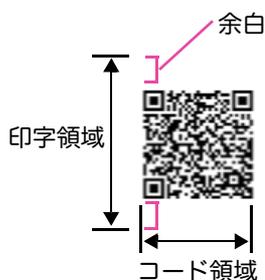
QR コード用文字列または QR コード付き文書を作成したときの QR コードのデータ量（テキストのバイト数）と、スキャン時の解像度に合わせて、適切なサイズの QR コードを作成し、印字してください。

### 補足

- ・「テキストのバイト数」は UTF-8 文字コードで表したバイト数です。  
文字によって、「テキストのバイト数」と、そのバイト数によって表現できる文字数が異なります。  
たとえば、日本語の全角文字は 2～4 バイトで表現されます。

例：

レベル H で 型番 15 を使用し、100 文字程度（最大 220 バイト）の QR コードを、解像度 300 dpi でスキャンして正しく解読するには、コード領域 39.1 mm、印字領域 45.2 mm の QR コードを印字する必要があります。



型番	データ量 (バイト)				M コード領域 (mm)				M 印字領域 (mm)			
	L	M	Q	H	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi
2	32	26	20	14	19.1	12.7	9.5	6.4	28.2	18.8	14.1	9.4
3	53	42	32	24	22.1	14.7	11	7.4	31.2	20.8	15.6	10.4
4	78	62	46	34	25.1	16.8	12.6	8.4	34.3	22.9	17.1	11.4
5	106	84	60	44	28.2	18.8	14.1	9.4	37.3	24.9	18.7	12.4
6	134	106	74	58	31.2	20.8	15.6	10.4	40.4	26.9	20.2	13.5
7	154	122	86	64	34.3	22.9	17.1	11.4	43.4	29	21.7	14.5
8	192	152	108	84	37.3	24.9	18.7	12.4	46.5	31	23.2	15.5
9	230	180	130	98	40.4	26.9	20.2	13.5	49.5	33	24.8	16.5
10	271	213	151	119	43.4	29	21.7	14.5	52.6	35.1	26.3	17.5
11	321	251	177	137	46.5	31	23.2	15.5	55.6	37.1	27.8	18.5
12	367	287	203	155	49.5	33	24.8	16.5	58.7	39.1	29.3	19.6
13	425	311	241	177	52.6	35.1	26.3	17.5	61.7	41.1	30.9	20.6
14	458	362	258	194	55.6	37.1	27.8	18.5	64.8	43.2	32.4	21.6
15	520	412	292	220	58.7	39.1	29.3	19.6	67.8	45.2	33.9	22.6
16	586	450	322	250	61.7	41.1	30.9	20.6	70.9	47.2	35.4	23.6
17	644	504	364	280	64.8	43.2	32.4	21.6	73.9	49.3	37	24.6

型番	データ量 (バイト)				M コード領域 (mm)				M 印字領域 (mm)			
	L	M	Q	H	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi
18	718	560	394	310	67.8	45.2	33.9	22.6	77	51.3	38.5	25.7
19	792	624	442	338	70.9	47.2	35.4	23.6	80	53.3	40	26.7
20	858	666	482	382	73.9	49.3	37	24.6	83.1	55.4	41.5	27.7
21	929	711	509	403	77	51.3	38.5	25.7	86.1	57.4	43.1	28.7
22	1003	799	565	439	80	53.3	40	26.7	89.2	59.4	44.6	29.7
23	1091	857	611	461	83.1	55.4	41.5	27.7	92.2	61.5	46.1	30.7
24	1171	911	661	511	86.1	57.4	43.1	28.7	95.3	63.5	47.6	31.8
25	1273	997	715	535	89.2	59.4	44.6	29.7	98.3	65.5	49.1	32.8
26	1367	1059	751	593	92.2	61.5	46.1	30.7	101.3	67.6	50.7	33.8
27	1465	1125	805	625	95.3	63.5	47.6	31.8	104.4	69.6	52.2	34.8
28	1528	1190	868	658	98.3	65.5	49.1	32.8	107.4	71.6	53.7	35.8
29	1628	1264	908	698	101.3	67.6	50.7	33.8	110.5	73.7	55.2	36.8
30	1732	1370	982	742	104.4	69.6	52.2	34.8	113.5	75.7	56.8	37.8
31	1840	1452	1030	790	107.4	71.6	53.7	35.8	116.6	77.7	58.3	38.9
32	1952	1538	1112	842	110.5	73.7	55.2	36.8	119.6	79.8	59.8	39.9
33	2068	1628	1168	898	113.5	75.7	56.8	37.8	122.7	81.8	61.3	40.9
34	2188	1722	1228	958	116.6	77.7	58.3	38.9	125.7	83.8	62.9	41.9
35	2303	1809	1283	983	119.6	79.8	59.8	39.9	128.8	85.9	64.4	42.9
36	2431	1911	1351	1051	122.7	81.8	61.3	40.9	131.8	87.9	65.9	43.9
37	2563	1989	1423	1093	125.7	83.8	62.9	41.9	134.9	89.9	67.4	45
38	2699	2099	1499	1139	128.8	85.9	64.4	42.9	137.9	91.9	69	46
39	2809	2213	1579	1219	131.8	87.9	65.9	43.9	141	94	70.5	47
40	2953	2331	1663	1273	134.9	89.9	67.4	45	144	96	72	48

## バーコードの印字サイズに関する注意と制限

スキャンしたバーコードが正しく解読されるためには、次の基準を満たす必要があります。

- バーコードの線幅が次の基準を満たすこと
  - 読み取り解像度を 200 dpi、300 dpi でスキャンする場合の最小の線幅：0.7 mm
  - 読み取り解像度を 400 dpi、600 dpi でスキャンする場合の最小の線幅：0.3 mm
- バーコード周辺の余白は、最小の線幅の 10 倍であること
- バーコードの最小の高さは 10 mm であること。この値は 10 桁を基準とした高さです。10 桁以上の場合は、桁数に比例した高さが必要です。

## 一般 QR コードおよび一般バーコードに関する注意と制限

一般 QR コードおよび一般バーコードをフォルダー名に指定した場合、該当文字列に含まれた「/」は、階層として扱われます。ただし、文字列末尾に含まれた場合については、無視されます。

## ペーパーレスファクス仕分け



補足

・一部の機種では、「ホーム画面」を「メニュー画面」と読み替えてください。

### 注意と制限

- 複合機の [設定] (一部の機種では、[仕様設定]) 画面で機械管理者 ID またはパスワードを変更した場合は、必ずペーパーレスファクス仕分けの機械管理者情報も変更してください。複合機とペーパーレスファクス仕分けで機械管理者 ID またはパスワードが異なると、通常の動作と例外動作の切り替えができなくなります。

ペーパーレスファクス仕分けの機械管理者 ID またはパスワードを変更する手順は、「機械管理者 ID/パスワードを変更する」(P.11) を参照してください。

- 転送先 (SMB、FTP、Working Folder) のパスワードを変更した場合は、ペーパーレスファクス仕分け側でも転送先のパスワード設定を変更してください。変更しないと転送エラーとなります。
- [ペーパーレスファクス動作切り替え] による通常動作 / 例外動作の切り替え履歴は、設定情報のエクスポートの対象外です。
- Working Folder サーバーのメンテナンス中は、Working Folder へ転送できません。転送エラーとなり、ボックス内に文書が蓄積されます。ボックス内に蓄積された文書を転送する場合は、「ボックス内の文書を手動で転送する」(P.10) の操作をしてください。
- ペーパーレスファクス仕分け画面で各項目の設定を保存すると、自動的に次の内容が設定されます。
  - 新規ボックスの作成、または既存のボックスの変更
  - 新規ジョブフローの作成、または既存のジョブフローの修正
  - 回線別ボックスセクターの設定
  - ボックスセクターの有効化
  - 親展受信レポートを [自動出力しない] に変更
  - ホーム画面のボタン配置の変更
- ペーパーレスファクス仕分け画面で各項目を設定すると、親展受信レポートの自動出力が無効になります。親展受信レポートを自動的に出力する運用をしている場合は、[設定] > [システム設定] > [レポート設定] (一部の機種では、[仕様設定] > [共通設定] > [レポート設定]) で [自動出力する] に設定し直してください。
- ペーパーレスファクス仕分けで設定した回線とボックスの関連付け、およびボックスとジョブフローの関連付けを、複合機本体の操作メニューで変更しないでください。
- ペーパーレスファクス仕分け画面で宛先表から転送先を設定したあと、複合機の宛先表を変更しても、ペーパーレスファクス仕分けの転送先は自動で変更されません。宛先表の登録内容を変更した場合は、再度設定し直してください。
 

ペーパーレスファクス仕分けで作成されたジョブフローは、複合機の宛先表と連動していません。
- ペーパーレスファクス仕分けで作成されたジョブフローは、CentreWare Internet Services や Device Setup (デバイス設定ツール) では編集できません。
- 次の場合は、ペーパーレスファクス仕分けの設定画面の [文書取り出し後の削除] の設定に関係なく、文書が削除されます。
  - [設定] > [アプリ設定] > [ボックス操作設定] > [外部取り出し後の文書削除] (一部の機種では、[仕様設定] > [ボックス設定] > [外部取り出し後の文書削除]) で [強制的に削除する] が設定されている場合：

各ボックスに設定されている値は無効になり、外部から文書が取り出されると、取り出された文書は強制的に削除されます。

- [設定] > [アプリ設定] > [ボックス操作設定] > [ボックス文書の保存期間]（一部の機種では、[仕様設定] > [保存文書設定] > [ボックス文書の保存期間]）で文書の保存期間が設定されていて、かつ [ボックス操作] > [ボックス設定] > [保存期間経過文書の削除]（一部の機種では、[登録 / 変更] > [ボックス登録] > [保存期間経過文書の削除]）が有効になっている場合：

保存期間が経過した文書は、指定された時刻に削除されます。

- 転送時に転送先のサーバーの不具合やネットワーク障害などで転送エラーが発生した場合、文書はボックス内に蓄積されます。このとき、転送先に作成したフォルダーは消去せず保持します。転送エラーとして蓄積された文書は、障害が解消されても再度転送されません。ボックス内に蓄積された文書を転送したい場合は、「ボックス内の文書を手動で転送する」(P.10)の操作をしてください。転送先に作成済のフォルダーに再送されます。

また、転送の自動実行を一時的に停止したときにボックス内に蓄積された文書は、転送の自動実行を再開しても自動で転送されません。ボックス内に蓄積された文書を転送したい場合も、「ボックス内の文書を手動で転送する」(P.10)の操作をしてください。

- 転送失敗時にボックスに文書が残っていることを気づきやすくするために、メニュー上の見やすいところにボックスのアイコンを配置することをお勧めします。

また、詳細なエラー情報を確認できるように、未送信レポートの自動出力を設定することをお勧めします（初期設定では、自動出力する設定です）。

詳しくは、『ペーパーレスファクス仕分け 取扱説明書』の「トラブル対処に役に立つ設定」を参照してください。

- ファイルのフルパス長が256バイト\*以上になる設定をした場合、エラーになりファイルは転送されません。

\*：拡張子などを含んでいるため、ユーザーが指定できるパス長は241バイトです。



#### 補足

・「テキストのバイト数」はUTF-8文字コードで表したバイト数です。

文字によって、「テキストのバイト数」と、そのバイト数によって表現できる文字数が異なります。

たとえば、日本語の全角文字は2～4バイトで表現されます。

- 転送先の1フォルダーに格納できる最大ファイル数およびフォルダー数は10000個です。

## ボックス内の文書を手動で転送する

転送エラー発生時や転送の一時停止中にボックス内に蓄積された文書は、次の手順で転送できます。

### 操作手順

- 1 次の操作で、文書が保存されているボックスを選択します。

▷ ホーム画面に、ペーパーレスファクス受信用ボックスのボタンを配置している場合

- (1) ホーム画面を表示して、対象のボックスのボタンを押します。

▷ ペーパーレスファクス受信用ボックスのボタンを配置していない場合

- (1) ホーム画面を表示して、[ボックス操作] を押します。
- (2) [ボックス操作] 画面で、対象のボックスを選択します。

- 2 転送する文書を選択します。

- 3 [ジョブフローの設定 / 実行] を押します。

- 4** **[このジョブフローを実行] を押します。**  
設定されている転送先に文書が転送されます。



**補足**

- ・例外動作を設定している期間や時間帯に上記の手順で転送操作をした場合、通常の転送先ではなく、例外動作の転送先に文書が転送されます。

## 機械管理者 ID/ パスワードを変更する

複合機の機械管理者 ID またはパスワードを変更した場合は、ペーパーレスファクス仕分けでも機械管理者 ID またはパスワードを変更する必要があります。

機械管理者 ID とパスワードは、次の手順で変更できます。

### 操作手順

- 1** ペーパーレスファクス仕分けを起動します。



**補足**

- ・以降は、操作パネルから起動した画面例を記載しています。



**参照**

操作方法は次を参照してください。

- ・操作パネルから起動する場合、『ペーパーレスファクス仕分け 取扱説明書』の「複合機の操作パネルから設定する」>「設定画面を表示する」を参照してください。
- ・インターネットサービスを使用する場合、『ペーパーレスファクス仕分け 取扱説明書』の「インターネットサービスから設定する」>「設定画面を表示する」を参照してください。

- 2** 複合機の機械管理者情報が変更されているときは、**[機械管理者 ID/ パスワードの登録]** 画面が表示されます。新しい**[機械管理者 ID]** と **[機械管理者パスワード]** を入力し、**[OK]** (または**[決定]**) を押します。

ペーパーレスファクス仕分けの機器管理者情報が変更されます。

- 3** このあと **[ペーパーレスファクス仕分け]** 画面が表示されるので、必要に応じて設定するか、何も設定しないで画面を閉じます。

## 複合機追加型アプリケーション更新

- 自動更新が実行される日程は、複合機のシリアル番号ごとに異なります。複数の複合機の追加型アプリケーションを同時に更新したい場合は、手動更新を実行してください。
- 手動更新画面から **[追加型アプリケーション更新]** と他のアプリケーションを選択し更新すると、他のアプリケーションのみ更新されないことがあります。この場合は、再度手動で更新を行ってください。

## 2 Notes and Restrictions

- Scan Delivery ..... P.12
- Paperless Fax Delivery..... P.17
- Updatings for Add-on Application..... P.20

### Scan Delivery

#### Overall Notes and Restrictions

- If you set Scan Delivery for the multifunction device to which the scan and document forwarding features are not available, document type buttons are displayed, but you cannot scan or forward documents.
- When the duplex automatic document feeder is not usable for some reason, you can specify 2 Sided in Scan Delivery, but input and output are performed by 1 Sided.
- If you use the multifunction device connected to the related equipment, Scan Delivery supports only related devices from which user information is retrieved.  
This service is not guaranteed when a billing device is connected to the multifunction device.
- In the following cases, Skew Correction is not performed.
  - Color images and grayscale images whose resolution is 600 dpi
  - Photographic images only
- The maximum number of files and folders that can be stored in one folder of the transfer destination is 10000.

#### Notes and Restrictions When Executing Jobs

- When an error occurs at the time of executing a job, the error screen is not displayed even when a job is done. In that case, error information is written in the job history of the multifunction device. And then check it. For the checking method of the job history, refer to the guide provided with the multifunction device.
- If there is a file with the same name in the transfer destination, a hyphen (-) and a four-digit number (0001 to 9999) are added to the end of the file name. If the number is over 9999, an error occurs.
- If the same file is sent to the transfer destination at the same time from more than one multifunction device, a file may not be sent correctly.  
To prevent this, for file name rule, preferably the date and time including the second is set (For example: filename\_20151001123025.xdw).
- The FTP forwarding does not support protocols with cryptographic communication such as SFTP (SSH FTP) and FTPS (FTP over SSL/TLS).
- FTP communication is operated in Passive mode by factory default. Depending on servers, the mode that can communicate can be only Active mode. In that case, change communication mode from CentreWare Internet Services.
- If there are 10,000 or more files and folders in the file storage destination of the transfer destination server, scan documents may not be correctly processed.

## Notes and Restrictions about Scan Delivery

### Notes and Restrictions about Date Size

- If the size of the setting data exceeds 1 MB, an error will be displayed and the setting information will not be saved. In this case, change settings so that the data amount can be reduced.

### Notes and Restrictions about High Compression Feature

- Some models of the multifunction devices may not support the High Compression feature.
- The High Compression feature is available when the following values are set in the document type.
  - File Format  
PDF or DocuWorks
  - Resolution  
200 dpi or 300 dpi
  - Color Scanning  
Color, Auto, or Grayscale
- Depending on your multifunction device, some option settings may be required to use this feature. For more information, contact our Customer Support Center.

### Notes and Restrictions about Searchable Text Feature

- Some models of the multifunction devices may not support the Searchable Text feature.
- The Searchable Text feature is available when the following values are set in the document type.
  - File Format  
PDF or DocuWorks
  - Resolution  
200 dpi or 300 dpi
  - Original Type  
Text or Photo & Text
- To use the Searchable Text feature, an optional Advanced Scan Kit is required.



#### Note

Depending on your multifunction device, optional components may differ. For more information, contact our Customer Support Center.

### Notes and Restrictions about the Feature to Send E-mail Notification to Authenticated Users

- If the authentication feature is not enabled on the multifunction device or authenticated user's e-mail addresses are not registered with the multifunction device, e-mails are not send even if the Notify Authenticated User feature is enabled.
- If you select [Notify Authenticated User] on the Document Type Settings screen and specify the e-mail address of the authenticated user for [E-mail Notification (Enter E-mail Address) 2] or [E-mail Notification (Enter E-mail Address) 3], two e-mails will be sent to the address.
- When XSA (Xerox Standard Accounting) is applied to the multifunction device, [Notify Authenticated User] is not displayed and cannot be used.

## Notes and Restrictions about DocuWorks Version and Regular Attributes/Extended Attributes

If regular attributes or extended attributes are added to DocuWorks Document, DocuWorks 7 or later are required to view the document.

If you use DocuWorks 7 or earlier, be sure to set the following so that regular attributes and extended attributes cannot be added.

- Selecting [Off] under [Common Information Settings] > [Apply Specified Attributes]
- Deselecting the [Extended Attributes] check box in [Document Type Settings], or selecting [No] for [Add Attribute] on the screen to set extended attributes when scanning

## Notes and Restrictions about Update of Setting Information

- The setting information of Scan Delivery cannot be updated while the multifunction device is processing jobs or is being operated by a user through the control panel. After the jobs are complete or user's operation through the control panel is finished, try to update the setting information again.

## Notes and Restrictions about Path Length of File Names

- If you set the full path length of the file to 256 bytes\* or more, all items specified in the file name rule may not be added to the file name due to file name adjustment.

\*: The extension is included. The path length that can be specified by the user is 241 bytes.



### Note

- "Byte" in the table means the number of byte by the UTF-8 character code. "The number of bytes of the text" and the number of characters that expressed by the bytes depends on characters. For example, full-width characters are described with two to four bytes.

## Notes and Restrictions about Processing Language

The display language must be set in the multifunction device in advance, as display names are prepared for each language for the category type name, document type name, and extended attribute name. "Not entered" is set for languages for which the display name has not been set.

Perform the following steps to set values for languages other than Japanese and English.

### Steps

- 1** [Device]> [Common Settings]> [Screen / Button Settings]> [Default Language] on the multifunction device to the language you want to set.
- 2** Restart the multifunction device.
- 3** Display the setting screen for Scan Delivery.
- 4** From the side menu, select [Common Service Settings]> [Common Information Settings].
- 5** Change [Processing Language] to the language set in step 1, and click [Apply].
- 6** Select [Scan Delivery Settings] from the side menu, and set the category type name, document type name, and extended attribute name.

## Notes and Restrictions When You Use the Firefox Browser at the Time of SSL Communication

If you access the multifunction device for which SSL communication is set, by using Firefox for a web browser, CentreWare Internet Services may not be properly displayed.

In that case, execute the following steps.

### Steps

- 1 Start the Firefox browser.
- 2 Input “about:config” in the address bar of the browser and press the <Enter> key.  
The settings menu is displayed.
- 3 Set the value of “security.tls.version.fallback-limit” to 1.

## Notes and Restrictions about the Printing Size of a QR Code

To decode scanned QR code properly, it is necessary to print in the right size the QR code area (code area) and the area inclusive of margins around QR code (printing area).

The following table shows data amount (number of byte) which you can store in QR code determined by the QR code model number and error correction levels (L, M, Q, H), and the relation between the code area and printing area per reading resolution corresponding to the data amount.

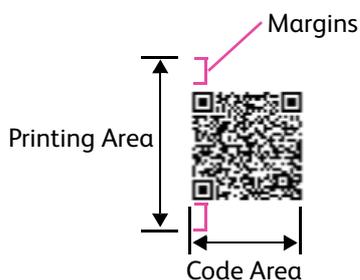
According to QR code data amount (numbers of text byte) when creating text strings for QR codes or documents with QR codes, and resolution at the time of scan, generate and print QR code of suitable size.

### Note

- “Byte” in the table means the number of byte by the UTF-8 character code.  
“The number of bytes of the text” and the number of characters that expressed by the bytes depends on characters. For example, full-width characters are described with two to four bytes.

For example:

To use Model No. 15 at Level H, scan QR code of about 100 characters (up to 220 bytes) in resolution of 300 dpi, and decode it properly, you must print a QR code of the code area of 39.1 mm and the printing area of 45.2 mm.



To use Model No. 15 at Level H, scan QR code of about 100 characters (up to 220 bytes) in

Model No.	Data Amount (Byte)				M Code Area (mm)				M Printing Area (mm)			
	L	M	Q	H	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi
2	32	26	20	14	19.1	12.7	9.5	6.4	28.2	18.8	14.1	9.4
3	53	42	32	24	22.1	14.7	11	7.4	31.2	20.8	15.6	10.4
4	78	62	46	34	25.1	16.8	12.6	8.4	34.3	22.9	17.1	11.4

Model No.	Data Amount (Byte)				M Code Area (mm)				M Printing Area (mm)			
	L	M	Q	H	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi
5	106	84	60	44	28.2	18.8	14.1	9.4	37.3	24.9	18.7	12.4
6	134	106	74	58	31.2	20.8	15.6	10.4	40.4	26.9	20.2	13.5
7	154	122	86	64	34.3	22.9	17.1	11.4	43.4	29	21.7	14.5
8	192	152	108	84	37.3	24.9	18.7	12.4	46.5	31	23.2	15.5
9	230	180	130	98	40.4	26.9	20.2	13.5	49.5	33	24.8	16.5
10	271	213	151	119	43.4	29	21.7	14.5	52.6	35.1	26.3	17.5
11	321	251	177	137	46.5	31	23.2	15.5	55.6	37.1	27.8	18.5
12	367	287	203	155	49.5	33	24.8	16.5	58.7	39.1	29.3	19.6
13	425	311	241	177	52.6	35.1	26.3	17.5	61.7	41.1	30.9	20.6
14	458	362	258	194	55.6	37.1	27.8	18.5	64.8	43.2	32.4	21.6
15	520	412	292	220	58.7	39.1	29.3	19.6	67.8	45.2	33.9	22.6
16	586	450	322	250	61.7	41.1	30.9	20.6	70.9	47.2	35.4	23.6
17	644	504	364	280	64.8	43.2	32.4	21.6	73.9	49.3	37	24.6
18	718	560	394	310	67.8	45.2	33.9	22.6	77	51.3	38.5	25.7
19	792	624	442	338	70.9	47.2	35.4	23.6	80	53.3	40	26.7
20	858	666	482	382	73.9	49.3	37	24.6	83.1	55.4	41.5	27.7
21	929	711	509	403	77	51.3	38.5	25.7	86.1	57.4	43.1	28.7
22	1003	799	565	439	80	53.3	40	26.7	89.2	59.4	44.6	29.7
23	1091	857	611	461	83.1	55.4	41.5	27.7	92.2	61.5	46.1	30.7
24	1171	911	661	511	86.1	57.4	43.1	28.7	95.3	63.5	47.6	31.8
25	1273	997	715	535	89.2	59.4	44.6	29.7	98.3	65.5	49.1	32.8
26	1367	1059	751	593	92.2	61.5	46.1	30.7	101.3	67.6	50.7	33.8
27	1465	1125	805	625	95.3	63.5	47.6	31.8	104.4	69.6	52.2	34.8
28	1528	1190	868	658	98.3	65.5	49.1	32.8	107.4	71.6	53.7	35.8
29	1628	1264	908	698	101.3	67.6	50.7	33.8	110.5	73.7	55.2	36.8
30	1732	1370	982	742	104.4	69.6	52.2	34.8	113.5	75.7	56.8	37.8
31	1840	1452	1030	790	107.4	71.6	53.7	35.8	116.6	77.7	58.3	38.9
32	1952	1538	1112	842	110.5	73.7	55.2	36.8	119.6	79.8	59.8	39.9
33	2068	1628	1168	898	113.5	75.7	56.8	37.8	122.7	81.8	61.3	40.9
34	2188	1722	1228	958	116.6	77.7	58.3	38.9	125.7	83.8	62.9	41.9
35	2303	1809	1283	983	119.6	79.8	59.8	39.9	128.8	85.9	64.4	42.9
36	2431	1911	1351	1051	122.7	81.8	61.3	40.9	131.8	87.9	65.9	43.9
37	2563	1989	1423	1093	125.7	83.8	62.9	41.9	134.9	89.9	67.4	45
38	2699	2099	1499	1139	128.8	85.9	64.4	42.9	137.9	91.9	69	46
39	2809	2213	1579	1219	131.8	87.9	65.9	43.9	141	94	70.5	47
40	2953	2331	1663	1273	134.9	89.9	67.4	45	144	96	72	48

## Notes and Restrictions about the Printing Size of a Barcode

To decode a scanned barcode properly, the following criteria needs to be met.

- The line width of the barcode must meet the following criterion.
  - Minimum line width when scanning with a scanning resolution of 200 dpi or 300 dpi: 0.7 mm
  - Minimum line width when scanning with a scanning resolution of 400 dpi or 600 dpi: 0.3 mm
- The minimum height of the barcode must be 10 mm
- This value is the height for the criterion when there are 10 digits. When there are more than 10 digits, the height needs to be proportional to the number of digits.

## Notes and Restrictions about General QR Code and Barcode

When a general QR code and barcode are specified for the folder name, "/" included in the corresponding character string is treated as a hierarchy. However, if it is included at the end of the character string, it is ignored.

## Paperless Fax Delivery



### Note

- With some models, read "Home screen" as "Services Home screen".

## Notes and Restrictions

- If the system administrator ID or passcode is changed through the [Device] (for some models, [System Settings]) menu of the multifunction device, be sure to change the system administrator information set in Paperless Fax Delivery. If the system administrator ID or passcode registered with Paperless Fax Delivery differs from those of the multifunction device, the multifunction device cannot switch between the exception and the usual rule. For information on how to change the system administrator ID or passcode with Paperless Fax Delivery, refer to ""Change System Administrator ID/Passcode (Password)"(P.19).
- If the password for the transfer destination (SMB, FTP, or Working Folder) has been changed, make sure to change the password with Paperless Fax Delivery. Otherwise, a transfer error occurs.
- Normal/exception switching history of [Switch Paperless Fax Operation] are not exported with other settings.
- Incoming faxes cannot be transferred to Working Folder while the Working Folder server are being maintained. It leads to a transfer error, and the faxes received during the maintenance are stored on the incoming folder. To transfer the faxes stored on the folder to the server, perform the steps described in "Forward Received Faxes Stored in a Folder Manually"(P.19).
- If you save the setting for each item on the Paperless Fax Delivery screen, the following will be automatically configured or handled.
  - Creating a new folder or changing the existing folder
  - Creating a new job flow sheet or editing the existing job flow sheet
  - Setting a folder selector by line
  - Activating a folder selector
  - Setting the Folder Report feature to [Off]
  - Changing button layout on the Services Home screen (with some models, Menu screen)

- If each setting is specified on the Paperless Fax Delivery screen, the Folder Report feature is automatically disabled. To print a Folder Report automatically, select [On] under [Device] > [System Settings] > [Reports] (for some models, [System Settings] > [Common Service Settings] > [Reports]).
- Make sure not to change both the links between fax lines and folders and the links between folders and job flow sheets set with Paperless Fax Delivery through the operation menu of the multifunction device.
- If the information registered with the Address Book of the multifunction device is changed after the transfer destination is specified from the Address Book on the Paperless Fax Delivery screen, the information on the specified destination is not updated automatically with Paperless Fax Delivery. In this case, you must set the transfer destination again.  
The job flow sheet created with Paperless Fax Delivery is not interlocked with the Address Book of the multifunction device.
- The job flow sheet created with Paperless Fax Delivery cannot be edited using CentreWare Internet Services or Device Setup tool.
- The received faxes stored in the folder are deleted in the following cases, regardless of the setting for [Delete Files After Retrieval] on the setting screen of Paperless Fax Delivery.
  - When [Force Delete] is selected under [Device] > [App Settings] > [Send from Folder Settings] > [Files Retrieved By Client] (for some models, [System Settings] > [Folder Service Settings] > [Files Retrieved By Client]):  
The settings for each folder are ignored, and the received faxes stored in the folder are forcibly deleted when they are retrieved by a client.
  - When the expiration date is specified under [Device] > [App Settings] > [Send from Folder Settings] > [File Retention Period] (for some models, [System Settings] > [Stored File Settings] > [Expiration Date for Files in Folder]) and [Yes] is selected under [Send from Folder] > [Folder Settings] > [Delete Expired Files] (for some models, [Setup] > [Create Folder] > [Delete Expired Files]):  
The expired files in the folder are deleted at the specified time.
- When an error occurs due to the malfunction on the destination server or a network failure while forwarding received faxes, they are stored in a folder. At this time, the folder created at the transfer destination is retained without being deleted. However, they are not forwarded to the specified destination again even if the error is solved. To forward received faxes stored in the folder, perform the procedure described in "Forward Received Faxes Stored in a Folder Manually"(P.19). The faxes are forwarded again to the folder created at the transfer destination.  
Moreover, the received faxes stored in the folder when the Transfer Auto Start feature is disabled temporarily are not forwarded automatically, even if the feature is enabled. To forward received faxes stored in the folder, perform the procedure described in "Forward Received Faxes Stored in a Folder Manually"(P.19).
- We recommend that you place folder icons somewhere you can easily find them on the Services Home screen, these help you to realize that some faxes are left in the incoming folder.  
Moreover, we recommend that you configure the setting to automatically print "Transmission Report - Job Undelivered" so that detailed error information can be confirmed (This setting is enabled by default.).  
For more details, refer to "Helpful Settings for Troubleshooting" in the "Paperless Fax Delivery User Guide".

- If you set the full path length of the file to 256 bytes\* or more, an error occurs and the file is not transferred.
- \*: The extension is included. The path length that can be specified by the user is 241 bytes.

**Note**

- “Byte” in the table means the number of byte by the UTF-8 character code.  
“The number of bytes of the text” and the number of characters that expressed by the bytes depends on characters. For example, full-width characters are described with two to four bytes.
- The maximum number of files and folders that can be stored in one folder of the transfer destination is 10000.

## Forward Received Faxes Stored in a Folder Manually

This section describes how to forward the faxes that are stored in a folder when an error occurs while forwarding them or when the Transfer Auto Start feature is disabled temporarily.

### Steps

#### 1 Select a folder where received faxes are stored according to the following sub steps.

▶ When folders for the Paperless Fax service are assigned to buttons on the Services Home screen (with some models, Menu screen)

- (1) Display the Services Home screen (with some models, Menu screen) and press the desired folder button.

▶ When folders for the Paperless Fax service are not assigned to buttons on the Services Home screen

- (1) Display the Services Home screen and press [Send from Folder].
- (2) On the [Send from Folder] screen, select the desired folder.

#### 2 Select files to be forwarded from the folder.

#### 3 Press [Job Flow Settings...].

#### 4 Press [Start Current Job Flow].

The received faxes in the folder are forwarded to the specified destination.

**Note**

- If you transfer the received faxes in accordance with the above steps at the scheduled time for the exception, the faxes will not be transferred to the folder specified for the usual rule but transferred to the folder specified for the exception.

## Change System Administrator ID/Passcode (Password)

If the system administrator ID or passcode has been changed with the multifunction device, also it must be changed with Paperless Fax Delivery.

The system administrator ID or passcode (password) can be changed in accordance with the following steps.

### Steps

#### 1 Start Paperless Fax Delivery.

**Note**

- The following describes how to start up through the control panel, as an example.



**See**

For more information on the start-up, refer to the following.

- When starting up through the control panel of the multifunction device, refer to "Setup through Control Panel of Multifunction Device" > "Display the Setting Screen" in the "Paperless Fax Delivery User Guide".
- When starting up using Internet Services, refer to "Setup Using Internet Services" > "Display the Setting Screen" in the "Paperless Fax Delivery User Guide".

- 2 When the system administrator information of the multifunction device has been changed, the [Register System Administrator ID/Password] screen appears. Enter a new system administrator ID and passcode in [System Administrator ID] and in [System Administrator Password], and press [OK] (or [Save]).**  
The system administrator information of Paperless Fax Delivery is changed.
- 3 After the change, as the [Paperless Fax Delivery] screen is displayed, configure the settings as necessary, or close the screen without any setting.**

## Updatings for Add-on Application

- The schedule at which automatic updating is executed differs for each multifunction device serial number. If you wish to update the add-on applications of multiple multifunction devices at the same time, execute manual updating.
- If you select [Updating for Add-on Apps] and other applications together from the manual update screen, and update, the other applications may not be updated. In this case, please update manually again.

## 3 注意与限制事项

- 扫描专递 ..... P.21
- 无纸传真专递 ..... P.25
- Updatings for Add-on Application ..... P.27

### 扫描专递

#### 整体注意与限制事项

- 在不具备扫描及文档传送功能的复合机上设定扫描专递时，虽然显示文档类型按钮，但不能扫描和传送文档。
- 由于某种原因无法使用自动双面输稿器时，虽然可在扫描专递上指定双面，但仅单面进行输入输出。
- 相关设备与复合机连接使用时，扫描专递只支持可以获取用户信息的设备。  
连接计费设备与复合机时，将无法保证此功能。
- 对于以下情况，不进行校正倾斜。
  - 分辨率设为 600 dpi 的彩色或灰度图像
  - 仅为照片图像的原稿
- 传送对象的一个文件夹中可保存的文件和文件夹的最大数量为 10000。

#### 执行作业时的注意与限制事项

- 执行作业过程中发生错误时，即使作业结束后也不显示错误画面。此时，会在复合机的作业记录中记入错误信息，请进行确认。有关作业记录的确认方法，请参照复合机随附的说明书。
- 已存在与扫描文档的通信对象相同名称的文件时，则在文件名称的末尾附加破折号 (-) 和 4 位序号 (0001 ~ 9999)。编号超过 9999 时会出现错误。
- 在同一时间从多台复合机将相同名称的文件发送至相同的通信对象时，有时无法正确传送文件。  
为避免此情况，建议在文件名称规则中设定含秒数在内的日期。(例如：  
filename\_20151001123025.xdw)
- 对于 FTP 传送，不支持 SFTP (SSH FTP) 和 FTPS (FTP over SSL/TLS) 等带暗号通信的通信协议。
- FTP 通信的出厂默认设置为以 Passive 模式运行。根据服务器不同，也可能出现可通信模式仅为 Active 模式的情况。此时，请从 CentreWare Internet Services 更改通信模式。
- 通信对象服务器的文件存储位置存在 10000 个以上的文件或文件夹时，有时无法正确处理扫描文档。

#### 设定扫描专递的相关注意与限制事项

##### 数据大小的相关注意和限制事项

- 如果设定数据的大小超过 1 MB，将显示错误，并且将不保存设定信息。在这种情况下，更改设定，以便减少数据量。

##### 高压缩功能的相关注意和限制事项

- 一些型号的复合机可能不支持高压缩功能。
- 在文档类型中设定以下值时，高压缩功能可用。
- 文件格式  
PDF 或 DocuWorks

- 扫描分辨率 (dpi)  
200 dpi 或 300 dpi
- 色彩模式  
全彩、自动或黑白 (256 色阶)
- 根据您的复合机, 可能需要一些选项设定才能使用此功能。更多信息, 请联系我们的客户支持中心。

#### 可搜索文本功能的相关注意和限制事项

- 一些型号的复合机可能不支持可搜索文本功能。
- 在文档类型中设定以下值时, 可搜索文本功能可用。
- 文件格式  
PDF 或 DocuWorks
- 扫描分辨率 (dpi)  
200 dpi 或 300 dpi
- 原稿画质  
文字原稿或文字 / 照片混合原稿
- 要使用文字识别 (OCR) 功能, 需要选配的扫描功能扩展套件。



#### 补充

根据您的复合机, 选装组件可能有所不同。更多信息, 请联系我们的客户支持中心。

#### 向已认证用户发送电子邮件通知功能的相关注意和限制事项

- 如果复合机上未启用认证功能, 或者如果未在复合机上登记已认证用户的电子邮件地址, 则即使启用了通知已认证用户功能, 也不会发送电子邮件。
- 如果您在文档类型设定画面上选择 [ 通知登录用户 ] 并为 [ 使用邮件通知 ( 输入邮件地址 )2] 或 [ 使用邮件通知 ( 输入邮件地址 )3] 指定已认证用户的电子邮件地址, 将向此地址发送两封电子邮件。
- 当 XSA (Xerox Standard Accounting) 应用于复合机时, 不会显示 [ 通知登录用户 ] 且无法使用。

#### DocuWorks 版本和常规属性 / 扩展属性的相关注意和限制事项

如果为 DocuWorks 文档添加常规属性或扩展属性, 需要 DocuWorks 7 或更高版本才能查看文档。

如果您使用 DocuWorks 7 或更早版本, 请务必设定以下项, 这样便无法添加常规属性和扩展属性。

- 在 [ 设定通用信息 ] > [ 赋予默认属性 ] 下方选择 [ 无 ]
- 在 [ 文档类型设定 ] 中取消选中 [ 扩展属性 ] 复选框, 或者在画面上为 [ 赋予属性 ] 选择 [ 无 ], 以设定扫描时的扩展属性

#### 设定信息更新的相关注意和限制事项

- 当复合机正在处理作业时或者用户通过控制面板操作复合机时, 扫描专递的设定信息无法更新。作业完成后或者用户通过控制面板的操作结束后, 重新尝试更新设定信息。

#### 文件名称的路径长度的相关注意和限制事项

如果将文件的完整路径长度设置为 256 个字节 \* 或更多, 那么由于文件名称的调整, 按照文件名称规则指定的所有项目可能不会被添加到文件名称中。

\*: 包含扩展名。用户可以指定的路径长度为 241 个字节。



#### 补充

- 表格中的“字节”为 UTF-8 字符代码所表示的字节数。  
“文本的字节数”和由字节表示的字符数取决于字符。例如, 全角字符表示为 2 ~ 4 个字节。

#### 处理语言的相关注意和限制事项

必须在复合机中预先设置显示语言, 因为各语言的业务类型名称、文档类型名称以及扩展属性名称的显示名称都已齐备。尚未设置显示名称的语言将设置为“未输入”。

请执行以下步骤以设置除日语和英语外的语言值。

## 操作步骤

- 1 在复合机上的 [ 设定 ] > [ 通用设定 ] > [ 画面/按键的设定 ] > [ 初始显示语言 ] 中设置您想要设置的语言。
- 2 重新启动复合机。
- 3 显示扫描专递的设定画面。
- 4 在侧边栏中选择 [ 通用设定 ] > [ 设定通用信息 ]。
- 5 将 [ 处理语言 ] 更改为步骤 1 中设定的语言，然后单击 [ 应用新设定 ]。
- 6 在侧边栏中选择 [ 扫描专递的设定 ]，然后设置业务类型名称、文档类型名称和扩展属性名称。

## 在使用 Firefox 浏览器进行 SSL 通信时的注意与限制事项

使用 Firefox 为 Web 浏览器时，如果访问设定为 SSL 通信的复合机，则 CentreWare Internet Services 可能无法正确显示。

此时，请执行以下步骤。

## 操作步骤

- 1 启动 Firefox 浏览器。
- 2 在浏览器的地址栏中输入 “about:config” 后按下 <Enter> 键。  
显示设定菜单。
- 3 将 “security.tls.version.fallback-limit” 的值设定为 “1”。

## QR 代码打印大小相关的注意与限制事项

为了正确解码扫描的 QR 代码，需要将 QR 代码自身区域（代码区域）和包含 QR 代码周围空白在内的区域（打印区域）以正确的大小进行打印。

下表显示了根据 QR 代码的型号与纠错等级（L、M、Q、H）所决定的，QR 代码所能保存的数据量（字节数）、以及该数据量所对应各扫描分辨率的代码区与打印区域的关系。

在为 QR 代码或带有 QR 代码的文档创建文字串时，根据 QR 代码数据量（文本字节数），以及扫描时的分辨率，生成并打印合适大小的 QR 代码。

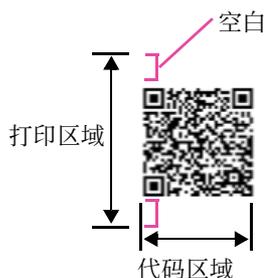
### 补充

- “文本的字节数” 为以 UTF-8 文字代码所表示的字节数。

根据文字不同，“文本的字节数” 和此字节数可表示的文字数不同。例如，全角字符表示为 2 ~ 4 个字节。

例如：

在 H 等级中使用型号 15、100 文字左右（最大 220 字节）的 QR 代码，通过 300 dpi 的分辨率进行扫描时，要正确解码，则需要代码区域为 39.1 mm、打印区域为 45.2 mm 的 QR 代码打印大小。



型号	数据量 (字节)				M 代码区域 (mm)				M 打印区域 (mm)			
	L	M	Q	H	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi
2	32	26	20	14	19.1	12.7	9.5	6.4	28.2	18.8	14.1	9.4
3	53	42	32	24	22.1	14.7	11	7.4	31.2	20.8	15.6	10.4
4	78	62	46	34	25.1	16.8	12.6	8.4	34.3	22.9	17.1	11.4
5	106	84	60	44	28.2	18.8	14.1	9.4	37.3	24.9	18.7	12.4
6	134	106	74	58	31.2	20.8	15.6	10.4	40.4	26.9	20.2	13.5
7	154	122	86	64	34.3	22.9	17.1	11.4	43.4	29	21.7	14.5
8	192	152	108	84	37.3	24.9	18.7	12.4	46.5	31	23.2	15.5
9	230	180	130	98	40.4	26.9	20.2	13.5	49.5	33	24.8	16.5
10	271	213	151	119	43.4	29	21.7	14.5	52.6	35.1	26.3	17.5
11	321	251	177	137	46.5	31	23.2	15.5	55.6	37.1	27.8	18.5
12	367	287	203	155	49.5	33	24.8	16.5	58.7	39.1	29.3	19.6
13	425	311	241	177	52.6	35.1	26.3	17.5	61.7	41.1	30.9	20.6
14	458	362	258	194	55.6	37.1	27.8	18.5	64.8	43.2	32.4	21.6
15	520	412	292	220	58.7	39.1	29.3	19.6	67.8	45.2	33.9	22.6
16	586	450	322	250	61.7	41.1	30.9	20.6	70.9	47.2	35.4	23.6
17	644	504	364	280	64.8	43.2	32.4	21.6	73.9	49.3	37	24.6
18	718	560	394	310	67.8	45.2	33.9	22.6	77	51.3	38.5	25.7
19	792	624	442	338	70.9	47.2	35.4	23.6	80	53.3	40	26.7
20	858	666	482	382	73.9	49.3	37	24.6	83.1	55.4	41.5	27.7
21	929	711	509	403	77	51.3	38.5	25.7	86.1	57.4	43.1	28.7
22	1003	799	565	439	80	53.3	40	26.7	89.2	59.4	44.6	29.7
23	1091	857	611	461	83.1	55.4	41.5	27.7	92.2	61.5	46.1	30.7
24	1171	911	661	511	86.1	57.4	43.1	28.7	95.3	63.5	47.6	31.8
25	1273	997	715	535	89.2	59.4	44.6	29.7	98.3	65.5	49.1	32.8
26	1367	1059	751	593	92.2	61.5	46.1	30.7	101.3	67.6	50.7	33.8
27	1465	1125	805	625	95.3	63.5	47.6	31.8	104.4	69.6	52.2	34.8
28	1528	1190	868	658	98.3	65.5	49.1	32.8	107.4	71.6	53.7	35.8
29	1628	1264	908	698	101.3	67.6	50.7	33.8	110.5	73.7	55.2	36.8
30	1732	1370	982	742	104.4	69.6	52.2	34.8	113.5	75.7	56.8	37.8
31	1840	1452	1030	790	107.4	71.6	53.7	35.8	116.6	77.7	58.3	38.9
32	1952	1538	1112	842	110.5	73.7	55.2	36.8	119.6	79.8	59.8	39.9
33	2068	1628	1168	898	113.5	75.7	56.8	37.8	122.7	81.8	61.3	40.9
34	2188	1722	1228	958	116.6	77.7	58.3	38.9	125.7	83.8	62.9	41.9
35	2303	1809	1283	983	119.6	79.8	59.8	39.9	128.8	85.9	64.4	42.9
36	2431	1911	1351	1051	122.7	81.8	61.3	40.9	131.8	87.9	65.9	43.9
37	2563	1989	1423	1093	125.7	83.8	62.9	41.9	134.9	89.9	67.4	45
38	2699	2099	1499	1139	128.8	85.9	64.4	42.9	137.9	91.9	69	46
39	2809	2213	1579	1219	131.8	87.9	65.9	43.9	141	94	70.5	47
40	2953	2331	1663	1273	134.9	89.9	67.4	45	144	96	72	48

## 条形码打印尺寸相关的注意和限制

为了正确解读扫描的条形码，需要满足以下基准。

- 条形码的线条宽度应满足以下基准。
- 以 200 dpi、300 dpi 的读取分辨率扫描时的最小线条宽度：0.7 mm
- 以 400 dpi、600 dpi 的读取分辨率扫描时的最小线条宽度：0.3 mm
- 条形码周围的空白应为最小线条宽度的 10 倍。
- 条形码的最小高度应为 10 mm。该值为以 10 位数为基准的高度。10 位数以上时，高度需要与位数成正比。

## 常规 QR 代码和条形码的相关注意与限制事项

当为文件夹名称指定常规 QR 代码和条形码时，相应字符串中所包含的 “/” 将被视为一个级别结构。但是，如果它包含在字符串的结尾处时，则将被忽略。

## 无纸传真专递



补充

• 在部分机型中，阅读时请将 “主屏幕画面” 替换为 “菜单画面”。

## 注意与限制事项

- 如果通过复合机的 [ 设定 ] (部分机型为 [ 规格设定 ]) 菜单更改了系统管理员 ID 或密码，务必对无纸传真专递中设置的系统管理员信息进行更改。如果无纸传真专递中注册的系统管理员 ID 或密码与复合机中的不同，复合机无法在例外与正常规则之间切换。  
关于如何在无纸传真专递中更改系统管理员 ID 或密码，请参阅 “更改系统管理员 ID/ 密码” (P.27)。
- 如果传送对象 (SMB、FTP 或 Working Folder) 的密码已更改，务必在无纸传真专递中更改密码。否则会出现传送错误。
- [ 切换无纸传真操作 ] 的通常 / 例外操作切换历史不与其他设定内容一起导出。
- 维护 Working Folder 服务器时，已接收传真无法传送到 Working Folder。会出现传送错误，维护期间接收的传真会被保存在收件文件夹中。如需将保存在文件夹中的传真传送给服务器，按 “手动传送信箱内的文件” (P.26) 所述进行操作。
- 如果您在无纸传真专递画面上保存了每个项目的设置，以下项目将被自动配置或处理。
  - 创建新信箱或变更原有信箱
  - 创建新的作业流程或修正原有作业流程
  - 线路信箱选择器的设定
  - 信箱选择器有效 / 无效的设定
  - 机密信箱接收报告变更为 [ 不自动输出 ]
  - 更改主屏幕画面的按键配置
- 如果在无纸传真专递画面上进行了每项设置，文件夹报告功能会自动禁用。如需自动打印文件夹报告，在 [ 设定 ] > [ 系统设定 ] > [ 报告设定 ] (部分机型为 [ 规格设定 ] > [ 通用设定 ] > [ 报告设定 ] 下选择 [ 自动输出 ])。
- 切勿更改传真线路与文件夹之间的关联以及文件夹与通过复合机的操作菜单在无纸传真专递中设置的作业流程之间的关联。
- 如果在无纸传真专递画面上的通讯簿中指定了传送对象之后更改了复合机的通讯簿中注册的信息，指定对象的信息不会在无纸传真专递中自动更新。这种情况下，您必须再次设置传送对象。用无纸传真专递创建的作业流程没有与复合机的通讯簿关联。
- 无纸传真专递中创建的作业流程无法在 CentreWare Internet Services 和 Device Setup (机器设定工具) 中编辑。

- 以下情况下，不管无纸传真专递设定画面中的 [ 文件取出后的删除 ] 设定如何，均删除文件。
  - 当在 [ 设定 ] > [ 应用程序设定 ] > [ 从文件夹发送设定 ] > [ 外部取出后的文件删除 ] (部分机型为 [ 规格设定 ] > [ 信箱设定 ] > [ 外部取出后的文件删除 ]) 中设定了 [ 强制删除 ] 时：
 

各信箱中设定的值将无效，从外部取出文件后，取出的文件将被强制删除。
  - 在 [ 设定 ] > [ 应用程序设定 ] > [ 从文件夹发送设定 ] > [ 文件夹内的文件保存期 ] (部分机型为 [ 规格设定 ] > [ 保存文件设定 ] > [ 信箱文件的保存期 ]) 中设定了文件的保存期，并且在 [ 从文件夹发送 ] > [ 文件夹设定 ] > [ 保存期满后的文件删除 ] (部分机型为 [ 登记 / 变更 ] > [ 信箱登记 ] > [ 保存期满后的文件删除 ]) 选择了 [ 有效 ] 时：
 

超过保存期的文件将在指定的时间被删除。
- 传送时由于传送对象的服务器故障或网络故障等导致发生传送错误时，文件将被保存在信箱内。此时，在传送对象中所创建的文件夹将会被保留，不会被删除。由于传送错误被保存的文件，排除故障后也不会重新传送。如要传送信箱内保存的文件时，请按照 " 手动传送信箱内的文件 " (P.26) 操作。传真将再次发送到传送对象所创建的文件夹中。
 

此外，暂停自动执行传送时信箱内保存的文件在重新开始自动执行传送后也不会被自动传送。如要传送信箱内保存的文件时，请按照 " 手动传送信箱内的文件 " (P.26) 操作。
- 我们建议您将文件夹图标放在菜单画面上其他容易找到的地方，便于您发现收件文件夹中是否遗留了传真。
 

另外，我们建议您设置自动打印 " 传送报告 - 未传送作业 "，以便确认详细错误信息 (该设置默认启用)。

有关详细信息，请参阅 " 无纸传真专递使用说明书 " 中的 " 解决故障的有用设置 "。
- 如果将文件的完整路径长度设置为 256 个字节 \* 或更多，则会发生错误且不会传送文件。
 

\*: 包含扩展名。用户可以指定的路径长度为 241 个字节。



• 表格中的 " 字节 " 为 UTF-8 字符代码所表示的字节数。

" 文本的字节数 " 和由字节表示的字符数取决于字符。例如，全角字符表示为 2 ~ 4 个字节。

- 传送对象的一个文件夹中可保存的文件和文件夹的最大数量为 10000。

## 手动传送信箱内的文件

发生传送错误或暂停传送时信箱内保存的文件可以按照以下步骤进行传送。

### 操作步骤

- 1 通过以下操作，选择保存文件的信箱。
  - ▶ 在主屏幕画面中配置无纸传真的收件文件夹的按键时
    - (1) 显示主屏幕画面，按下对象收件文件夹的按键。
  - ▶ 未配置无纸传直接收用信箱的按键时
    - (1) 显示主屏幕画面，按下 [ 信箱操作 ]。
    - (2) 在 [ 信箱操作 ] 画面中，选择相应的信箱。
- 2 选择要传送的文件。
- 3 按下 [ 作业流程的设定 / 执行 ]。
- 4 按下 [ 执行此作业流程 ]。  
文件将被传送至设定的传送对象。



• 如果您在预定的例外时间按上述步骤传送已接收传真，传真不会被传送到为正常规则指定的文件夹中，而是传送到为例外指定的文件夹中。

## 更改系统管理员 ID/ 密码

如果用复合机更改了系统管理员 ID 或密码，还必须在无纸传真专递中对其进行更改。  
可按以下步骤更改系统管理员 ID 或密码。

### 操作步骤

#### 1 启动无纸传真专递。



##### 补充

· 以下内容介绍了如何通过控制面板进行启动。



##### 参照

关于启动的更多信息，请参阅以下内容。

- 通过复合机控制面板启动时，请参阅“无纸传真专递使用说明书”中的“通过复合机控制面板设置”>“显示设置画面”。
- 使用 Internet Services 启动时，请参阅“无纸传真专递使用说明书”中的“用 Internet Services 进行设置”>“显示设置画面”。

#### 2 更改了复合机的机器管理员信息时，将显示[登记机器管理员 ID/密码]画面。在[机器管理员 ID]和[机器管理员密码]中输入新的系统管理员 ID 和密码，按 [OK]（或 [决定]）。

无纸传真专递的系统管理员信息已更改。

#### 3 更改之后，显示[无纸传真专递]时，根据需要进行设置，也可以不进行任何设置，关闭画面。

## Updatings for Add-on Application

- 执行自动更新的日程因各个复合机的序列号而异。如果您希望同时更新多个复合机的 Add-on Application，请手动更新。
- 如果您在手动更新界面中一并选择 [Updating for Add-on Apps] 及其他应用程序并进行更新，则其他应用程序可能不会被更新。出现这种情况时，请再次手动更新。

## 4 注意與限制事項

- 掃描專遞 ..... P.28
- 無紙化傳真專遞 ..... P.32
- Updatings for Add-on Application ..... P.34

### 掃描專遞

#### 總體注意和限制事項

- 在不具備掃描及文件傳送功能的複合機上設定掃描專遞時，雖然顯示文件種類按鍵，但不能掃描和傳送文件。
- 由于某種原因無法使用自動雙面送稿裝置時，雖然可在掃描專遞上指定雙面，但僅單面進行輸入輸出。
- 相關機器與複合機連接使用時，掃描專遞僅支援可以取得使用者資訊的機器。  
當與計費裝置與複合機連接時，無法保證此功能可用。
- 對於以下情況，不進行傾斜校正。
  - 解析度設為 600 dpi 的彩色或灰度影像
  - 僅為照片影像的原稿
- 傳送位置的一個資料夾中最多可以儲存 10000 個文件和資料夾。

#### 執行工作時的注意和限制事項

- 執行工作過程中發生錯誤時，即使工作結束後也不顯示錯誤畫面。此時，會在複合機的工作記錄報表中記入錯誤訊息，請進行確認。有關工作記錄的確認方法，請參照複合機隨附的說明書。
- 掃描文件的受信方已存在相同名稱的檔案時，將在檔案名稱最後加上連字號 (-) 與 4 位數流水號 (0001 ~ 9999)。編號超過 9999 時會出錯。
- 多台複合機於相同時間點將相同名稱的檔案寄送給同一受信方時，檔案可能無法正確傳送。  
為避免此情況，推薦在檔案名稱規則中設定含秒數在內的日期。(例如：  
filename\_20151001123025.xdw)
- 對於 FTP 傳送，不支持 SFTP (SSH FTP) 和 FTPS (FTP over SSL/TLS) 等帶暗號通信的通訊協定。
- FTP 通信的原廠設定為以 Passive 模式運行。根據伺服器不同，也可能出現可通信模式僅為 Active 模式的情況。此時，請從 CentreWare Internet Services 更改通信模式。
- 受信方伺服器的檔案儲存位置已存在 10000 個以上的檔案或資料夾時，可能無法正確處理掃描文件。

#### 設定掃描專遞的相關注意與限制事項

##### 資料大小的注意事項和限制

- 如果設定資料大小超出 1MB，將顯示錯誤，且不會儲存設定資訊。在此情況下，變更設定，讓資料量減少。

##### 強壓縮功能的注意事項和限制

- 一些型號的複合機可能不支援強壓縮功能。
- 在文件種類中設定以下值時，可使用強壓縮功能。
  - 檔案格式  
PDF 或 DocuWorks
  - 掃描解析度 (dpi)

200dpi 或 300dpi

-色彩模式

全彩、自動或黑白 (256 色階)

- 依據您的複合機，一些選項設定可能需要使用此功能。如需更多資訊，請聯絡客戶支援中心。

### 可搜尋文字功能的注意事項和限制

- 一些型號的複合機可能不支援可搜尋文字功能。
- 在文件種類中設定以下值時，可使用可搜尋文字功能。
  - 檔案格式
    - PDF 或 DocuWorks
  - 掃描解析度 (dpi)
    - 200dpi 或 300dpi
  - 原稿畫質
    - 文字原稿或原稿摻雜文字 / 照片
- 欲使用文字識別 (OCR) 功能時，需有選購的掃描功能擴充套件。



補充

依據您的複合機，選用元件可能不同。如需更多資訊，請聯絡客戶支援中心。

### 傳送電子郵件通知給認證使用者功能的注意事項和限制

- 如果複合機未啟用驗證功能獲認證使用者電子郵件地址未在複合機註冊，即使啟用通知認證使用者功能，仍無法傳送電子郵件。
- 如果在文件種類設定畫面，選擇 [ 通知認證使用者 ] 並指定 [ 使用郵件通知 (輸入郵件地址) 2 ] 或 [ 使用郵件通知 (輸入郵件地址) 3 ] 的認證使用者電子郵件地址，將傳送兩封郵件至這些地址。
- 當 XSA (Xerox Standard Accounting) 應用於複合機時，[ 通知認證使用者 ] 不會顯示並且無法使用。

### DocuWorks 版本和一般屬性 / 擴充屬性的注意事項和限制

如果新增一般屬性或擴充屬性至 DocuWorks 文件，將需要使用 DocuWorks 7 或更新版，檢視文件。

如果您使用 DocuWorks 7 或更舊版，請務必設定以下，避免新增一般屬性和擴充屬性。

- 選擇 [ 設定共通資料 ] > [ 新增規定屬性 ] 下的 [ 無 ]
- 掃描時，取消選擇 [ 設定文件種類 ] 的 [ 擴充屬性 ] 勾選框，或選擇畫面上的 [ 新增屬性 ] 為 [ 無 ]，設定擴充屬性

### 設定資訊更新的注意事項和限制

- 複合機處理工作或使用透過控制面板操作時，無法更新掃描專遞的設定資訊。工作完成或使用透過控制面板的操作完成後，嘗試再次更新設定資訊。

### 關於檔案名稱路徑長度的注意事項及限制

若將檔案的完整路徑長度設為 256 個位元組 \* 以上，由於檔案名稱調整的緣故，可能無法將檔案名稱規則中指定的所有項目新增至檔案名稱中。

\*: 包含副檔名。使用者可指定的路徑長度為 241 個位元組。



補充

- 表格內的「位元組」代表 UTF-8 字元碼的位元組數。「文字的位元組數」和由位元組表示的字元數會因字元而有所不同。例如，全形字元是由 2 到 4 個位元組所組成。

### 有關處理語言的注意事項及限制

顯示的語言必須預先在複合機中設定，因為備有各個語言對業務種類名稱、文件種類名稱和擴充屬性名稱的顯示名稱。未設定顯示名稱的語言則會設為「未輸入」。

日文和英文之外的語言，請執行以下步驟設定語言值。

## 操作步驟

- 1 在複合機上將 [規格設定 / 登記]> [共通設定]> [螢幕 / 按鈕設定]> [預設語言] 設定為所要的語言。
- 2 重新啟動複合機。
- 3 顯示出掃描專遞的設定畫面。
- 4 從側邊欄中選擇 [共通設定]> [設定共通資料]。
- 5 將 [處理語言] 變更成步驟 1 中設定的語言，並按一下 [套用新的設定]。
- 6 從側邊欄選擇 [掃描專遞設定]，然後設定業務種類名稱、文件種類名稱和擴充屬性名稱。

## 使用 Firefox 瀏覽器進行 SSL 通信時的注意和限制事項

使用 Firefox 為網際網路瀏覽器時，若訪問設定為 SSL 通信的複合機，則 CentreWare Internet Services 可能無法正確顯示。

此時，請執行以下步驟。

## 操作步驟

- 1 啟動 Firefox 瀏覽器。
- 2 在瀏覽器的位址欄中輸入 "about:config" 后按下 <Enter> 鍵。  
顯示設定選單。
- 3 將 "security.tls.version.fallback-limit" 的值設定為 "1"。

## QR 代碼印字大小相關的注意和限制事項

為了正確解碼掃描的 QR 代碼，需要將 QR 代碼自身區域（代碼區域）和包含 QR 代碼周圍空白的區域（印字區域）以正確的大小進行列印。

下表顯示了根據 QR 代碼的型號與糾錯等級（L、M、Q、H）所決定的，QR 代碼所能儲存的數據量（字元數）、以及該數據量所對應各掃描解析度的代碼區域與印字區域的關係。

請結合建立 QR 代碼用字串或建立附 QR 代碼的文件時所生成的 QR 代碼資料量（文字的位元組數）與掃描時的解析度，建立適當大小的 QR 代碼進行列印。

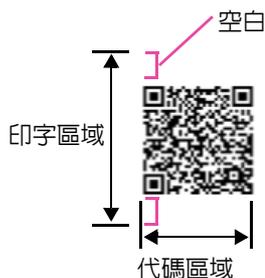
### 補充

「文字的位元組數」為 UTF-8 文字代碼所表示的位元組數。

根據文字不同，「文字的位元組數」與此位元組數可表示的文字數不同。例如，全形字元組成為 2 到 4 個位元組。

範例：

在 H 等級中使用型號 15、100 文字左右（最大 220 字元）的 QR 代碼，透過 300 dpi 的解析度進行掃描時，要正確解碼，則需要代碼區域為 39.1 mm、印字區域為 45.2 mm 的 QR 代碼印字大小。



型號	數據量 (字元)				M 代碼區域 (mm)				M 印字區域 (mm)			
	L	M	Q	H	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi
2	32	26	20	14	19.1	12.7	9.5	6.4	28.2	18.8	14.1	9.4
3	53	42	32	24	22.1	14.7	11	7.4	31.2	20.8	15.6	10.4
4	78	62	46	34	25.1	16.8	12.6	8.4	34.3	22.9	17.1	11.4
5	106	84	60	44	28.2	18.8	14.1	9.4	37.3	24.9	18.7	12.4
6	134	106	74	58	31.2	20.8	15.6	10.4	40.4	26.9	20.2	13.5
7	154	122	86	64	34.3	22.9	17.1	11.4	43.4	29	21.7	14.5
8	192	152	108	84	37.3	24.9	18.7	12.4	46.5	31	23.2	15.5
9	230	180	130	98	40.4	26.9	20.2	13.5	49.5	33	24.8	16.5
10	271	213	151	119	43.4	29	21.7	14.5	52.6	35.1	26.3	17.5
11	321	251	177	137	46.5	31	23.2	15.5	55.6	37.1	27.8	18.5
12	367	287	203	155	49.5	33	24.8	16.5	58.7	39.1	29.3	19.6
13	425	311	241	177	52.6	35.1	26.3	17.5	61.7	41.1	30.9	20.6
14	458	362	258	194	55.6	37.1	27.8	18.5	64.8	43.2	32.4	21.6
15	520	412	292	220	58.7	39.1	29.3	19.6	67.8	45.2	33.9	22.6
16	586	450	322	250	61.7	41.1	30.9	20.6	70.9	47.2	35.4	23.6
17	644	504	364	280	64.8	43.2	32.4	21.6	73.9	49.3	37	24.6
18	718	560	394	310	67.8	45.2	33.9	22.6	77	51.3	38.5	25.7
19	792	624	442	338	70.9	47.2	35.4	23.6	80	53.3	40	26.7
20	858	666	482	382	73.9	49.3	37	24.6	83.1	55.4	41.5	27.7
21	929	711	509	403	77	51.3	38.5	25.7	86.1	57.4	43.1	28.7
22	1003	799	565	439	80	53.3	40	26.7	89.2	59.4	44.6	29.7
23	1091	857	611	461	83.1	55.4	41.5	27.7	92.2	61.5	46.1	30.7
24	1171	911	661	511	86.1	57.4	43.1	28.7	95.3	63.5	47.6	31.8
25	1273	997	715	535	89.2	59.4	44.6	29.7	98.3	65.5	49.1	32.8
26	1367	1059	751	593	92.2	61.5	46.1	30.7	101.3	67.6	50.7	33.8
27	1465	1125	805	625	95.3	63.5	47.6	31.8	104.4	69.6	52.2	34.8
28	1528	1190	868	658	98.3	65.5	49.1	32.8	107.4	71.6	53.7	35.8
29	1628	1264	908	698	101.3	67.6	50.7	33.8	110.5	73.7	55.2	36.8
30	1732	1370	982	742	104.4	69.6	52.2	34.8	113.5	75.7	56.8	37.8
31	1840	1452	1030	790	107.4	71.6	53.7	35.8	116.6	77.7	58.3	38.9
32	1952	1538	1112	842	110.5	73.7	55.2	36.8	119.6	79.8	59.8	39.9
33	2068	1628	1168	898	113.5	75.7	56.8	37.8	122.7	81.8	61.3	40.9
34	2188	1722	1228	958	116.6	77.7	58.3	38.9	125.7	83.8	62.9	41.9
35	2303	1809	1283	983	119.6	79.8	59.8	39.9	128.8	85.9	64.4	42.9
36	2431	1911	1351	1051	122.7	81.8	61.3	40.9	131.8	87.9	65.9	43.9
37	2563	1989	1423	1093	125.7	83.8	62.9	41.9	134.9	89.9	67.4	45
38	2699	2099	1499	1139	128.8	85.9	64.4	42.9	137.9	91.9	69	46
39	2809	2213	1579	1219	131.8	87.9	65.9	43.9	141	94	70.5	47
40	2953	2331	1663	1273	134.9	89.9	67.4	45	144	96	72	48

## 條碼印字大小相關注意和限制事項

為了正確判讀掃描的條碼，必須滿足以下的基準。

- 條碼的線寬應滿足以下基準
  - 以掃描解析度為 200 dpi、300 dpi 進行掃描時，最小線寬：0.7 mm
  - 以掃描解析度為 400 dpi、600 dpi 進行掃描時，最小線寬：0.3 mm
- 條碼周邊的留白應為最小線寬的 10 倍
- 條碼的最小高度應為 10 mm。此數值是以 10 位數為基準的高度。若為 10 位數以上時，高度必須與位數成比例增加。

## 一般 QR 代碼和條碼的相關注意和限制事項

當為信箱名稱指定一般 QR 代碼和條碼時，相應字元串中包含的 “/” 將被視為階層。但是，如果它包含在字元串的末尾，則將其忽略。

## 無紙化傳真專遞



補充

- 部分機種請將「首頁畫面」改為「功能畫面」。

## 注意與限制事項

- 如果系統管理者 ID 或密碼透過複合機的 [ 設定 ] (部分機種為 [ 規格設定 ]) 選單變更，請確定變更無紙化傳真專遞的系統管理者資訊集。如果無紙化傳真專遞 註冊的系統管理者 ID 或密碼與複合機的不相同，則複合機無法在例外和一般規則間切換。  
如需如何變更無紙化傳真專遞註冊的系統管理者 ID 或密碼，請參照 “變更系統管理者 ID/ 密碼 (密碼)” (P.34)。
- 如果已變更傳輸目的地 (SMB、FTP 或 Working Folder) 密碼，請確定變更無紙化傳真專遞的密碼。否則，將出現傳輸錯誤。
- [ 無紙化傳真動作切換 ] 的通常 / 例外動作切換歷史記錄不會與其他設定一起匯出。
- Working Folder 進行維護時，受信傳真無法傳輸至 Working Folder。將導致傳輸錯誤，且維護時接收的傳真將儲存在受信信箱。要傳輸信箱儲存的傳真至伺服器，執行 “手動傳送信箱內的文件” (P.33) 說明的步驟。
- 如果您在無紙化傳真專遞畫面儲存每個項目的設定，將自動配置或處理以下項目。
  - 創建新信箱或變更原有信箱
  - 創建新的工作流程或修正原有工作流程
  - 線路信箱選擇器的設定
  - 信箱選擇器有效 / 無效的設定
  - 機密信箱受信報表變更為 [ 不自動印出 ]
  - 變更首頁畫面的按鈕配置
- 如果在無紙化傳真專遞畫面指定每個設定，機密信箱受信報表功能將自動停用。要自動列印機密信箱受信報表，選擇 [ 裝置設定 ] > [ 系統設定 ] > [ 報表設定 ] (部分機種為 [ 規格設定 ] > [ 共通設定 ] > [ 報表設定 ]) 的 [ 自動印出 ]。
- 請確定未透過複合機操作選單，變更傳真線路和信箱下的連結和無紙化傳真專遞的工作流程。
- 如果複合機電話簿註冊資訊在無紙化傳真專遞畫面指定傳輸目的地後變更，定目的地上的資訊將不會自動更新無紙化傳真專遞。在此情況下，您必須再次設定傳輸目的地。  
使用無紙化傳真專遞創建的工作流程未與複合機的電話簿互鎖。
- 無紙化傳真專遞中創建的工作流程無法在 CentreWare Internet Services 和 Device Setup (機器設定工具) 中編輯。

- 以下情況下，不管無紙化傳真專遞設定畫面中的 [ 文件取出後的刪除 ] 設定如何，均刪除文件。
  - [ 裝置設定 ] > [ App 設定 ] > [ 資料夾操作設定 ] > [ 外部取出後的檔案刪除 ] (部分機種為 [ 規格設定 ] > [ 信箱設定 ] > [ 外部取出後的文件刪除 ]) 中設定了 [ 強制刪除 ] 時：各信箱中設定的值將無效，從外部取出文件後，取出的文件將被強制刪除。
  - 在 [ 裝置設定 ] > [ App 設定 ] > [ 料夾操作設定 ] > [ 資料夾檔案的儲存期限 ] (部分機種為 [ 規格設定 ] > [ 儲存文件設定 ] > [ 信箱文件的儲存期限 ]) 中設定了文件的儲存期限，且 [ 資料夾操作 ] > [ 資料夾設定 ] > [ 儲存期限過後檔案的刪除 ] (部分機種為 [ 登記 / 變更 ] > [ 信箱登記 ] > [ 儲存期限過後文件的刪除 ]) 為有效時：超過儲存期限的文件將在指定的時間被刪除。
- 傳送時由於傳送位置的伺服器故障或網路故障等導致發生傳送錯誤時，文件將被儲存在信箱內。此時，傳輸目的地建立的資料夾會保留，不會被刪除。由於傳送錯誤被儲存的文件，排除故障後也不會重新傳送。如要傳送信箱內儲存的文件時，請按照 " 手動傳送信箱內的文件 " (P.33) 操作。傳真會再次轉傳至傳輸目的地建立的資料夾。
 

此外，暫停傳送的自動執行時信箱內儲存的文件在重新開始傳送的自動執行後也不會被自動傳送。如要傳送信箱內儲存的文件時，請按照 " 手動傳送信箱內的文件 " (P.33) 操作。
- 我們建議您將信箱圖標放置於您可在功能畫面上輕鬆找到的位置，這將有助您了解受信信箱中仍有傳真。
 

此外，我們建議您配置設定，自動列印「傳輸報告 - 未進行的工作」，確認詳細錯誤資訊 (預設此設定會啟用)。

詳細內容請參照「無紙化傳真專遞操作說明書」中的「疑難排解的實用設定」。
- 若將檔案的完整路徑長度設為 256 個位元組\* 以上，會發生錯誤且無法傳送檔案。
 

\*：包含副檔名。使用者可指定的路徑長度為 241 個位元組。

#### 補充

- 表格內的「位元組」代表 UTF-8 字元碼的位元組數。  
「文字的字元組數」和由位元組表示的字元數會因字元而有所不同。例如，全形字元是由 2 到 4 個位元組所組成。
- 傳送位置的一個資料夾中最多可以儲存 10000 個文件和資料夾。

## 手動傳送信箱內的文件

發生傳送錯誤或暫停傳送時信箱內儲存的文件可以按照以下步驟進行傳送。

### 操作步驟

- 透過以下操作，選擇儲存文件的信箱。
  - ▶ 首頁畫面中配置了無紙化傳真受信用信箱的按鍵時
    - (1) 顯示首頁畫面，按下相應信箱的按鍵。
  - ▶ 未配置無紙化傳真受信用信箱的按鍵時
    - (1) 顯示首頁畫面，按下 [ 信箱操作 ]。
    - (2) 在 [ 信箱操作 ] 畫面中，選擇相應的信箱。
- 選擇要傳送的文件。
- 按下 [ 工作流程的設定 / 執行 ]。
- 按下 [ 執行此工作流程 ]。  
文件將被傳送至設定的傳送位置。

#### 補充

- 如果例外規則在預定時間依據上述步驟傳輸接收的傳真，將不會傳輸傳真至一般規則指定的信箱，但是傳輸至例外指定的信箱。

## 變更系統管理者 ID/ 密碼（密碼）

如果系統管理者 ID 或密碼已在複合機變更，同時必須在無紙化傳真專遞變更。  
系統管理者 ID 或密碼（密碼）可使用以下步驟變更。

### 操作步驟

#### 1 啟動無紙化傳真專遞。



補充

· 以下說明如何透過控制面板啟動的範例。



參照

如需啟動的更多資訊，請參照以下。

- 透過複合機控制面板啟動時，請參照「無紙化傳真專遞操作說明書」中的「透過複合機控制面板設定」>「顯示設定畫面」。
- 透過 Internet Services 啟動時，請參照「無紙化傳真專遞操作說明書」中的「使用 Internet Services 設定」>「顯示設定畫面」。

#### 2 變更了複合機的機器管理者資訊時，將顯示 [ 機器管理者 ID/ 密碼的登記 ] 畫面。在 [ 機器管理者 ID ] 和 [ 機器管理者密碼 ] 輸入新的系統管理者 ID 和密碼並按下 [OK]（或 [ 決定 ]）。 無紙化傳真專遞系統管理者資訊已變更。

#### 3 變更後，顯示 [ 無紙化傳真專遞 ] 畫面、視需要配置設定或在沒有設定下關閉畫面。

## Updates for Add-on Application

- 各複合機序號執行自動更新的排程有所不同。如果您希望同時更新多個複合機的 Add-on Application，請執行手動更新。
- 如果您從手動更新畫面同時選擇 [Updating for Add-on Apps] 和其他應用程式並進行更新，其他應用程式可能不會更新。在此情況下，請手動再次進行更新。

## 5 주의 및 제한 사항

- 스캔 딜리버리 ..... P.35
- 페이퍼리스 팩스 전송 ..... P.39
- Updatings for Add-on Application ..... P.42

### 스캔 딜리버리

#### 전체에 관한 주의 및 제한 사항

- 스캔 및 문서의 전송 기능을 사용할 수 없는 복합기에 스캔 딜리버리를 설정한 경우, 문서종류 버튼은 표시되지만 스캔 및 문서의 전송은 할 없습니다.
- 양면 자동 원고이송장치가 어떤 이유로 사용할 수 없는 경우에도 스캔 딜리버리에서 양면을 지정할 수는 있지만 입출력은 단면으로 진행됩니다.
- 복합기에 관련 기계를 연결하여 사용할 경우 스캔 딜리버리는 사용자 정보를 취득할 수 있는 관련 기계만 지원합니다.  
요금 부과 장치를 복합기에 연결하는 경우에는 이 기능을 사용하지 못할 수 있습니다.
- 다음 경우는 경사 보정이 실행되지 않습니다.  
-해상도가 600 dpi 인 컬러 이미지와 그레이 이미지  
-사진 이미지 만인 원고
- 전송 대상 1 개 폴더에 저장할 수 있는 파일 및 폴더의 최대 수는 10000 개입니다.

#### 작업 실행시 주의 및 제한 사항

- 작업 실행중 에러가 발생한 경우 작업이 종료된 후에도 에러 화면이 표시되지 않습니다. 이 경우, 복합기의 작업 이력에 에러 정보가 기록되기에 확인하여 주십시오. 작업 이력의 확인 방법은 복합기와 함께 제공된 설명서를 참조하여 주십시오.
- 스캔 문서의 수신국에 같은 이름의 파일이 존재할 경우는 파일명 끝에 하이픈 (-) 및 4 자리의 일련번호 (0001~9999) 가 추가됩니다. 번호가 9999 를 초과하면 에러가 발생합니다.
- 여러 대의 복합기에서 같은 타이밍으로 같은 이름의 파일을 같은 수신국에 보낼 경우, 파일이 바르게 전송되지 않을 수 있습니다.  
이를 방지하기 위해 파일명 규칙에는 초 숫자를 포함한 날짜를 설정하는 것이 좋습니다 ( 예 : filename\_20151001123025.xdw).
- FTP 전송에서는 SFTP (SSH FTP) 나 FTPS(FTP over SSL/TLS) 등 암호화 통신과 함께 실행되는 프로토콜은 지원하지 않습니다.
- 공장 출하시 설정에서는 FTP 통신이 Passive 모드로 작동합니다. 서버에 따라 통신할 수 있는 모드가 Active 모드 만인 경우도 있습니다. 이 경우, CentreWare Internet Services 에서 통신 모드를 변경하여 주십시오.
- 수신국 서버의 파일 저장 위치에, 파일 또는 폴더가 10,000 개 이상 있을 경우는 스캔 문서가 바르게 처리되지 않을 수 있습니다.

#### 스캔 딜리버리 설정에 관한 주의 및 제한 사항

##### 데이터 크기에 관한 주의 및 제한 사항

- 설정 데이터 크기가 1MB 를 초과하는 경우 오류가 표시되고 설정 정보가 저장되지 않습니다. 이러한 경우 설정을 변경하여 데이터양을 줄입니다.

### 고압축 기능에 관한 주의 및 제한 사항

- 일부 복합기 모델은 고압축 기능을 지원하지 않을 수 있습니다 .
- 다음 값이 문서종류에 설정되어 있는 경우에 고압축 기능을 사용할 수 있습니다 .
  - 파일형식  
PDF 또는 DocuWorks
  - 스캔해상도 (dpi)  
200dpi 또는 300dpi
  - 컬러모드  
Full 컬러 , 자동 또는 흑백 (256 계조 )
- 복합기에 따라 이 기능을 사용하려면 일부 옵션 설정이 필요할 수 있습니다 . 자세한 정보는 고객 지원 센터에 문의하십시오 .

### 검색 가능 텍스트 기능에 관한 주의 및 제한 사항

- 일부 복합기 모델은 검색 가능 텍스트 기능을 지원하지 않을 수 있습니다 .
- 다음 값이 문서종류에 설정되어 있는 경우에 검색 가능 텍스트 기능을 사용할 수 있습니다 .
  - 파일형식  
PDF 또는 DocuWorks
  - 스캔해상도 (dpi)  
200dpi 또는 300dpi
  - 원고종류  
문자 또는 문자 / 사진
- 문자 인식 (OCR) 기능을 사용하려면 옵션인 스캔 기능 확장 키트가 필요합니다 .



#### 보충

복합기에 따라 옵션 구성 요소가 다를 수 있습니다 . 자세한 정보는 고객 지원 센터에 문의하십시오 .

### 인증된 사용자를 대상으로 한 이메일 알림 전송의 주의 및 제한 사항

- 인증 기능이 복합기에 활성화되어 있지 않거나 인증된 사용자의 이메일 주소가 복합기에 등록되어 있지 않은 경우 인증된 사용자 알림 기능이 활성화되어 있더라도 이메일이 전송되지 않습니다 .
- [ 인증 사용자에게 통지 ] 을 문서종류 설정 화면에서 선택하고 [ 메일 통지 사용 ( 메일주소 입력 ) 2] 또는 [ 메일 통지 사용 ( 메일주소 입력 ) 3] 에 인증된 사용자의 이메일 주소를 지정한 경우 이메일 두 개가 해당 주소로 전송됩니다 .
- XSA(Xerox Standard Accounting) 가 복합기에 적용되면 [ 인증 사용자에게 통지 ] 가 표시되지 않아 사용할 수 없습니다 .

### DocuWorks 버전 및 일반 속성 / 확장 속성에 관한 주의 및 제한 사항

일반 속성 또는 확장 속성이 DocuWorks 문서에 추가된 경우 문서를 보려면 DocuWorks 7 이상이 필요합니다 .

DocuWorks 7 이하를 사용하는 경우 일반 속성 및 확장 속성이 추가될 수 없도록 다음을 설정했는지 확인하십시오 .

- [ 공통 정보 설정 ] > [ 규정 속성 부여 ] 아래 [ 선택안함 ] 선택
- [ 문서종류 설정 ] 의 [ 확장 속성 ] 확인란 선택 해제 또는 스캔시 확장 속성을 설정하는 화면에서 [ 속성 부여 ] 에 [ 선택안함 ] 선택

### 설정 정보 업데이트에 관한 주의 및 제한 사항

- 복합기가 작업을 처리 중이거나 조작부를 통해 사용자가 조작 중인 경우 스캔 딜리버리 의 설정 정보를 업데이트할 수 없습니다 . 작업이 완료되거나 조작부를 통한 사용자의 조작이 완료된 후에 설정 정보 업데이트를 다시 시도하십시오 .

### 파일 이름의 경로 길이에 대한 참고 및 제한 사항

파일의 전체 경로 길이를 256 바이트 \* 이상으로 설정하면 파일명 조정으로 인해 파일명 규칙에 지정된 모든 항목이 파일명에 추가되지 않을 수 있습니다 .

\*: 확장자가 포함되어 있습니다 . 사용자가 지정할 수 있는 경로 길이는 241 바이트입니다 .



#### 보충

- 표의 “ 바이트 ” 는 UTF-8 문자 코드에 의한 바이트 수를 의미합니다 .  
“ 텍스트의 바이트 수 ” 와 바이트로 표시되는 문자 수는 문자에 따라 다릅니다 . 예를 들어 일본어 전각 문자는 2~4 바이트로 표시됩니다 .

### 처리 언어에 대한 참고 및 제한사항

카테고리 유형명 , 문서 종류명 및 확장 속성명에 각 언어로 표시명이 준비되므로 , 표시 언어는 사전에 복합기에 설정해야 합니다 . 표시명이 설정되지 않은 언어에는 “ 미등록 ” 이 설정됩니다 .

일본어 및 영어 이외의 언어에서 값을 설정하려면 다음 순서대로 실행하십시오 .

#### 조작 순서

- 1 복합기의 [ 설정 ] > [ 공통 설정 ] > [ 화면 / 버튼 설정 ] > [ 기본 언어 ] 로 원하는 언어로 설정합니다 .
- 2 복합기를 다시 시작합니다 .
- 3 스캔 딜리버리의 설정 화면을 표시합니다 .
- 4 사이드 메뉴에서 [ 공통 설정 ] > [ 공통 정보 설정 ] 을 선택합니다 .
- 5 [ 처리 언어 ] 를 1 단계에서 설정한 언어로 변경하고 [ 적용 ] 을 클릭합니다 .
- 6 사이드 메뉴에서 [ 스캔 딜리버리 설정 ] 을 선택하고 , 카테고리 유형명 , 문서 종류명 , 확장 속성명을 설정합니다 .

### SSL 통신시 Firefox 브라우저를 사용할 때의 주의 및 제한 사항

Firefox를 Web 브라우저로 사용하여 SSL 통신이 설정되어 있는 복합기에 액세스하면 CentreWare Internet Services 가 올바르게 표시되지 않을 수 있습니다 .

이 경우 다음 단계를 실행하여 주십시오 .

#### 조작 순서

- 1 Firefox 브라우저를 기동합니다 .
- 2 브라우저의 주소 표시줄에 “ about:config ” 를 입력하고 <Enter> 키를 누릅니다 .  
설정 메뉴가 표시됩니다 .
- 3 “ security.tls.version.fallback-limit ” 의 값을 “ 1 ” 로 설정합니다 .

### QR 코드의 인쇄 크기에 관한 주의 및 제한 사항

스캔한 QR 코드가 올바르게 해독되게 하려면 QR 코드 자체의 영역 ( 코드 영역 ) 과 QR 코드 주변의 여백을 포함한 영역 ( 인쇄 영역 ) 을 올바른 크기로 인쇄해야 합니다 .

아래의 표는 QR 코드의 번호와 에러 보정 레벨 ( L, M, Q, H ) 로 정해지는 QR 코드에 저장할 수 있는 데이터 량 ( 바이트 수 ) 및 그 데이터 량에 대응되는 스캔 해상도별로의 코드 영역과 인쇄 영역의 관계를 나타냅니다 .

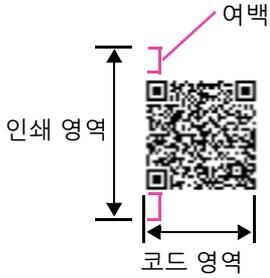
QR 코드용 문자열 또는 QR 코드가 있는 문서용 문자열 생성 시의 QR 코드 데이터양 ( 텍스트 바이트 수 ) 과 스캔 시 해상도에 따라 적절한 크기의 QR 코드를 생성하여 인쇄하십시오 .



- " 텍스트 바이트 수 " 는 UTF-8 문자 코드로 표시한 바이트 수입니다 .  
문자에 따라 " 텍스트 바이트 수 " 와 그 바이트 수에 의해 표현할 수 있는 문자수가 다릅니다 . 예를 들  
어 일본어 전각문자는 2~4 바이트로 표시됩니다 .

예 :

레벨 H 에서 번호 15 를 사용하여 100 문자 정도 ( 최대 220 바이트 ) 의 QR 코드를 해상도 300 dpi 로 스캔하여 올바르게 해독하려면 코드 영역 39.1mm, 인쇄 영역 45.2mm 의 QR 코드를 인쇄해  
야 합니다 .



번호	데이터 량 (바이트)				M 코드 영역 (mm)				M 인쇄 영역 (mm)			
	L	M	Q	H	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi
2	32	26	20	14	19.1	12.7	9.5	6.4	28.2	18.8	14.1	9.4
3	53	42	32	24	22.1	14.7	11	7.4	31.2	20.8	15.6	10.4
4	78	62	46	34	25.1	16.8	12.6	8.4	34.3	22.9	17.1	11.4
5	106	84	60	44	28.2	18.8	14.1	9.4	37.3	24.9	18.7	12.4
6	134	106	74	58	31.2	20.8	15.6	10.4	40.4	26.9	20.2	13.5
7	154	122	86	64	34.3	22.9	17.1	11.4	43.4	29	21.7	14.5
8	192	152	108	84	37.3	24.9	18.7	12.4	46.5	31	23.2	15.5
9	230	180	130	98	40.4	26.9	20.2	13.5	49.5	33	24.8	16.5
10	271	213	151	119	43.4	29	21.7	14.5	52.6	35.1	26.3	17.5
11	321	251	177	137	46.5	31	23.2	15.5	55.6	37.1	27.8	18.5
12	367	287	203	155	49.5	33	24.8	16.5	58.7	39.1	29.3	19.6
13	425	311	241	177	52.6	35.1	26.3	17.5	61.7	41.1	30.9	20.6
14	458	362	258	194	55.6	37.1	27.8	18.5	64.8	43.2	32.4	21.6
15	520	412	292	220	58.7	39.1	29.3	19.6	67.8	45.2	33.9	22.6
16	586	450	322	250	61.7	41.1	30.9	20.6	70.9	47.2	35.4	23.6
17	644	504	364	280	64.8	43.2	32.4	21.6	73.9	49.3	37	24.6
18	718	560	394	310	67.8	45.2	33.9	22.6	77	51.3	38.5	25.7
19	792	624	442	338	70.9	47.2	35.4	23.6	80	53.3	40	26.7
20	858	666	482	382	73.9	49.3	37	24.6	83.1	55.4	41.5	27.7
21	929	711	509	403	77	51.3	38.5	25.7	86.1	57.4	43.1	28.7
22	1003	799	565	439	80	53.3	40	26.7	89.2	59.4	44.6	29.7
23	1091	857	611	461	83.1	55.4	41.5	27.7	92.2	61.5	46.1	30.7
24	1171	911	661	511	86.1	57.4	43.1	28.7	95.3	63.5	47.6	31.8
25	1273	997	715	535	89.2	59.4	44.6	29.7	98.3	65.5	49.1	32.8
26	1367	1059	751	593	92.2	61.5	46.1	30.7	101.3	67.6	50.7	33.8

번호	데이터 량 (바이트)				M 코드 영역 (mm)				M 인쇄 영역 (mm)			
	L	M	Q	H	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi
27	1465	1125	805	625	95.3	63.5	47.6	31.8	104.4	69.6	52.2	34.8
28	1528	1190	868	658	98.3	65.5	49.1	32.8	107.4	71.6	53.7	35.8
29	1628	1264	908	698	101.3	67.6	50.7	33.8	110.5	73.7	55.2	36.8
30	1732	1370	982	742	104.4	69.6	52.2	34.8	113.5	75.7	56.8	37.8
31	1840	1452	1030	790	107.4	71.6	53.7	35.8	116.6	77.7	58.3	38.9
32	1952	1538	1112	842	110.5	73.7	55.2	36.8	119.6	79.8	59.8	39.9
33	2068	1628	1168	898	113.5	75.7	56.8	37.8	122.7	81.8	61.3	40.9
34	2188	1722	1228	958	116.6	77.7	58.3	38.9	125.7	83.8	62.9	41.9
35	2303	1809	1283	983	119.6	79.8	59.8	39.9	128.8	85.9	64.4	42.9
36	2431	1911	1351	1051	122.7	81.8	61.3	40.9	131.8	87.9	65.9	43.9
37	2563	1989	1423	1093	125.7	83.8	62.9	41.9	134.9	89.9	67.4	45
38	2699	2099	1499	1139	128.8	85.9	64.4	42.9	137.9	91.9	69	46
39	2809	2213	1579	1219	131.8	87.9	65.9	43.9	141	94	70.5	47
40	2953	2331	1663	1273	134.9	89.9	67.4	45	144	96	72	48

### 바코드의 인쇄 크기에 관한 주의 및 제한

스캔한 바코드가 올바르게 인식되려면 다음 기준을 만족시킬 필요가 있습니다.

- 바코드의 선 폭이 다음 기준을 충족시킬 것
  - 스캔 해상도를 200 dpi, 300 dpi 로 스캔하는 경우의 최소 선 폭 : 0.7mm
  - 스캔 해상도를 400 dpi, 600 dpi 로 스캔하는 경우의 최소 선 폭 : 0.3mm
- 바코드 주변의 여백은 최소 선 폭의 10 배일 것
- 바코드의 최소 높이는 10mm 일 것 . 이 값은 10 자리를 기준으로 한 높이입니다 . 10 자리 이상 인 경우는 자릿수에 비례한 높이가 필요합니다 .

### 일반 QR 코드 및 바코드에 대한 참고 사항 및 제한 사항 바코드의 인쇄 크기에 관한 주의 및 제한

플더명에 일반 QR 코드 및 바코드가 지정되면 해당 문자열에 포함 된 “/” 가 계층으로 취급됩니다 . 그러나 문자열 끝에 포함된 경우는 무시됩니다 .

## 페이퍼리스 팩스 전송



• 일부 기종에서는 ‘홈 화면’ 을 ‘메뉴 화면’ 으로 간주하고 읽으십시오 .

### 주의 및 제한

- 복합기의 [ 설정 ] ( 일부 기종에서는 [ 사양설정 ] ) 메뉴를 사용하여 기계 관리자 ID 또는 비밀번호를 변경한 경우 페이퍼리스 팩스 전송에서 설정한 기계 관리자 정보도 변경해야 합니다 . 페이퍼리스 팩스 전송에 등록된 기계 관리자 ID 또는 비밀번호가 복합기의 ID 및 비밀번호와 다른 경우 예외 및 일반 규칙 간에 전환할 수 없습니다 .  
페이퍼리스 팩스 전송에서 기계 관리자 ID 또는 비밀번호를 변경하는 방법에 대한 정보는 " 기계 관리자 ID/ 비밀번호 변경 "(P.41) 를 참고하십시오 .
- 전송 수신국 (SMB, FTP 또는 Working Folder) 에 대한 비밀번호가 변경된 경우 페이퍼리스 팩스 전송의 비밀번호를 변경했는지 확인하십시오 . 그렇지 않으면 전송 에러가 발생합니다 .

- [페이퍼리스 팩스 동작 전환]의 일반/예외 동작 전환 이력은 다른 설정 정보와 함께 내보내기 되지 않습니다.
- Working Folder 서버를 유지 관리하는 동안 수신 팩스를 Working Folder 로 전송할 수 없습니다. 이로 인해 전송 에러가 발생하며, 유지 관리 동안 수신한 팩스는 수신 메일박스에 저장됩니다. 수신 메일박스에 저장된 팩스를 서버로 전송하려면 "메일박스 내의 문서를 수동으로 전송"(P.41)에 기술된 단계를 수행하십시오.
- 페이퍼리스 팩스 전송 화면의 각 항목에 대한 설정을 저장하는 경우 다음이 자동으로 구성되거나 처리됩니다.
  - 신규 메일박스의 작성 또는 기존 메일박스의 변경
  - 신규 일괄처리의 작성 또는 기존 일괄처리의 수정
  - 회선별 메일박스 선택기 설정
  - 메일박스 선택기의 유효화
  - 메일박스 수신 리포트를 [자동출력안함]으로 변경
  - 홈 화면의 버튼 배치 변경
- 페이퍼리스 팩스 전송 화면에서 각 설정을 지정하면 메일박스 수신 리포트의 자동출력이 비활성화됩니다. 메일박스 수신 리포트를 자동으로 출력하려면 [설정]>[시스템 설정]>[리포트]에서 [출력함](일부 기종에서는 [사양설정]>[공통 설정]>[리포트 설정]에서 [자동출력])을 선택하십시오.
- 복합기의 조작 메뉴를 사용하여 페이퍼리스 팩스 전송에서 설정된 메일박스와 일괄처리 간의 연결 및 팩스 회선과 메일박스 간의 연결 모두가 변경되지 않도록 하십시오.
- 페이퍼리스 팩스 전송 화면에서 주소록으로부터 전송 수신국을 지정한 후에 복합기 주소록에 등록된 정보를 변경한 경우 지정된 수신국에 대한 정보는 페이퍼리스 팩스 전송에서 자동으로 업데이트되지 않습니다. 이러한 경우 전송 수신국을 다시 설정해야 합니다.  
페이퍼리스 팩스 전송에서 작성한 일괄 처리는 복합기의 주소록과 연결되어 있지 않습니다.
- 페이퍼리스 팩스 전송에서 작성된 일괄처리를 CentreWare Internet Services 나 Device Setup (디바이스 설정 도구)에서 편집을 할 수 없습니다.
- 다음의 경우는 페이퍼리스 팩스 전송 화면의 [문서 추출 후 삭제] 설정에 관계없이 문서가 삭제됩니다.
  - [설정]>[앱 설정]>[폴더에서 전송 설정]>[외부 추출 후 파일 삭제](일부 기종에서는 [사양설정]>[메일박스 설정]>[외부 추출후 문서 삭제])에서 [강제 삭제]가 설정되어 있는 경우:  
각 메일박스에 설정된 값은 무효가 되고 외부에서 문서가 추출되면 추출된 문서는 강제로 삭제됩니다.
  - [설정]>[앱 설정]>[폴더에서 전송 설정]>[폴더 파일 저장기간](일부 기종에서는 [사양설정]>[저장문서 설정]>[메일박스 문서 저장기간])에서 문서의 저장기간이 설정되어 있고, 동시에 [폴더에서 전송]>[폴더 설정]>[완료된 파일 삭제](일부 기종에서는 [등록/변경]>[메일박스 등록]>[저장기간 경과문서 삭제])가 유효로 되어 있는 경우:  
저장기간이 경과된 문서는 지정된 시각에 삭제됩니다.
- 전송 시에 수신국 서버의 에러나 네트워크 장애 등으로 전송 에러가 발생한 경우, 문서는 메일박스 내에 축적됩니다. 이때, 전송처에서 생성된 폴더는 삭제되지 않고 유지됩니다. 전송 에러로 축적된 문서는 장애가 해소되어도 재전송되지 않습니다. 메일박스 내에 축적된 문서를 전송할 경우는 "메일박스 내의 문서를 수동으로 전송"(P.41)의 조작을 하여 주십시오. 팩스는 전송 대상에서 생성된 폴더로 다시 전달됩니다.  
또한, 전송 자동 실행을 일시적으로 정지한 때에 메일박스 내에 축적된 문서는 전송 자동 실행을 재개하여도 자동으로 전송되지 않습니다. 메일박스 내에 축적된 문서를 전송할 경우는 "메일박스 내의 문서를 수동으로 전송"(P.41)의 조작을 하여 주십시오.
- 메뉴 화면에서 쉽게 찾을 수 있는 곳에 폴더 아이콘을 배치하는 것이 좋습니다. 그러면, 일부 팩스가 수신 메일박스에 남아 있다는 점을 깨닫는 데 도움이 됩니다.

또한, 자세한 에러 정보를 확인할 수 있도록 "전송 리포트 - 전송되지 않은 작업"을 자동으로 인쇄하도록 설정하는 것이 좋습니다 (이 설정은 기본적으로 활성화되어 있습니다).

자세한 내용은 "페이퍼리스 팩스 전송 사용설명서"의 "문제 해결에 도움이 되는 설정"을 참조하십시오.

- 파일의 전체 경로 길이를 256 바이트 \* 이상으로 설정하면 오류가 발생하고 파일이 전송되지 않습니다.

\*: 확장자가 포함되어 있습니다. 사용자가 지정할 수 있는 경로 길이는 241 바이트입니다.



#### 보충

- 표의 "바이트"는 UTF-8 문자 코드에 의한 바이트 수를 의미합니다. "텍스트의 바이트 수"와 바이트로 표시되는 문자 수는 문자에 따라 다릅니다. 예를 들어 일본어 전각 문자는 2~4 바이트로 표시됩니다.
- 전송 대상 1 개 폴더에 저장할 수 있는 파일 및 폴더의 최대 수는 10000 개입니다.

## 메일박스 내의 문서를 수동으로 전송

전송 에러 발생 시나 전송 일시정지 중에 메일박스 내에 축적된 문서는 다음 절차에 의해 전송할 수 있습니다.

### 조작 순서

- 1 다음 조작에서 문서가 저장되어 있는 메일박스를 선택합니다.

#### ▶ 홈 화면에 페이퍼리스 팩스 수신용 박스를 설치한 경우

- (1) 홈 화면을 표시하고 대상 상자의 버튼을 누릅니다.

#### ▶ 페이퍼리스 팩스 수신용 메일박스의 버튼을 배치하지 않은 경우

- (1) 홈 화면을 표시하고 [메일박스 조작]을 누릅니다.
- (2) [메일박스 조작] 화면에서 대상 메일박스를 선택합니다.

- 2 전송할 문서를 선택합니다.

- 3 [일괄처리설정 / 실행]을 누릅니다.

- 4 [실행]을 누릅니다.  
설정된 수신국으로 문서가 전송됩니다.



#### 보충

- 예외에 지정된 시점에 위의 단계에 따라 수신 팩스를 전송하는 경우 팩스는 일반 규칙에 지정된 폴더에 전송되는 것이 아니라 예외를 위해 지정된 폴더로 전송됩니다.

## 기계 관리자 ID/ 비밀번호 변경

기계 관리자 ID 또는 비밀번호가 복합기에서 변경된 경우 페이퍼리스 팩스 전송에서도 변경해야 합니다.

기계 관리자 ID 또는 비밀번호는 다음 단계에 따라 변경할 수 있습니다.

### 조작 순서

- 1 페이퍼리스 팩스 전송을 실행합니다.



#### 보충

- 예로 조작 패널을 사용하여 실행하는 방법을 설명합니다.



#### 참고

실행에 대한 자세한 정보는 다음을 참조하십시오.

- 복합기의 조작부에서 시작하는 경우 "페이퍼리스 팩스 전송 사용설명서"의 "복합기 조작 패널을 사용하여 설정" > "설정 화면 표시"를 참조하십시오.

- Internet Services 를 사용하여 시작하는 경우 “페이퍼리스 팩스 전송 사용설명서”의 “Internet Services 사용 설정” > “설정 화면 표시”를 참조하십시오.

- 2** 복합기의 기계 관리자 정보가 변경된 경우에는 [기계관리자 ID/비밀번호 등록] 화면이 표시됩니다. [기계관리자 ID] 및 [기계관리자 비밀번호]에 새로운 기계 관리자 ID 및 비밀번호를 입력하고 [OK] (또는 [결정])을 누릅니다.  
페이퍼리스 팩스 전송 기계 관리자 정보가 변경됩니다.
- 3** 변경 후 [페이퍼리스 팩스 전송] 화면이 표시되면 필요에 따라 설정을 구성하거나 설정 사항 없이 화면을 닫습니다.

## Updatings for Add-on Application

- 자동 업데이트 실행 일정은 복합기 일련번호마다 다릅니다. 여러 개의 복합기 애드온 응용 프로그램을 동시에 업데이트하려면 수동 업데이트를 실행하십시오.
- 수동 업데이트 화면에서 [Updating for Add-on Apps] 및 다른 응용 프로그램을 함께 선택하여 업데이트할 경우, 다른 응용 프로그램은 업데이트되지 않을 수 있습니다. 이 경우 수동으로 다시 업데이트하십시오.

## 6 หมายเหตุและข้อจำกัด

- ชุดสแกนและจัดส่งอย่างง่าย ..... P.43
- ส่งแฟกซ์แบบลดการใช้กระดาษ ..... P.49
- Updatings for Add-on Application..... P.52

### ชุดสแกนและจัดส่งอย่างง่าย

#### หมายเหตุและข้อจำกัดโดยรวม

- หากคุณตั้งค่าชุดสแกนและจัดส่งอย่างง่ายสำหรับอุปกรณ์มัลติฟังก์ชันซึ่งไม่สามารถใช้คุณสมบัติสแกนและส่งต่อเอกสาร ปุ่มชนิดเอกสารจะปรากฏขึ้น แต่คุณไม่สามารถสแกนหรือส่งต่อเอกสาร
- เมื่อตัวป้อนเอกสารอัตโนมัติ Duplex ไม่สามารถใช้งานได้ด้วยเหตุผลบางประการ คุณสามารถระบุ 2 ด้านในชุดสแกนและจัดส่งอย่างง่าย แต่อินพุตและเอาต์พุตจะออกมา 1 ด้าน
- หากคุณใช้อุปกรณ์มัลติฟังก์ชันที่เชื่อมต่อกับอุปกรณ์ที่เกี่ยวข้อง ชุดสแกนและจัดส่งอย่างง่ายสนับสนุนเฉพาะอุปกรณ์ที่เกี่ยวข้องที่มีการเรียกข้อมูลผู้ใช้ไม่รับประกันบริการนี้เมื่อมีการเชื่อมต่ออุปกรณ์อุปกรณ์การบัญชี
- ในกรณีต่อไปนี้ เครื่องจะไม่ทำการแก้ไขการเอียง
  - ภาพสีและภาพเกรย์สเกลที่มีความละเอียดเท่ากับ 600 dpi
  - ต้นฉบับที่เป็นรูปภาพเท่านั้น
- จำนวนไฟล์และโพลเดอร์สูงสุดที่สามารถจัดเก็บในหนึ่งโพลเดอร์ของปลายทางการถ่ายโอนคือ 10,000

#### หมายเหตุและข้อจำกัดเมื่อดำเนินงาน

- เมื่อเกิดข้อผิดพลาดขึ้นในเวลาที่ดำเนินงาน หน้าจอข้อผิดพลาดจะไม่ปรากฏขึ้นแม้ว่างานจะเสร็จสิ้นแล้วก็ตาม ในกรณีดังกล่าว เครื่องจะเขียนข้อมูลข้อผิดพลาด ในประวัติงานของอุปกรณ์มัลติฟังก์ชัน แล้วตรวจสอบสำหรับวิธีการตรวจสอบประวัติงาน โปรดดูคู่มือที่ให้มาพร้อมกับอุปกรณ์มัลติฟังก์ชัน
- หากมีชื่อไฟล์เดียวกันที่ปลายทางการถ่ายโอน เอกสารสแกนจะมีเครื่องหมายอัฒจันทร์ (-) และตัวเลข 4 หลัก (0001 ถึง 9999) ที่ท้ายชื่อไฟล์ ที่ตอนท้ายของชื่อไฟล์ หากตัวเลขเกิน 9999 จะเกิดข้อผิดพลาด
- หากไฟล์ที่มีชื่อเดียวกันถูกส่งจากเครื่องมัลติฟังก์ชันหลายเครื่องไปยังปลายทางการถ่ายโอนเดียวกันในเวลาเดียวกัน ไฟล์อาจไม่สามารถถ่ายโอนได้อย่างถูกต้อง  
เพื่อป้องกันปัญหานี้ สำหรับกฎของชื่อไฟล์ เครื่องอาจตั้งค่าวันที่และเวลาที่มีวินาที (ตัวอย่างเช่น: filename\_20151001123025.xdw)
- การส่งต่อ FTP ไม่สนับสนุนโปรโตคอลที่มีการสื่อสารแบบเข้ารหัส เช่น SFTP (SSH FTP) และ FTPS (FTP บน SSL/TLS)

- การสื่อสาร FTP ทำงานในโหมดแพสซีฟโดยค่าเริ่มต้นจากโรงงาน โหมดที่สามารถสื่อสารอาจเป็นโหมดแอกทีฟเท่านั้น ทั้งนี้ขึ้นอยู่กับเซิร์ฟเวอร์ ในกรณีดังกล่าว ให้เปลี่ยนโหมดการสื่อสารจาก CentreWare Internet Services
- หากมีไฟล์หรือโฟลเดอร์มากกว่า 10,000 ไฟล์ ที่เซิร์ฟเวอร์การจัดเก็บไฟล์ของปลายทางการถ่ายโอนเอกสารที่สแกนอาจไม่สามารถประมวลผลได้อย่างถูกต้อง

## หมายเหตุและข้อจำกัดในการตั้งค่าการสแกนและจัดส่งอย่างง่าย

### หมายเหตุและข้อจำกัดเกี่ยวกับขนาดข้อมูล

- หากขนาดของข้อมูลที่ตั้งค่าเกินกว่า 1 MB โปรแกรมจะขึ้นข้อผิดพลาดในการแสดงผล การข้อมูลการตั้งค่าจะไม่ได้รับการบันทึก ในกรณีนี้ต้องแก้ไขการตั้งค่าเพื่อลดขนาดของข้อมูล

### หมายเหตุและข้อจำกัดเกี่ยวกับพีเจอร์การบีบอัดขั้นสูง

- อุปกรณ์มัลติฟังก์ชันบางรุ่นอาจไม่สนับสนุนการใช้งานการบีบอัดขั้นสูง
- การใช้งานการบีบอัดขั้นสูงจะใช้งานได้ต่อเมื่อมีการตั้งค่าดังต่อไปนี้ที่ชนิดเอกสาร
  - รูปแบบไฟล์  
PDF หรือ DocuWorks
  - ความละเอียด  
200 dpi หรือ 300 dpi
  - การสแกนสี  
สี, Auto หรือ เกรย์สเกล
- อาจต้องมีการเลือกตัวเลือกการตั้งค่าบางรายการสำหรับการใช้งานฟังก์ชันนี้ ขึ้นอยู่กับอุปกรณ์มัลติฟังก์ชันของคุณ สำหรับรายละเอียดเพิ่มเติมสามารถติดต่อสอบถามได้ที่ศูนย์บริการลูกค้าของเรา

### หมายเหตุและข้อจำกัดเกี่ยวกับการใช้งานการค้นหาค้นหาด้วยข้อความ

- อุปกรณ์มัลติฟังก์ชันบางรุ่นอาจไม่สนับสนุนการทำงานของการทำงานของการค้นหาค้นหาด้วยข้อความ
- พีเจอร์การค้นหาค้นหาด้วยข้อความจะใช้งานได้ต่อเมื่อมีการตั้งค่าดังต่อไปนี้ในชนิดเอกสาร
  - รูปแบบไฟล์  
PDF หรือ DocuWorks
  - ความละเอียด  
200 dpi หรือ 300 dpi
  - ชนิดของต้นฉบับ  
ข้อความ หรือ ภาพและข้อความ
- ในการใช้ฟังก์ชันการจดจำตัวอักษร (OCR) จำเป็นต้องมีชุดสแกนเสริม



#### หมายเหตุ

อุปกรณ์เสริมอาจแตกต่างกันออกไปขึ้นอยู่กับอุปกรณ์มัลติฟังก์ชันของคุณ สำหรับรายละเอียดเพิ่มเติมสามารถติดต่อสอบถามได้ที่ศูนย์บริการลูกค้าของเรา

## หมายเหตุและข้อจำกัดเกี่ยวกับการส่งอีเมลแจ้งเตือนไปยังผู้ใช้งานที่มีสิทธิ์

- หากฟังก์ชันการตรวจสอบสิทธิ์การใช้งานของอุปกรณ์มัลติฟังก์ชันไม่ได้ถูกเปิดใช้งานหรืออีเมลของผู้ใช้งานที่มีสิทธิ์ไม่ได้ลงทะเบียนที่อุปกรณ์มัลติฟังก์ชันจะทำให้ไม่มีการส่งอีเมล แม้ว่าฟังก์ชันการแจ้งเตือนผู้ใช้งานที่มีสิทธิ์จะเปิดใช้อยู่ก็ตาม
- หากคุณเลือก [แจ้งเตือนผู้ใช้ที่รับรองความถูกต้อง] ในหน้าจอการตั้งค่าชนิดเอกสาร และระบุผู้ใช้งานที่มีสิทธิ์สำหรับ [การแจ้งเตือนทางอีเมล (ป้อนอีเมลแอดเดรส) 2] หรือ [การแจ้งเตือนทางอีเมล (ป้อนอีเมลแอดเดรส) 3] จะมีการส่งอีเมลสองฉบับไปตามอีเมลแอดเดรส
- เมื่อ XSA (Xerox Standard Accounting) ถูกนำไปใช้กับอุปกรณ์มัลติฟังก์ชัน [แจ้งเตือนผู้ใช้ที่รับรองความถูกต้อง] จะไม่ปรากฏขึ้นและไม่สามารถใช้งานได้

## หมายเหตุและข้อจำกัดเกี่ยวกับเวอร์ชัน DocuWorks และแอตทริบิวต์ทั่วไป / แอตทริบิวต์เพิ่มเติม

หากแอตทริบิวต์ทั่วไปหรือแอตทริบิวต์เพิ่มเติมถูกเพิ่มใน เอกสาร DocuWorks, DocuWorks 7 หรือรุ่นที่ใหม่กว่าในการดูเอกสาร

หากคุณใช้ DocuWorks 7 หรือรุ่นก่อนหน้า ต้องมั่นใจว่าได้ทำการตั้งค่าดังต่อไปนี้ เพื่อไม่ให้แอตทริบิวต์ทั่วไปหรือแอตทริบิวต์เพิ่มเติมถูกเพิ่มเข้าไปได้

- การเลือก [ปิด] ใน [การตั้งค่าข้อมูลทั่วไป] > [นำแอตทริบิวต์ที่ระบุไปใช้]
- ยกเลิกการเลือก [แอตทริบิวต์เพิ่มเติม] ที่ช่องทำเครื่องหมายใน [การตั้งค่าชนิดเอกสาร] หรือเลือก [ไม่ใช่] สำหรับ [เพิ่มแอตทริบิวต์] ในหน้าจอการตั้งค่าแอตทริบิวต์เพิ่มเติมเมื่อทำการสแกน

## หมายเหตุและข้อจำกัดเกี่ยวกับการอัปเดตข้อมูลการตั้งค่า

- ข้อมูลการตั้งค่าของ สแกนและจัดส่งอย่างง่าย จะไม่สามารถอัปเดตได้ในขณะที่อุปกรณ์มัลติฟังก์ชันกำลังทำงานหรือถูกใช้งานโดยผู้ใช้งานผ่านแผงควบคุม หลังจากเสร็จสิ้นการทำงานหรือการปฏิบัติงานจากผู้ใช้ผ่านแผงควบคุม ลองอัปเดตข้อมูลการตั้งค่าอีกครั้ง

## หมายเหตุและข้อจำกัดเกี่ยวกับความยาวพารามิเตอร์ของชื่อไฟล์

หากคุณตั้งค่าความยาวพารามิเตอร์แบบเต็มของไฟล์เป็น 256 ไบต์\* หรือมากกว่า รายการทั้งหมดที่ระบุในกฎการตั้งชื่อไฟล์อาจไม่ถูกเพิ่มลงในชื่อไฟล์เนื่องจากมีการปรับเปลี่ยนชื่อไฟล์

\* : รวมนามสกุลไฟล์ ความยาวพารามิเตอร์ที่ใช้สามารถระบุได้คือ 241 ไบต์

### หมายเหตุ

- “ไบต์” ในตารางหมายถึงจำนวนไบต์ตามรหัสอักขระ UTF-8 “จำนวนไบต์ของข้อความ” และจำนวนตัวอักษรที่แสดงเป็นไบต์จะขึ้นอยู่กับประเภทของตัวอักษร ตัวอย่างเช่น อักขระเต็มความกว้างคือสองถึงสี่ไบต์

## หมายเหตุและข้อจำกัดเกี่ยวกับภาษาที่ใช้ดำเนินการ

ภาษาที่แสดงจะต้องถูกตั้งค่าในอุปกรณ์มัลติฟังก์ชันล่วงหน้า เนื่องจากชื่อที่จะแสดงจะถูกจัดเตรียมในแต่ละภาษาสำหรับชื่อประเภทหมวดหมู่ ชื่อประเภทเอกสาร และชื่อแอตทริบิวต์เพิ่มเติม หากภาษาถูกตั้งเป็น “ไม่ได้ป้อน” ซึ่งหมายความว่ายังไม่ได้ตั้งชื่อที่จะแสดง ทำตามขั้นตอนต่อไปเพื่อตั้งค่า สำหรับภาษา นอกเหนือจากภาษาญี่ปุ่นและภาษาอังกฤษ

## ขั้นตอน

- 1 ตั้งค่าที่ [อุปกรณ์] > [การตั้งค่าทั่วไป] > [การตั้งค่าหน้าจอ / ปุ่ม] > [ภาษาที่ตั้งไว้] บนอุปกรณ์มัลติฟังก์ชันให้เป็นภาษาที่คุณต้องการตั้งค่า
- 2 รีเซ็ตห่ออุปกรณ์มัลติฟังก์ชัน
- 3 แสดงหน้าจอการตั้งค่าสำหรับสแกนและจัดส่งอย่างง่าย
- 4 จากเมนูด้านข้าง ให้เลือก [การตั้งค่าทั่วไป] > [การตั้งค่าข้อมูลทั่วไป]
- 5 เปลี่ยน [ภาษาที่ใช้ดำเนินการ] เป็นภาษาที่ตั้งไว้ในขั้นตอนที่ 1 และคลิก [นำไปใช้]
- 6 เลือก [การตั้งค่าการสแกนและจัดส่งอย่างง่าย] จากเมนูด้านข้าง และตั้งชื่อประเภทหมวดหมู่ ชื่อประเภทเอกสาร และชื่อแอตทริบิวต์เพิ่มเติม

## หมายเหตุและข้อจำกัดเมื่อใช้เบราว์เซอร์ Firefox ในเวลาที่ทำกรสื่อสาร SSL

หากคุณเข้าใช้อุปกรณ์มัลติฟังก์ชันที่มีการตั้งค่าการสื่อสาร SSL โดยการใช้อินเทอร์เน็ตเบราว์เซอร์ Firefox เครื่องอาจไม่สามารถแสดง CentreWare Internet Services ได้อย่างถูกต้อง  
ในกรณีดังกล่าว ให้ดำเนินการตามขั้นตอนต่อไป

## ขั้นตอน

- 1 เริ่มเบราว์เซอร์ Firefox
- 2 ป้อน `about:config` ในแถบแอดเดรสของเบราว์เซอร์และกดปุ่ม `<Enter>`  
เมนูการตั้งค่าจะปรากฏขึ้น
- 3 ตั้งค่า `security.tls.version.fallback-limit` เป็น 1

## หมายเหตุและข้อจำกัดเกี่ยวกับขนาดการพิมพ์ของคิวอาร์โค้ด

เมื่อต้องการถอดรหัสคิวอาร์โค้ดที่สแกนได้อย่างถูกต้อง จำเป็นต้องพิมพ์พื้นที่คิวอาร์โค้ดในขนาดที่ถูกต้อง (พื้นที่โค้ด) และพื้นที่รวมขอบรอบๆ คิวอาร์โค้ด (พื้นที่พิมพ์)

ตารางต่อไปนี้จะแสดงปริมาณข้อมูล (จำนวนไบต์)

ที่คุณสามารถจัดเก็บในคิวอาร์โค้ดที่กำหนดโดยหมายเลขรุ่นของคิวอาร์โค้ดและระดับการแก้ไขข้อผิดพลาด (L, M, Q, H)

และความสัมพันธ์ระหว่างพื้นที่โค้ดและพื้นที่พิมพ์ต่อความละเอียดการอ่านที่สอดคล้องกับปริมาณข้อมูล

สร้างและพิมพ์คิวอาร์โค้ดที่มีขนาดเหมาะสมตามจำนวนข้อมูลคิวอาร์โค้ด (จำนวนไบต์ข้อความ)

เมื่อสร้างสตริงข้อความสำหรับคิวอาร์โค้ดหรือเอกสารที่มีคิวอาร์โค้ด และความละเอียดในขณะสแกน



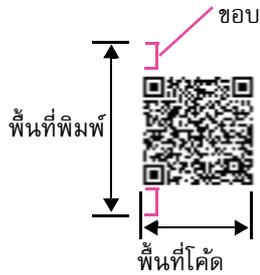
### หมายเหตุ

- “ไบต์ของข้อความ” หมายถึงจำนวนไบต์ที่แสดงโดยรหัสอักษร UTF-8

“ไบต์ของข้อความ” กับจำนวนตัวอักษรที่แสดงด้วยจำนวนไบต์นี้จะต่างกันเนื่องจากตัวอักษรไม่เหมือนกัน ตัวอย่างเช่น อักขระเต็มความกว้างคือสองถึงสี่ไบต์

ตัวอย่างเช่น:

เมื่อต้องการใช้หมายเลขรุ่น 15 ที่ระดับ H ให้สแกนคิวอาร์โค้ดประมาณ 100 อักขระ (สูงสุด 220 ไบต์) ด้วยความละเอียด 300 dpi และถอดรหัสอย่างถูกต้อง คุณต้องพิมพ์คิวอาร์โค้ดโดยให้มีพื้นที่โค้ด 39.1 มม. และพื้นที่พิมพ์ 45.2 มม.



หมายเลข รุ่น	ปริมาณข้อมูล (ไบต์)				พื้นที่โค้ด M (มม.)				พื้นที่พิมพ์ M (มม.)			
	L	M	Q	H	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi
2	32	26	20	14	19.1	12.7	9.5	6.4	28.2	18.8	14.1	9.4
3	53	42	32	24	22.1	14.7	11	7.4	31.2	20.8	15.6	10.4
4	78	62	46	34	25.1	16.8	12.6	8.4	34.3	22.9	17.1	11.4
5	106	84	60	44	28.2	18.8	14.1	9.4	37.3	24.9	18.7	12.4
6	134	106	74	58	31.2	20.8	15.6	10.4	40.4	26.9	20.2	13.5
7	154	122	86	64	34.3	22.9	17.1	11.4	43.4	29	21.7	14.5
8	192	152	108	84	37.3	24.9	18.7	12.4	46.5	31	23.2	15.5
9	230	180	130	98	40.4	26.9	20.2	13.5	49.5	33	24.8	16.5
10	271	213	151	119	43.4	29	21.7	14.5	52.6	35.1	26.3	17.5
11	321	251	177	137	46.5	31	23.2	15.5	55.6	37.1	27.8	18.5
12	367	287	203	155	49.5	33	24.8	16.5	58.7	39.1	29.3	19.6
13	425	311	241	177	52.6	35.1	26.3	17.5	61.7	41.1	30.9	20.6
14	458	362	258	194	55.6	37.1	27.8	18.5	64.8	43.2	32.4	21.6
15	520	412	292	220	58.7	39.1	29.3	19.6	67.8	45.2	33.9	22.6
16	586	450	322	250	61.7	41.1	30.9	20.6	70.9	47.2	35.4	23.6
17	644	504	364	280	64.8	43.2	32.4	21.6	73.9	49.3	37	24.6
18	718	560	394	310	67.8	45.2	33.9	22.6	77	51.3	38.5	25.7
19	792	624	442	338	70.9	47.2	35.4	23.6	80	53.3	40	26.7
20	858	666	482	382	73.9	49.3	37	24.6	83.1	55.4	41.5	27.7
21	929	711	509	403	77	51.3	38.5	25.7	86.1	57.4	43.1	28.7
22	1003	799	565	439	80	53.3	40	26.7	89.2	59.4	44.6	29.7

หมายเลข ชุด	ปริมาณข้อมูล (ไบต์)				พื้นที่โค้ด M (มม.)				พื้นที่พิมพ์ M (มม.)			
	L	M	Q	H	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi
23	1091	857	611	461	83.1	55.4	41.5	27.7	92.2	61.5	46.1	30.7
24	1171	911	661	511	86.1	57.4	43.1	28.7	95.3	63.5	47.6	31.8
25	1273	997	715	535	89.2	59.4	44.6	29.7	98.3	65.5	49.1	32.8
26	1367	1059	751	593	92.2	61.5	46.1	30.7	101.3	67.6	50.7	33.8
27	1465	1125	805	625	95.3	63.5	47.6	31.8	104.4	69.6	52.2	34.8
28	1528	1190	868	658	98.3	65.5	49.1	32.8	107.4	71.6	53.7	35.8
29	1628	1264	908	698	101.3	67.6	50.7	33.8	110.5	73.7	55.2	36.8
30	1732	1370	982	742	104.4	69.6	52.2	34.8	113.5	75.7	56.8	37.8
31	1840	1452	1030	790	107.4	71.6	53.7	35.8	116.6	77.7	58.3	38.9
32	1952	1538	1112	842	110.5	73.7	55.2	36.8	119.6	79.8	59.8	39.9
33	2068	1628	1168	898	113.5	75.7	56.8	37.8	122.7	81.8	61.3	40.9
34	2188	1722	1228	958	116.6	77.7	58.3	38.9	125.7	83.8	62.9	41.9
35	2303	1809	1283	983	119.6	79.8	59.8	39.9	128.8	85.9	64.4	42.9
36	2431	1911	1351	1051	122.7	81.8	61.3	40.9	131.8	87.9	65.9	43.9
37	2563	1989	1423	1093	125.7	83.8	62.9	41.9	134.9	89.9	67.4	45
38	2699	2099	1499	1139	128.8	85.9	64.4	42.9	137.9	91.9	69	46
39	2809	2213	1579	1219	131.8	87.9	65.9	43.9	141	94	70.5	47
40	2953	2331	1663	1273	134.9	89.9	67.4	45	144	96	72	48

### ข้อควรระวังและข้อจำกัดเกี่ยวกับขนาดการพิมพ์บาร์โค้ด

เพื่อให้อ่านบาร์โค้ดที่สแกนได้อย่างถูกต้อง จำเป็นต้องเติมเต็มพื้นฐานต่อไปนี้

- ความกว้างของเส้นบาร์โค้ด เติมเต็มพื้นฐานต่อไปนี้
  - ความกว้างที่น้อยที่สุดของเส้นกรณีสแกนด้วยความละเอียด 200 dpi, 300 dpi : 0.7 mm
  - ความกว้างที่น้อยที่สุดของเส้นกรณีสแกนด้วยความละเอียด 400 dpi, 600 dpi : 0.3 mm
- ช่องว่างโดยรอบบาร์โค้ดคือ 10 เท่าของความกว้างที่น้อยที่สุดของเส้น
- ความสูงที่น้อยที่สุดของบาร์โค้ดคือ 10 mm ค่านี้เป็นความสูงที่เป็นพื้นฐานของ 10 หลัก กรณีมากกว่า 10 หลักขึ้นไป จำเป็นต้องใช้ความสูงตามสัดส่วนจำนวนหลัก

### หมายเหตุและข้อจำกัดเกี่ยวกับรหัส QR ทั่วไปและบาร์โค้ด

เมื่อมีการระบุรหัส QR ทั่วไปและบาร์โค้ดสำหรับชื่อโพลเดอร์ เครื่องหมาย “/” ที่รวมอยู่ในสตริงอักขระที่เกี่ยวข้องจะถือเป็นลำดับขั้น อย่างไรก็ตาม

## ส่งแฟกซ์แบบลดการใช้กระดาษ



### หมายเหตุ

- บางรุ่นให้อ่านสลับจาก "หน้าจอโฮมเพจ" เป็น "หน้าจอเมนู"

### หมายเหตุและข้อจำกัด

- หากไอดีและรหัสผ่านของผู้ดูแลระบบถูกเปลี่ยนผ่านเมนู [อุปกรณ์] (ในบางรุ่น [การตั้งค่าระบบ]) ของอุปกรณ์ ทำให้แน่ใจว่าเปลี่ยนข้อมูลผู้ดูแลระบบที่กำหนดค่าไว้ในส่งแฟกซ์แบบลดการใช้กระดาษ หากไอดีหรือรหัสผ่านของผู้ดูแลระบบที่ลงทะเบียนไว้กับส่งแฟกซ์แบบลดการใช้กระดาษแตกต่างจากที่อยู่ในอุปกรณ์ อุปกรณ์จะไม่สามารถสลับระหว่างชื่อยกเว้นและกฎตามปกติได้  
สำหรับข้อมูลเกี่ยวกับวิธีการเปลี่ยนไอดีหรือรหัสผ่านของผู้ดูแลระบบกับส่งแฟกซ์แบบลดการใช้กระดาษ อ้างอิง "เปลี่ยนไอดี/รหัสผ่านของผู้ดูแลระบบ (รหัสผ่าน)"(P.51)
- หากรหัสผ่านสำหรับปลายทางถ่ายโอน (SMB, FTP หรือ Working Folder) มีการเปลี่ยนแปลง ตรวจสอบให้แน่ใจว่าเปลี่ยนรหัสผ่านกับส่งแฟกซ์แบบลดการใช้กระดาษ มิเช่นนั้น จะเกิดข้อผิดพลาดการถ่ายโอน
- ประวัติการสลับระหว่างปกติ/ชื่อยกเว้น ของ [สลับการดำเนินการของแฟกซ์แบบลดการใช้กระดาษ] จะไม่ถูกส่งออกด้วยการตั้งค่าอื่น
- แฟกซ์ขาเข้าไม่สามารถถ่ายโอนไปยัง Working Folder ในขณะที่เซิร์ฟเวอร์ของ Working Folder กำลังถูกบำรุงรักษาได้ เรื่องนี้นำไปสู่ข้อผิดพลาดการถ่ายโอน และแฟกซ์ที่ได้รับในระหว่างการบำรุงรักษาจะถูกจัดเก็บไว้ในโฟลเดอร์ขาเข้า เพื่อถ่ายโอนแฟกซ์ที่ถูกจัดเก็บในโฟลเดอร์ไปยังเซิร์ฟเวอร์ ดำเนินขั้นตอนที่อธิบายไว้ใน "ถ่ายโอนไฟล์ที่อยู่ในโฟลเดอร์แบบแมนนวล"(P.51)
- หากคุณบันทึกการตั้งค่าสำหรับแต่ละรายการในหน้าจอส่งแฟกซ์แบบลดการใช้กระดาษ รายการต่อไปนี้จะถูกกำหนดหรือจัดการโดยอัตโนมัติ
  - สร้างโฟลเดอร์ใหม่หรือเปลี่ยนโฟลเดอร์เดิม
  - สร้าง Job Flow Sheets หรือแก้ไข Job Flow Sheets เดิม
  - การตั้งค่าของตัวเลือกโฟลเดอร์
  - การตั้งค่าของตัวเลือกโฟลเดอร์มีผลหรือไม่มีผล
  - รายงานโฟลเดอร์เปลี่ยนเป็น [ปิด]
  - การเปลี่ยนผนังปุ่มในหน้าจอโฮมเพจ
- หากแต่ละการตั้งค่าถูกระบุในหน้าจอส่งแฟกซ์แบบลดการใช้กระดาษ คุณลักษณะรายงานโฟลเดอร์จะปิดใช้งานโดยอัตโนมัติ เพื่อพิมพ์รายงานโฟลเดอร์โดยอัตโนมัติ เลือก [เปิด] ภายใต้ [อุปกรณ์] > [การตั้งค่าระบบ] > [รายงาน] (ในบางรุ่น [การตั้งค่าระบบ] > [การตั้งค่าทั่วไป] > [รายงาน])
- ตรวจสอบให้แน่ใจว่าไม่เปลี่ยนทั้งการเชื่อมโยงระหว่างสายแฟกซ์และโฟลเดอร์ และการเชื่อมโยงระหว่างโฟลเดอร์และแผ่นกระดาษที่กำหนดค่าไว้กับส่งแฟกซ์แบบลดการใช้กระดาษผ่านเมนูการทำงานของอุปกรณ์
- หากข้อมูลที่ลงทะเบียนไว้กับของอุปกรณ์มีการเปลี่ยนแปลงหลังจากระบุปลายทางถ่ายโอนจากในหน้าจอส่งแฟกซ์แบบลดการใช้กระดาษ

ข้อมูลเกี่ยวกับปลายทางที่ระบุจะไม่ได้รับการปรับปรุงกับส่งแฟกซ์แบบลดการใช้กระดาษโดยอัตโนมัติ  
ในกรณีนี้ คุณจะต้องกำหนดค่าปลายทางการถ่ายโอนอีกครั้ง

แผ่นกระดาษที่ถูกสร้างกับส่งแฟกซ์แบบลดการใช้กระดาษไม่ได้เชื่อมโยงกับของอุปกรณ์

- สร้าง Job Flow ในไม่สามารถแก้ไขส่งแฟกซ์แบบลดการใช้กระดาษที่อยู่ใน (เครื่องมือการตั้งค่าอุปกรณ์)  
CentreWare Internet Services และ Device Setup
- ในกรณีต่อไปนี้ เอกสารจะถูกลบโดยไม่คำนึงถึงการตั้งค่าของ [ลบไฟล์หลังจากค้นคืน]  
บนหน้าจอการตั้งค่าส่งแฟกซ์แบบลดการใช้กระดาษ

- เมื่อได้ตั้งค่า [การลบแบบบังคับ] ใน [อุปกรณ์] > [การตั้งค่าแอป] > [การตั้งค่าการส่งจากโพลเดอร์] >  
[ไฟล์ที่ถูกเรียกข้อมูลโดยไคลเอนต์] (ในบางรุ่น [การตั้งค่าระบบ] > [การตั้งค่าบริการของโพลเดอร์] >  
[ไฟล์ที่ถูกค้นคืนโดยไคลเอนต์]):

ค่าที่ตั้งไว้ในโพลเดอร์จะไม่มีผล หลังค้นคืนไฟล์โดยไคลเอนต์ ไฟล์นั้นจะถูกบังคับลบ

- เมื่อได้ตั้งค่าวันหมดอายุของไฟล์ใน [อุปกรณ์] > [การตั้งค่าแอป] > [การตั้งค่าการส่งจากโพลเดอร์] >  
[ระยะเวลาการเก็บไฟล์] (ในบางรุ่น [การตั้งค่าระบบ] > [การตั้งค่าของไฟล์ที่เก็บไว้] >  
[วันหมดอายุของไฟล์ในโพลเดอร์]) และเลือก [ใช่] ภายใต้ [ส่งจากโพลเดอร์] > [การตั้งค่าโพลเดอร์] >  
[ลบไฟล์ทั้งหมดอายุ] (ในบางรุ่น [การตั้งค่า] > [สร้างโพลเดอร์] > [ลบไฟล์ทั้งหมดอายุ]):

ไฟล์ทั้งหมดอายุจะถูกลบภายในเวลาที่กำหนด

- หากเกิดข้อผิดพลาดการถ่ายโอนระหว่างการถ่ายโอนเนื่องจากการขัดข้องของเซิร์ฟเวอร์ปลายทางการถ่ายโอนหรือการขัดข้องทางอินเทอร์เน็ต ไฟล์จะถูกเก็บในโพลเดอร์

ในขณะนี้ โพลเดอร์ที่สร้างที่ปลายทางการถ่ายโอนจะยังคงอยู่โดยไม่ถูกลบ

หลังแก้ไขปัญหาเสร็จก็ไม่สามารถถ่ายโอนใหม่

หากต้องการถ่ายโอนไฟล์ที่บันทึกในโพลเดอร์

โปรดปฏิบัติตาม“ถ่ายโอนไฟล์ที่อยู่ในโพลเดอร์แบบแมนนวล”(P.51)

แฟกซ์จะถูกส่งต่อไปยังโพลเดอร์ที่สร้างที่ปลายทางการถ่ายโอนอีกครั้ง

นอกจากนี้ เมื่อหยุดเริ่มการถ่ายโอนโดยอัตโนมัติชั่วคราว หลังเริ่มการถ่ายโอนโดยอัตโนมัติใหม่

ไฟล์ที่เก็บในโพลเดอร์ก็ไม่สามารถถ่ายโอนโดยอัตโนมัติ

หากต้องการถ่ายโอนไฟล์ที่บันทึกในโพลเดอร์

โปรดปฏิบัติตาม“ถ่ายโอนไฟล์ที่อยู่ในโพลเดอร์แบบแมนนวล”(P.51)

- เราแนะนำให้คุณวางไอคอนโพลเดอร์ไว้ในที่ซึ่งคุณสามารถหาได้ง่ายในหน้าหลัก  
การทำเช่นนี้ช่วยให้คุณรับรู้ว่ามีแฟกซ์บางส่วนถูกทิ้งไว้ในโพลเดอร์ซ้ำ

ยิ่งไปกว่านั้น เราแนะนำให้คุณกำหนดการตั้งค่าเพื่อพิมพ์ “รายงานการถ่ายโอน - งานที่ไม่ส่งมอบ”  
โดยอัตโนมัติเพื่อให้ยืนยันข้อมูลข้อผิดพลาดโดยละเอียดได้ (การตั้งค่านี้เปิดใช้งานโดยค่าเริ่มต้น)

สำหรับรายละเอียดเพิ่มเติม โปรดดูที่ “การตั้งค่าที่มีประโยชน์สำหรับการแก้ไขปัญหา” ใน  
“คู่มืออ้างอิงส่งแฟกซ์แบบลดการใช้กระดาษ”

- หากคุณตั้งค่าความยาวพารามิเตอร์ของไฟล์เป็น 256 ไบต์\* หรือมากกว่า  
จะเกิดข้อผิดพลาดและไฟล์จะไม่ถูกถ่ายโอน

\*: รวมนามสกุลไฟล์ ความยาวพารามิเตอร์ที่ใช้สามารถระบุได้คือ 241 ไบต์



- “ไบต์” ในตารางหมายถึงจำนวนไบต์ตามรหัสอักขระ UTF-8

“จำนวนไบต์ของข้อความ” และจำนวนตัวอักษรที่แสดงเป็นไบต์จะขึ้นอยู่กับประเภทของตัวอักษร  
ตัวอย่างเช่น อักขระเต็มความกว้างคือสองถึงสี่ไบต์

- จำนวนไฟล์และโพลเดอร์สูงสุดที่สามารถจัดเก็บในหนึ่งโพลเดอร์ของปลายทางถ่ายโอนคือ 10,000

## ถ่ายโอนไฟล์ที่อยู่ในโพลเดอร์แบบแมนนวล

เมื่อเกิดข้อผิดพลาดการถ่ายโอนหรือหยุดถ่ายโอนชั่วคราว  
ไฟล์ที่เก็บในโพลเดอร์ยังสามารถถ่ายโอนต่อตามขั้นตอนดังนี้

### ขั้นตอน

#### 1 เลือกโพลเดอร์เก็บไฟล์ตามขั้นตอนต่อไปนี้

▶ เมื่อกำหนดรูปแบบปุ่มสำหรับการรับแฟกซ์แบบลดการใช้กระดาษในหน้าจอโฮมเพจ

(1) เมื่อขึ้นหน้าจอโฮมเพจ กดปุ่มโพลเดอร์ที่สอดคล้องกัน

▶ เมื่อไม่ได้กำหนดรูปแบบปุ่มสำหรับการรับแฟกซ์แบบลดการใช้กระดาษ

(1) เมื่อขึ้นหน้าจอโฮมเพจ กด [ส่งจากโพลเดอร์]

(2) โปรดเลือกโพลเดอร์ที่สอดคล้องกันในหน้าจอ [ส่งจากโพลเดอร์]

#### 2 เลือกไฟล์ที่จะส่ง

#### 3 กด [การตั้งค่า Job Flow...]

#### 4 กด [เริ่ม Job Flow ปัจจุบัน]

ไฟล์จะถูกถ่ายโอนถึงปลายทางถ่ายโอนที่ตั้งไว้



#### หมายเหตุ

- หากคุณถ่ายโอนแฟกซ์ที่ได้รับตามขั้นตอนข้างต้นในเวลาที่กำหนดสำหรับช้อยกเว้น แฟกซ์จะไม่ถูกถ่ายโอนไปยังโพลเดอร์ที่ระบุสำหรับกฎตามปกติ แต่ถูกถ่ายโอนไปยังโพลเดอร์ที่ระบุสำหรับช้อยกเว้น

## เปลี่ยนไอดี/รหัสผ่านของผู้ดูแลระบบ (รหัสผ่าน)

หากไอดีหรือรหัสผ่านของผู้ดูแลระบบมีการเปลี่ยนแปลงกับอุปกรณ์  
จะต้องได้รับการเปลี่ยนกับส่งแฟกซ์แบบลดการใช้กระดาษด้วยเช่นกัน

สามารถเปลี่ยนแปลงไอดีหรือรหัสผ่านของผู้ดูแลระบบ (รหัสผ่าน) ได้ตามขั้นตอนต่อไปนี้

### ขั้นตอน

#### 1 เริ่มต้นส่งแฟกซ์แบบลดการใช้กระดาษ



#### หมายเหตุ

- ส่วนต่อไปนี้อธิบายวิธีการเริ่มต้นผ่านแผงควบคุม ตามตัวอย่าง



#### ดูที่

สำหรับรายละเอียดเพิ่มเติมเกี่ยวกับการเริ่มต้น อ้างอิงส่วนต่อไปนี้

- เมื่อเริ่มต้นใช้งานผ่านแผงควบคุมของอุปกรณ์มัลติฟังก์ชัน โปรดดู “การตั้งค่าผ่านแผงควบคุมของอุปกรณ์” > “แสดงหน้าจอการตั้งค่า” ใน “คู่มืออ้างอิงส่งแฟกซ์แบบลดการใช้กระดาษ”
- เมื่อเริ่มต้นใช้ Internet Services โปรดดูที่ “การตั้งค่าโดยใช้ Internet Services” > “แสดงหน้าจอการตั้งค่า” ใน “คู่มืออ้างอิงส่งแฟกซ์แบบลดการใช้กระดาษ”

- 2 หากข้อมูลผู้ดูแลระบบของอุปกรณ์มัลติฟังก์ชันถูกเปลี่ยน หน้าจอ [ลงทะเบียนรหัสผู้ใช้/รหัสผ่านของผู้ดูแลระบบ] จะปรากฏ บ่อนไอติและรหัสผ่านใหม่ของผู้ดูแลระบบใน [รหัสผู้ใช้ผู้ดูแลระบบ] และใน [รหัสผ่านผู้ดูแลระบบ] และกด [ตกลง] (หรือ [บันทึก]) ข้อมูลผู้ดูแลระบบของส่งแฟกซ์แบบลดการใช้กระดาษจะมีการเปลี่ยนแปลง
- 3 หลังการเปลี่ยนแปลง เมื่อหน้าจอ [ส่งแฟกซ์แบบลดการใช้กระดาษ] ปรากฏขึ้นมา กำหนดการตั้งค่าตามความจำเป็น หรือปิดหน้าจอโดยไม่ทำการตั้งค่า

### Updatings for Add-on Application

- กำหนดการที่ดำเนินการอัปเดตอัตโนมัติจะแตกต่างกันไปตามหมายเลขซีเรียลของอุปกรณ์มัลติฟังก์ชันแต่ละตัว หากต้องการอัปเดต Add-on Applications ของอุปกรณ์มัลติฟังก์ชันหลายเครื่องพร้อมกัน ให้ดำเนินการอัปเดตด้วยตนเอง
- หากคุณเลือก [Updating for Add-on Apps] และแอปพลิเคชันอื่นๆ ร่วมกันจากหน้าจอการอัปเดตด้วยตนเอง และการอัปเดต แอปพลิเคชันอื่นๆ อาจไม่ได้รับการอัปเดต ในกรณีนี้ โปรดอัปเดตด้วยตนเองอีกครั้ง

## 7 Catatan dan Batasan

- Pengiriman Pemindaian.....P.53
- Pengiriman Faks tanpa Kertas .....P.58
- Updatings for Add-on Application.....P.61

### Pengiriman Pemindaian

#### Catatan dan Batasan Secara Keseluruhan

- Jika Anda mengatur Pengiriman Pindaian untuk perangkat multifungsi yang fitur pemindaian dan penerusan dokumen tidak tersedia, tombol tipe dokumen akan ditampilkan tetapi Anda tidak dapat memindai atau meneruskan dokumen.
- Bila pengumpan dokumen otomatis dupleks tidak dapat digunakan karena alasan tertentu, Anda dapat menentukan 2 Sisi dalam Pengiriman Pindaian, tetapi input dan output dilakukan oleh 1 Sisi.
- Jika Anda menggunakan perangkat multifungsi yang terhubung ke peralatan terkait, Pengiriman Pindaian hanya mendukung perangkat terkait tempat informasi pengguna diambil.  
Layanan ini tidak dijamin bila perangkat penagihan terhubung ke perangkat multifungsi.
- Dalam kasus berikut, Koreksi Kemiringan tidak dilakukan.
  - Warna gambar dan gambar skala abu-abu yang resolusinya 600 dpi
  - Hanya gambar fotografi
- Jumlah maksimum file dan folder yang dapat disimpan dalam satu folder tujuan transfer adalah 10000.

#### Catatan dan Batasan Saat Melaksanakan Pekerjaan

- Bila kesalahan terjadi pada saat melaksanakan pekerjaan, layar kesalahan tidak ditampilkan meskipun pekerjaan telah selesai. Dalam kasus tersebut, informasi kesalahan ditulis dalam riwayat pekerjaan perangkat multifungsi. Dan lalu memeriksanya. Untuk metode pemeriksaan riwayat pekerjaan, lihat panduan yang disediakan bersama perangkat multifungsi.
- Jika terdapat file dengan nama yang sama di tujuan transfer, tanda hubung (-) dan angka empat digit (0001 hingga 9999) akan ditambahkan ke akhir nama file. Jika angkanya lebih dari 9999, maka akan terjadi kesalahan.
- Jika file yang sama dikirim ke tujuan transfer secara bersamaan dari lebih dari satu perangkat multifungsi, file mungkin tidak akan terkirim dengan benar.  
Untuk mencegah hal ini, untuk aturan nama file, sebaiknya tanggal dan waktu termasuk yang kedua diatur (Misalnya: namafile\_20151001123025.xdw).
- Penerusan FTP tidak mendukung protokol dengan komunikasi kriptografi seperti SFTP (SSH FTP) dan FTPS (FTP melalui SSL/TLS).
- Komunikasi FTP dioperasikan dalam mode Pasif secara default dari pabrik. Tergantung pada servernya, mode yang dapat berkomunikasi bisa saja hanya mode aktif. Dalam kasus tersebut, ubah mode komunikasi dari CentreWare Internet Services.
- Jika terdapat 10.000 atau lebih file dan folder di tujuan penyimpanan file pada server tujuan transfer, dokumen pindai mungkin tidak akan diproses dengan benar.

## Catatan dan Batasan tentang Pengiriman Pindaian

### Catatan dan Batasan tentang Ukuran Data

- Jika ukuran data pengaturan lebih dari 1 MB, kesalahan akan ditampilkan dan informasi pengaturan tidak akan disimpan. Dalam kasus ini, ubah pengaturan sehingga jumlah data dapat dikurangi.

### Catatan dan Batasan tentang Fitur Kompresi Tinggi

- Beberapa model perangkat multifungsi mungkin tidak mendukung fitur Kompresi Tinggi.
- Fitur Kompresi Tinggi tersedia bila nilai berikut diatur dalam tipe dokumen.
  - Format File  
PDF atau DocuWorks
  - Resolusi  
200 dpi atau 300 dpi
  - Pemindaian Warna  
Warna, Otomatis, atau Skala Abu-Abu
- Tergantung pada perangkat multifungsi Anda, beberapa pengaturan opsi mungkin diperlukan agar dapat menggunakan fitur ini. Untuk informasi lebih lanjut, hubungi Pusat Dukungan Pelanggan kami.

### Catatan dan Batasan tentang Fitur Teks yang Dapat Dicari

- Beberapa model perangkat multifungsi mungkin tidak mendukung fitur Teks yang Dapat Dicari.
- Fitur Teks yang Dapat Dicari tersedia bila nilai berikut diatur dalam tipe dokumen.
  - Format File  
PDF atau DocuWorks
  - Resolusi  
200 dpi atau 300 dpi
  - Tipe Asli  
Teks atau Foto & Teks
- Untuk menggunakan fitur Teks yang Dapat Dicari, Advanced Scan Kit opsional diperlukan.



#### **Catatan**

Tergantung pada perangkat multifungsi Anda, komponen opsional mungkin berbeda-beda. Untuk informasi lebih lanjut, hubungi Pusat Dukungan Pelanggan kami.

### Catatan dan Batasan tentang Fitur untuk Mengirimkan Notifikasi Email kepada Pengguna Terautentikasi

- Jika fitur autentikasi tidak diaktifkan pada perangkat multifungsi atau alamat email pengguna terautentikasi tidak teregistrasi dengan perangkat multifungsi, email tidak akan dikirim walaupun fitur Beri Notifikasi Pengguna Terautentikasi diaktifkan.
- Jika Anda memilih [Beri Tahu Pengguna yang Terautentikasi] pada layar Pengaturan Tipe Dokumen dan menentukan alamat email pengguna terautentikasi untuk [Notifikasi Email (Masukkan Alamat Email) 2] atau [Notifikasi Email (Masukkan Alamat Email) 3], dua email akan dikirimkan ke alamat tersebut.
- Jika XSA (Xerox Standard Accounting) diterapkan ke perangkat multifungsi, [Beri Tahu Pengguna yang Terautentikasi] tidak ditampilkan dan tidak dapat digunakan.

## Catatan dan Batasan tentang Versi DocuWorks dan Atribut Reguler/Atribut Diperluas

Jika atribut reguler atau atribut diperluas ditambahkan ke DocuWorks Document, DocuWorks 7 atau yang lebih baru diperlukan untuk melihat dokumen.

Jika Anda menggunakan DocuWorks 7 atau yang lebih lama, pastikan untuk mengatur yang berikut ini sehingga atribut reguler dan atribut diperluas tidak dapat ditambahkan.

- Memilih [Off] di bawah [Pengaturan Informasi Umum] > [Terapkan Atribut yang Ditentukan]
- Mengosongkan kotak centang [Atribut Panjang] di [Pengaturan Tipe Dokumen], atau memilih [Tidak] untuk [Tambah Atribut] pada layar untuk mengatur atribut diperluas saat memindai.

## Catatan dan Batasan tentang Pembaruan Informasi Pengaturan

- Informasi pengaturan Pengiriman Pindaian tidak dapat diperbarui saat perangkat multifungsi memproses pekerjaan atau dioperasikan oleh pengguna melalui panel kontrol. Setelah pekerjaan selesai atau pengoperasian oleh pengguna melalui panel kontrol selesai, coba perbarui lagi informasi pengaturan.

## Catatan dan Batasan tentang Panjang Jalur Nama File

Jika Anda menetapkan panjang jalur lengkap file menjadi 256 byte\* atau lebih, semua item yang ditentukan dalam aturan nama file mungkin tidak ditambahkan ke nama file karena adanya penyesuaian nama file.

\*: Ekstensi disertakan. Panjang jalur yang dapat ditentukan oleh pengguna adalah 241 byte.



### Catatan

- “Byte” dalam tabel berarti jumlah byte berdasarkan kode karakter UTF-8. “Jumlah byte teks” dan jumlah karakter yang dinyatakan oleh byte bergantung pada karakter. Misalnya, karakter lebar penuh dijelaskan dengan dua hingga empat byte.

## Catatan dan Batasan tentang Bahasa Pemrosesan

Bahasa tampilan harus diatur terlebih dahulu di perangkat multifungsi karena nama tampilan disiapkan untuk setiap bahasa nama jenis kategori, nama jenis dokumen, dan nama atribut yang diperluas. “Tidak dimasukkan” diatur untuk bahasa yang belum mengatur nama tampilan.

Lakukan langkah-langkah berikut untuk mengatur nilai bahasa selain bahasa Jepang dan Inggris.

### Langkah

- 1 [Perangkat]> [Pengaturan Umum]> [Pengaturan Layar/Tombol]> [Default Language] pada perangkat multifungsi ke bahasa yang ingin diatur.
- 2 Mulai ulang perangkat multifungsi.
- 3 Tampilkan screen pengaturan untuk Pengiriman Pemindaian.
- 4 Dari menu samping, pilih [Pengaturan Layanan Umum]> [Pengaturan Informasi Umum].
- 5 Ubah [Bahasa Pemrosesan] ke bahasa yang diatur pada langkah 1, dan klik [Terapkan].
- 6 Pilih [Pengaturan Pengiriman Pemindaian] dari menu samping, lalu atur nama jenis kategori, nama jenis dokumen, dan nama atribut yang diperluas.

## Catatan dan Batasan Bila Anda Menggunakan Browser Firefox pada Saat Komunikasi SSL Communication Berlangsung

Jika Anda mengakses perangkat multifungsi yang mengatur komunikasi SSL, dengan menggunakan Firefox untuk browser web, CentreWare Internet Services mungkin tidak ditampilkan dengan benar.

Dalam kasus tersebut, jalankan langkah berikut.

### Langkah

- 1** Mulai browser Firefox.
- 2** Masukkan "about:config" di bilah alamat browser dan tekan tombol <Enter>. Menu pengaturan akan ditampilkan.
- 3** Atur nilai "security.tls.version.fallback-limit" to 1.

## Catatan dan Batasan tentang Ukuran Pencetakan Kode QR

Untuk mendekode kode QR yang dipindai dengan benar, perlu mencetak dalam ukuran area kode QR yang tepat (area kode) dan area termasuk margin di sekitar kode QR (area pencetakan).

Tabel berikut menunjukkan jumlah data (jumlah byte) yang dapat Anda simpan dalam kode QR yang ditentukan berdasarkan nomor model kode QR dan tingkat koreksi kesalahan (L, M, Q, H), dan hubungan antara area kode dan area pencetakan per resolusi pembacaan sesuai dengan jumlah data.

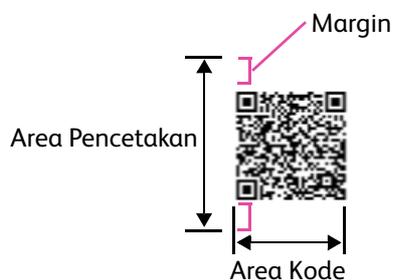
Berdasarkan jumlah data kode QR (jumlah byte teks) saat membuat string teks untuk kode QR atau dokumen dengan kode QR dan resolusi pada saat memindai, hasilkan, dan cetak kode QR dengan ukuran yang sesuai.

### Catatan

- "Byte" dalam tabel berarti jumlah byte berdasarkan kode karakter UTF-8. "Jumlah byte teks" dan jumlah karakter yang diekspresikan oleh byte tergantung pada karakternya. Sebagai contoh, karakter lebar-penuh dijelaskan dengan dua hingga empat byte.

Sebagai contoh:

Untuk menggunakan Model No. 15 di Level H, pindai kode QR sekitar 100 karakter (hingga 220 byte) dalam resolusi 300 dpi, dan mendekodinya dengan benar, Anda harus mencetak kode QR dari area kode 39,1 mm dan area pencetakan 45,2 mm.



Untuk menggunakan Model No. 15 di Level H, pindai kode QR sekitar 100 karakter (hingga 220

No. Model	Jumlah Data (Byte)				Area Kode M (mm)				Area Pencetakan M (mm)			
	L	M	Q	H	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi
2	32	26	20	14	19,1	12,7	9,5	6,4	28,2	18,8	14,1	9,4
3	53	42	32	24	22,1	14,7	11	7,4	31,2	20,8	15,6	10,4
4	78	62	46	34	25,1	16,8	12,6	8,4	34,3	22,9	17,1	11,4
5	106	84	60	44	28,2	18,8	14,1	9,4	37,3	24,9	18,7	12,4
6	134	106	74	58	31,2	20,8	15,6	10,4	40,4	26,9	20,2	13,5
7	154	122	86	64	34,3	22,9	17,1	11,4	43,4	29	21,7	14,5
8	192	152	108	84	37,3	24,9	18,7	12,4	46,5	31	23,2	15,5
9	230	180	130	98	40,4	26,9	20,2	13,5	49,5	33	24,8	16,5
10	271	213	151	119	43,4	29	21,7	14,5	52,6	35,1	26,3	17,5
11	321	251	177	137	46,5	31	23,2	15,5	55,6	37,1	27,8	18,5
12	367	287	203	155	49,5	33	24,8	16,5	58,7	39,1	29,3	19,6
13	425	311	241	177	52,6	35,1	26,3	17,5	61,7	41,1	30,9	20,6
14	458	362	258	194	55,6	37,1	27,8	18,5	64,8	43,2	32,4	21,6
15	520	412	292	220	58,7	39,1	29,3	19,6	67,8	45,2	33,9	22,6
16	586	450	322	250	61,7	41,1	30,9	20,6	70,9	47,2	35,4	23,6
17	644	504	364	280	64,8	43,2	32,4	21,6	73,9	49,3	37	24,6
18	718	560	394	310	67,8	45,2	33,9	22,6	77	51,3	38,5	25,7
19	792	624	442	338	70,9	47,2	35,4	23,6	80	53,3	40	26,7
20	858	666	482	382	73,9	49,3	37	24,6	83,1	55,4	41,5	27,7
21	929	711	509	403	77	51,3	38,5	25,7	86,1	57,4	43,1	28,7
22	1003	799	565	439	80	53,3	40	26,7	89,2	59,4	44,6	29,7
23	1091	857	611	461	83,1	55,4	41,5	27,7	92,2	61,5	46,1	30,7
24	1171	911	661	511	86,1	57,4	43,1	28,7	95,3	63,5	47,6	31,8
25	1273	997	715	535	89,2	59,4	44,6	29,7	98,3	65,5	49,1	32,8
26	1367	1059	751	593	92,2	61,5	46,1	30,7	101,3	67,6	50,7	33,8
27	1465	1125	805	625	95,3	63,5	47,6	31,8	104,4	69,6	52,2	34,8
28	1528	1190	868	658	98,3	65,5	49,1	32,8	107,4	71,6	53,7	35,8
29	1628	1264	908	698	101,3	67,6	50,7	33,8	110,5	73,7	55,2	36,8
30	1732	1370	982	742	104,4	69,6	52,2	34,8	113,5	75,7	56,8	37,8
31	1840	1452	1030	790	107,4	71,6	53,7	35,8	116,6	77,7	58,3	38,9
32	1952	1538	1112	842	110,5	73,7	55,2	36,8	119,6	79,8	59,8	39,9
33	2068	1628	1168	898	113,5	75,7	56,8	37,8	122,7	81,8	61,3	40,9
34	2188	1722	1228	958	116,6	77,7	58,3	38,9	125,7	83,8	62,9	41,9
35	2303	1809	1283	983	119,6	79,8	59,8	39,9	128,8	85,9	64,4	42,9
36	2431	1911	1351	1051	122,7	81,8	61,3	40,9	131,8	87,9	65,9	43,9
37	2563	1989	1423	1093	125,7	83,8	62,9	41,9	134,9	89,9	67,4	45

No. Model	Jumlah Data (Byte)				Area Kode M (mm)				Area Pencetakan M (mm)			
	L	M	Q	H	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi
38	2699	2099	1499	1139	128,8	85,9	64,4	42,9	137,9	91,9	69	46
39	2809	2213	1579	1219	131,8	87,9	65,9	43,9	141	94	70,5	47
40	2953	2331	1663	1273	134,9	89,9	67,4	45	144	96	72	48

byte) di

## Catatan dan Batasan tentang Ukuran Pencetakan Barcode

Untuk mendekode kode barcode yang dipindai dengan benar, kriteria berikut harus dipenuhi.

- Lebar garis barcode harus memenuhi kriteria berikut.
  - Lebar garis minimum bila memindai dengan resolusi pemindaian 200 dpi atau 300 dpi: 0,7 mm
  - Lebar garis minimum bila memindai dengan resolusi pemindaian 400 dpi atau 600 dpi: 0,3 mm
- Tinggi minimum barcode harus 10 mm
- Nilai ini adalah ketinggian untuk kriteria bila terdapat 10 digit. Bila terdapat lebih dari 10 digit, ketinggian harus proporsional terhadap jumlah digit.

## Catatan dan Batasan tentang Kode QR Umum dan Kode Batang

Jika kode QR umum dan kode batang ditentukan untuk nama folder, "/" yang disertakan dalam string karakter yang sesuai akan diperlakukan sebagai hierarki. Namun, jika disertakan di akhir string karakter, "/" akan diabaikan.

## Pengiriman Faks tanpa Kertas



### Catatan

- Pada beberapa model, baca "Layar Beranda" sebagai "Layar Beranda Layanan".

## Catatan dan Batasan

- Jika ID administrator sistem atau kode sandi diubah melalui menu [Perangkat] (pada beberapa model, [Pengaturan Sistem]) pada perangkat multifungsi, pastikan untuk mengubah informasi administrator sistem yang ditetapkan dalam Pengiriman Faks tanpa Kertas. Jika administrator sistem ID atau kode sandi yang terdaftar pada Pengiriman Faks tanpa Kertas berbeda dengan ID atau kode sandi pada perangkat multifungsi, perangkat multifungsi tersebut tidak dapat melakukan pergantian antara pengecualian dan aturan umum.

Untuk informasi tentang cara mengubah ID administrator sistem atau kode sandi pada Pengiriman Faks tanpa Kertas, lihat "Mengubah ID/Kode Sandi Administrator Sistem (Sandi)"(P.61).

- Jika sandi untuk tujuan transfer (SMB, FTP, atau Working Folder) telah diubah, pastikan untuk mengganti sandi dengan Pengiriman Faks tanpa Kertas. Jika tidak, kesalahan transfer akan terjadi.
- Riwayat peralihan normal/pengecualian [Beralih Operasi Faks tanpa Kertas] tidak diekspor dengan pengaturan lain.
- Faks yang masuk tidak dapat ditransfer ke Working Folder saat server Working Folder sedang menjalankan pemeliharaan. Hal ini menyebabkan kesalahan transfer, dan dokumen faks yang diterima selama pemeliharaan disimpan di folder yang masuk. Untuk

mentransfer faks yang tersimpan di folder ke server, lakukan langkah-langkah yang dijelaskan dalam "Teruskan Dokumen Faks yang Diterima dan Disimpan dalam Folder secara Manual"(P.60).

- Jika Anda menyimpan pengaturan untuk masing-masing item pada layar Pengiriman Faks tanpa Kertas, bagian berikut akan dikonfigurasi atau ditangani secara otomatis.
    - Membuat folder baru atau mengubah folder yang ada
    - Membuat lembar alur pekerjaan baru atau mengedit lembar alur pekerjaan yang ada
    - Mengatur pemilih folder menurut saluran
    - Mengaktifkan pemilih folder
    - Mengatur fitur Laporan Folder ke [Off]
    - Mengubah tatanan tombol pada layar Beranda Layanan (pada beberapa model, layar Menu)
  - Jika masing-masing pengaturan ditentukan pada layar Pengiriman Faks tanpa Kertas, fitur Laporan Folder secara otomatis dinonaktifkan. Untuk mencetak Laporan secara otomatis, pilih [On] di bawah [Perangkat] > [Pengaturan Sistem] > [Laporan] (pada beberapa model, [Pengaturan Sistem] > [Pengaturan Layanan Umum] > [Laporan]).
  - Pastikan untuk tidak mengubah tautan antara saluran faks dan folder dan tautan antara folder dan lembar alur pekerjaan yang ditetapkan pada Pengiriman Faks tanpa Kertas melalui menu operasi pada perangkat multifungsi.
  - Jika informasi yang didaftarkan pada Buku Alamat pada perangkat multifungsi diubah setelah tujuan transfer ditentukan dari Buku Alamat pada layar Pengiriman Faks tanpa Kertas, informasi tersebut pada tujuan yang ditentukan tidak dapat diperbarui secara otomatis pada Pengiriman Faks tanpa Kertas. Jika demikian, Anda dapat mengatur tujuan transfer kembali.
- Lembar alur pekerjaan yang dibuat pada Pengiriman Faks tanpa Kertas tidak saling terkait dengan Buku Alamat perangkat multifungsi.
- Lembaran alur pekerjaan yang dibuat pada Pengiriman Faks tanpa Kertas tidak dapat diedit menggunakan CentreWare Internet Services atau alat Penyetelan Perangkat.
  - Faks yang diterima dan disimpan dalam folder dihapus jika hal berikut terjadi, apa pun pengaturan untuk [Hapus File Setelah Pengambilan] pada layar pengaturan Pengiriman Faks tanpa Kertas.
    - Jika [Hapus Paksa] dipilih di bawah Perangkat] > [Pengaturan Aplikasi] > [Pengaturan Kirim dari Folder] > [File Diambil oleh Klien] (pada beberapa model, [Pengaturan Port] > [Pengaturan Layanan Folder] > [File Diambil oleh Klien]):  
Pengaturan untuk setiap folder diabaikan, dan dokumen faks yang diterima dan disimpan dalam folder dihapus secara paksa saat diambil oleh klien.
    - Saat tanggal kedaluwarsa ditentukan di bawah [Perangkat] > [Pengaturan Aplikasi] > [Pengaturan Kirim dari Folder] > [Periode Retensi File] (pada beberapa model, [Pengaturan Sistem] > [Pengaturan File Tersimpan] > [Tgl Kedaluwarsa utk File di Folder]) dan [Ya] dipilih di bawah [Kirim dari Folder] > [Pengaturan Folder] > [Hapus File Kedaluwarsa] (pada beberapa model, [Penyetelan] > [Buat Folder] > [Hapus File Kedaluwarsa]):  
File yang kedaluwarsa dalam folder dihapus pada waktu yang ditentukan.
  - Ketika kesalahan terjadi karena kerusakan pada server tujuan atau kegagalan jaringan saat meneruskan dokumen faks yang diterima, mereka disimpan dalam folder. Untuk saat ini, folder yang dibuat di tujuan transfer dipertahankan tanpa dihapus. Namun, dokumen faks tersebut tidak lagi diteruskan ke tujuan yang ditentukan bahkan jika kesalahan berhasil

diatasi. Untuk meneruskan dokumen faks yang diterima dan disimpan dalam folder, lakukan prosedur yang diuraikan dalam "Teruskan Dokumen Faks yang Diterima dan Disimpan dalam Folder secara Manual"(P.60). Faks diteruskan kembali ke folder yang dibuat di tujuan transfer.

Selain itu, dokumen faks yang diterima dan disimpan dalam folder saat fitur Mulai Otomatis Transfer dinonaktifkan sementara tidak diteruskan secara otomatis, bahkan saat fitur diaktifkan. Untuk meneruskan dokumen faks yang diterima dan disimpan dalam folder, lakukan prosedur yang diuraikan dalam "Teruskan Dokumen Faks yang Diterima dan Disimpan dalam Folder secara Manual"(P.60).

- Anda sebaiknya meletakkan ikon folder di suatu tempat yang memudahkan Anda menemukan ikon folder tersebut di layar Beranda Layanan, ini membantu Anda untuk menyadari bahwa beberapa faks tertinggal di folder yang masuk.

Selain itu, Anda sebaiknya mengonfigurasi pengaturan untuk secara otomatis mencetak "Laporan Transmisi - Pekerjaan Tak Terkirim" sehingga detail informasi kesalahan dapat dikonfirmasi (Pengaturan ini diaktifkan dengan pengaturan default.).

Untuk detail lebih lanjut, lihat "Pengaturan yang Membantu Penyelesaian Masalah" di "Pengiriman Faks tanpa Kertas Panduan Pengguna".

- Kesalahan akan terjadi jika Anda mengatur panjang jalur lengkap file menjadi 256 byte\* atau lebih, sehingga file tidak ditransfer.

\*: Ekstensi disertakan. Panjang jalur yang dapat ditentukan oleh pengguna adalah 241 byte.



#### Catatan

- "Byte" dalam tabel berarti jumlah byte berdasarkan kode karakter UTF-8. "Jumlah byte teks" dan jumlah karakter yang dinyatakan oleh byte bergantung pada karakter. Misalnya, karakter lebar penuh dijelaskan dengan dua hingga empat byte.
- Jumlah maksimum file dan folder yang dapat disimpan dalam satu folder tujuan transfer adalah 10000.

## Teruskan Dokumen Faks yang Diterima dan Disimpan dalam Folder secara Manual

Bagian ini menjelaskan cara meneruskan dokumen faks yang disimpan dalam folder saat terjadi kesalahan saat meneruskannya atau ketika fitur Mulai Otomatis Transfer dinonaktifkan sementara.

### Langkah

- 1 Pilih folder tempat dokumen faks diterima dan disimpan sesuai dengan sub langkah berikut.
  - ▶ Jika folder untuk layanan Fax Tanpa Kertas dialokasikan untuk tombol pada layar Beranda Layanan (pada beberapa model, layar Menu)
    - (1) Tampilkan layar Beranda Layanan (pada beberapa model, layar Menu) dan tekan tombol folder yang diinginkan.
  - ▶ Jika folder untuk layanan Faks tanpa Kertas tidak dialokasikan untuk tombol di layar Beranda Layanan
    - (1) Tampilkan layar Beranda Layanan dan tekan [Krm dari Folder].
    - (2) Pada layar [Krm dari Folder], pilih folder yang diinginkan.
- 2 Pilih file yang akan diteruskan dari folder.

**3 Tekan [Pengaturan Alur Pek...].**

**4 Tekan [Mulai Alur Pek Saat Ini].**

Dokumen faks yang diterima dalam folder diteruskan ke tujuan tertentu.



**Catatan**

- Jika Anda mentransfer faks yang diterima sesuai dengan langkah-langkah di atas pada waktu yang dijadwalkan untuk pengecualian, faks tidak akan ditransfer ke folder yang ditentukan untuk aturan yang umum tetapi ditransfer ke folder yang ditentukan untuk pengecualian.

## Mengubah ID/Kode Sandi Administrator Sistem (Sandi)

Jika ID administrator sistem atau kode sandi telah diubah pada perangkat multifungsi, penggantian juga harus dilakukan pada Pengiriman Faks tanpa Kertas.

ID administrator sistem atau kode sandi (sand) dapat diubah dengan mengikuti langkah-langkah berikut.

### Langkah

**1 Mulai Pengiriman Faks tanpa Kertas.**



**Catatan**

- Bagian berikut ini menjelaskan cara memulai melalui panel kontrol, sebagai contoh.



**Lihat**

Untuk informasi lebih lanjut tentang proses untuk memulai, lihat bagian berikut.

- Saat memulai melalui panel kontrol perangkat multi fungsi, lihat "Penyetelan melalui Panel Kontrol Perangkat Multi Fungsi" > "Tampilkan Layar Pengaturan" di "Pengiriman Faks tanpa Kertas Panduan Pengguna".
- Saat memulai menggunakan Internet Services, lihat "Membuat Pengaturan dengan Menggunakan Internet Services" > "Tampilkan Layar Pengaturan" di "Pengiriman Faks tanpa Kertas Panduan Pengguna".

**2 Jika informasi administrator sistem perangkat multifungsi telah diubah, layar [Registrasikan ID/Sandi Administrator Sistem] muncul. Masukkan ID administrator sistem baru dan kode sandi pada [ID Login Administrator Sistem] dan pada [Kd Sandi Administrator Sistem], kemudian tekan [OK] (atau [Simpan]).**

Informasi administrator sistem pada Pengiriman Faks tanpa Kertas diubah.

**3 Setelah perubahan, seraya layar [Pengiriman Faks tanpa Kertas] ditampilkan, konfigurasi pengaturan sesuai kebutuhan, atau tutup layar tanpa pengaturan apa pun.**

## Updatings for Add-on Application

- Jadwal pelaksanaan pembaruan otomatis berbeda untuk setiap nomor seri perangkat multifungsi. Jika Anda ingin memperbarui aplikasi Add-on dari beberapa perangkat multifungsi secara bersamaan, lakukan pembaruan secara manual.
- Apabila Anda memilih [Updating for Add-on Apps] dan aplikasi lainnya bersama-sama dari layar pembaruan manual, dan pembaruan, aplikasi lainnya mungkin tidak akan diperbarui. Dalam hal ini, mohon perbarui lagi secara manual.

## 8 Những chú ý và hạn chế

- Chuyển phát công việc quét.....P.62
- Phân phát Fax không giấy.....P.67
- Updatings for Add-on Application.....P.70

### Chuyển phát công việc quét

#### Những chú ý và hạn chế trong toàn bộ ứng dụng

- Nếu bạn thiết lập Chuyển phát công việc quét cho thiết bị đa chức năng mà các tính năng quét và chuyển tiếp tài liệu không có sẵn, các nút loại tài liệu sẽ được hiển thị, nhưng bạn không thể quét hoặc chuyển tiếp tài liệu.
- Khi bộ nạp tài liệu tự động in 2 mặt không thể sử dụng được vì một lý do nào đó, bạn có thể chỉ định hai mặt trong Chuyển phát công việc quét, nhưng đầu vào và đầu ra được thực hiện bởi 1 mặt.
- Nếu bạn sử dụng thiết bị đa chức năng đã kết nối với thiết bị liên quan, Chuyển phát công việc quét chỉ hỗ trợ các thiết bị liên quan mà thông tin người dùng được tìm lại. Dịch vụ này không được đảm bảo khi thiết bị thanh toán được kết nối với thiết bị đa chức năng.
- Trong trường hợp sau, hiệu chỉnh nghiêng lệch không được thực hiện.
  - Hình ảnh màu và hình ảnh xám có độ phân giải là 600 dpi.
  - Chỉ có ảnh chụp
- Số tệp và thư mục tối đa có thể được lưu trữ trong một thư mục của đích truyền là 10000.

#### Những chú ý và hạn chế khi thực hiện công việc

- Khi lỗi xảy ra tại thời điểm thực hiện công việc, màn hình lỗi không hiển thị ngay cả khi công việc đã hoàn tất. Trong trường hợp đó, thông tin lỗi được ghi trong lịch sử công việc của thiết bị đa chức năng. Và sau đó kiểm tra nó. Đối với phương pháp kiểm tra lịch sử công việc, vui lòng tham khảo hướng dẫn được cung cấp cùng với thiết bị đa chức năng.
- Trường hợp có tồn tại tệp có cùng tên ở địa chỉ đích của văn bản quét thì ghi thêm dấu gạch ngang (-) vào số thứ tự 4 ký tự (0001~9999) vào cuối tên tệp. Nếu con số trên 9999, sẽ xảy ra lỗi.
- Trường hợp từ nhiều máy đa năng gửi tệp tin cùng một tên, đến cùng một địa chỉ, tại cùng một thời điểm, có thể tệp tin sẽ không được truyền đúng.  
Để ngăn chặn điều này, đối với quy tắc tên tệp tin, tốt hơn là nên thiết lập ngày tháng và thời gian kể cả lần thứ hai (Ví dụ: filename\_20151001123025.xdw).
- Chuyển tiếp FTP không hỗ trợ các giao thức với giao tiếp mã hoá như SFTP (SSH FTP) và FTPS (FTP trên SSL/TLS).
- Truyền thông FTP được vận hành ở chế độ tự động theo mặc định của nhà máy. Tùy thuộc vào máy chủ, chế độ có thể giao tiếp chỉ có thể là chế độ năng động. Trong trường hợp đó, thay đổi chế độ giao tiếp từ CentreWare Internet Services.
- Trường hợp tồn tại từ 10,000 tệp tin hoặc thư mục trở lên tại nơi lưu tệp tin trên máy chủ của địa chỉ đích, có thể văn bản quét sẽ không được xử lý đúng.

## Những chú ý và hạn chế về Chuyển phát công việc quét

### Những lưu ý và hạn chế về Kích thước dữ liệu

- Nếu kích thước của dữ liệu cài đặt vượt quá 1 MB, lỗi sẽ được hiển thị và thông tin cài đặt sẽ không được lưu. Trong trường hợp này, thay đổi cài đặt để lượng dữ liệu có thể giảm bớt.

### Những lưu ý và hạn chế về Tính năng Nén cao

- Một số kiểu máy của các thiết bị đa chức năng có thể không hỗ trợ tính năng Nén cao.
- Tính năng Nén cao khả dụng khi các giá trị sau được thiết lập trong kiểu tài liệu.
  - Định dạng tệp  
PDF hoặc DocuWorks
  - Độ phân giải  
200 dpi hoặc 300 dpi
  - Quét màu  
Màu, Tự động, hoặc Thang độ xám
- Tùy thuộc vào thiết bị đa chức năng của bạn, một số cài đặt tùy chọn có thể được yêu cầu để sử dụng tính năng này. Để biết thêm thông tin, hãy liên hệ Trung tâm hỗ trợ khách hàng của chúng tôi.

### Những lưu ý và hạn chế về Tính năng Tìm kiếm văn bản

- Một số kiểu máy của các thiết bị đa chức năng có thể không hỗ trợ tính năng Tìm kiếm văn bản.
- Tính năng Tìm kiếm văn bản khả dụng khi các giá trị sau được thiết lập trong kiểu tài liệu.
  - Định dạng tệp  
PDF hoặc DocuWorks
  - Độ phân giải  
200 dpi hoặc 300 dpi
  - Kiểu bản gốc  
Văn bản hoặc Ảnh & văn bản
- Để sử dụng chức năng nhận dạng ký tự (OCR) thì cần có bộ mở rộng chức năng quét tùy chỉnh.



#### Lưu ý

Tùy thuộc vào thiết bị đa chức năng của bạn, các thành phần tùy chọn có thể khác nhau. Để biết thêm thông tin, hãy liên hệ Trung tâm hỗ trợ khách hàng của chúng tôi.

### Những lưu ý và hạn chế về Tính năng gửi E-mail thông báo đến Người dùng xác thực

- Nếu tính năng xác thực không được kích hoạt trên thiết bị đa chức năng hoặc địa chỉ e-mail của người dùng xác thực chưa được đăng ký với thiết bị đa chức năng, e-mail sẽ không được gửi ngay cả khi tính năng Thông báo cho người dùng xác thực đã được kích hoạt.
- Nếu bạn chọn [Thông báo người dùng được xác thực] trên màn hình Cài đặt loại tài liệu và chỉ định địa chỉ e-mail của người dùng xác thực cho [Thông báo E-mail (nhập địa chỉ E-mail) 2] hoặc [Thông báo E-mail (nhập địa chỉ E-mail) 3], hai e-mail nữa sẽ được gửi đến địa chỉ trên.
- Khi áp dụng XSA (Xerox Standard Accounting) cho thiết bị đa chức năng, không hiển thị và không thể sử dụng [Thông báo người dùng được xác thực].

## Những lưu ý và hạn chế về Phiên bản DocuWorks và các Thuộc tính thông thường/Thuộc tính mở rộng

Nếu các thuộc tính thông thường hoặc thuộc tính mở rộng đã được thêm vào Tài liệu DocuWorks, yêu cầu DocuWorks 7 trở lên để có thể xem tài liệu.

Nếu bạn dùng phiên bản cũ hơn DocuWorks 7, hãy chắc chắn đã thiết lập các cài đặt sau đây để các thuộc tính thông thường và thuộc tính mở rộng không thể được thêm vào.

- Chọn [Tắt] dưới [Thiết đặt thông tin chung] > [Áp dụng các thuộc tính xác định]
- Bỏ chọn hộp kiểm tra [Thuộc tính mở rộng] trong [Thiết đặt loại tài liệu], hoặc chọn [Không] cho [Thêm thuộc tính] trên màn hình để cài đặt thuộc tính mở rộng khi quét

## Những lưu ý và hạn chế về cập nhật thông tin cài đặt

- Thông tin cài đặt của Chuyển phát công việc quét không thể được cập nhật trong khi thiết bị đa chức năng đang xử lý công việc hoặc đang được thao tác bởi một người dùng thông qua bảng điều khiển. Sau khi công việc được hoàn thành hoặc thao tác của người dùng thông qua bảng điều khiển kết thúc, hãy thử cập nhật lại thông tin cài đặt.

## Lưu ý và hạn chế về độ dài đường dẫn của tên tệp

Nếu bạn đặt độ dài đường dẫn đầy đủ của tệp từ 256 byte\* trở lên, có thể không thêm được tất cả các mục quy định trong quy tắc tên tệp vào tên tệp do điều chỉnh tên tệp.

\*: Tính cả đuôi mở rộng. Độ dài đường dẫn mà người dùng có thể quy định là 241 byte.

### Lưu ý

- “Byte” trong bảng có nghĩa là số byte theo mã ký tự UTF-8.  
“Số byte của văn bản” và số ký tự mà byte biểu diễn phụ thuộc vào ký tự. Ví dụ, hệ thống mô tả các ký tự đủ độ rộng bằng hai đến bốn byte.

## Những lưu ý và hạn chế về Xử lý Ngôn ngữ

Ngôn ngữ hiển thị phải được đặt trước trong thiết bị đa năng, bởi các tên hiển thị sẽ được chuẩn bị cho từng ngôn ngữ cho tên loại danh mục, tên loại tài liệu và tên thuộc tính mở rộng. “Chưa nhập” được đặt cho các ngôn ngữ mà tên hiển thị chưa được đặt.

Thực hiện các bước sau để đặt giá trị cho các ngôn ngữ khác ngoài tiếng Nhật và tiếng Anh.

### Các bước

- 1** [Thiết bị] > [Thiết đặt chung] > [Thiết đặt màn hình / nút] > [Ngôn ngữ mặc định] trên thiết bị đa năng đến ngôn ngữ bạn muốn đặt.
- 2** Khởi động lại thiết bị đa năng.
- 3** Hiển thị màn hình thiết đặt cho Thực hiện quét.
- 4** Từ menu bên hông, chọn [Thiết đặt bộ lệnh thông dụng] > [Thiết đặt thông tin chung].
- 5** Thay đổi [Ngôn ngữ đang xử lý] thành ngôn ngữ được đặt ở bước 1, và nhấp vào [Áp dụng].
- 6** Chọn [Thiết đặt chuyển phát công việc quét] từ menu bên hông, và cài đặt tên loại danh mục, tên loại tài liệu và tên thuộc tính mở rộng.

## Những chú ý và hạn chế Khi bạn sử dụng trình duyệt Firefox tại thời điểm giao tiếp SSL

Nếu bạn truy cập thiết bị đa chức năng mà thiết lập giao tiếp SSL, bằng cách sử dụng Firefox cho trình duyệt web, CentreWare Internet Services có thể không được hiển thị đúng.

Trong trường hợp đó, thực hiện các bước sau.

### Các bước

- 1 Khởi động trình duyệt Firefox.**
- 2 Nhập "about:config" vào thanh địa chỉ của trình duyệt và nhấn phím <Enter>.**  
Menu các cài đặt được hiển thị.
- 3 Thiết lập giá trị của "security.tls.version.fallback-limit" thành 1.**

## Những chú ý và hạn chế về kích thước in của Mã QR

Để giải mã QR được quét một cách chính xác, cần in đúng kích cỡ vùng mã QR (vùng mã) và vùng bao gồm lề quanh mã QR (vùng in).

Bảng dưới đây cho biết số lượng dữ liệu (số byte) mà bạn có thể lưu trữ trong mã QR được xác định bởi số mẫu mã QR và mức hiệu chỉnh lỗi (L, M, Q, H) và mối quan hệ giữa vùng mã và vùng in cho mỗi độ phân giải đọc tương ứng với số lượng dữ liệu.

Tùy theo lượng dữ liệu mã QR (số byte văn bản) khi tạo chuỗi văn bản cho mã QR hoặc tài liệu có mã QR và độ phân giải tại thời điểm quét, hãy tạo và in mã QR có kích thước phù hợp.

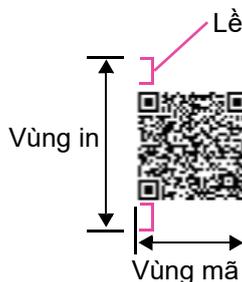
### 💡 Lưu ý

- "Byte" trong bảng nghĩa là số byte bằng mã ký tự UTF-8.

"Số byte của văn bản" và số ký tự thể hiện bởi các byte phụ thuộc vào ký tự. Ví dụ, hệ thống mô tả các ký tự đủ độ rộng bằng hai đến bốn byte.

Ví dụ:

Để sử dụng Mẫu số 15 ở cấp H, quét mã QR khoảng 100 ký tự (tối đa 220 byte) với độ phân giải 300 dpi, và giải mã đúng, bạn cần in mã QR có vùng mã 39,1 mm và vùng in 45,2 mm.



Mẫu số	Số lượng dữ liệu (Byte)				Vùng mã M (mm)				Vùng in M (mm)			
	L	M	Q	H	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi
2	32	26	20	14	19,1	12,7	9,5	6,4	28,2	18,8	14,1	9,4
3	53	42	32	24	22,1	14,7	11	7,4	31,2	20,8	15,6	10,4
4	78	62	46	34	25,1	16,8	12,6	8,4	34,3	22,9	17,1	11,4

Mẫu số	Số lượng dữ liệu (Byte)				Vùng mã M (mm)				Vùng in M (mm)			
	L	M	Q	H	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi
5	106	84	60	44	28,2	18,8	14,1	9,4	37,3	24,9	18,7	12,4
6	134	106	74	58	31,2	20,8	15,6	10,4	40,4	26,9	20,2	13,5
7	154	122	86	64	34,3	22,9	17,1	11,4	43,4	29	21,7	14,5
8	192	152	108	84	37,3	24,9	18,7	12,4	46,5	31	23,2	15,5
9	230	180	130	98	40,4	26,9	20,2	13,5	49,5	33	24,8	16,5
10	271	213	151	119	43,4	29	21,7	14,5	52,6	35,1	26,3	17,5
11	321	251	177	137	46,5	31	23,2	15,5	55,6	37,1	27,8	18,5
12	367	287	203	155	49,5	33	24,8	16,5	58,7	39,1	29,3	19,6
13	425	311	241	177	52,6	35,1	26,3	17,5	61,7	41,1	30,9	20,6
14	458	362	258	194	55,6	37,1	27,8	18,5	64,8	43,2	32,4	21,6
15	520	412	292	220	58,7	39,1	29,3	19,6	67,8	45,2	33,9	22,6
16	586	450	322	250	61,7	41,1	30,9	20,6	70,9	47,2	35,4	23,6
17	644	504	364	280	64,8	43,2	32,4	21,6	73,9	49,3	37	24,6
18	718	560	394	310	67,8	45,2	33,9	22,6	77	51,3	38,5	25,7
19	792	624	442	338	70,9	47,2	35,4	23,6	80	53,3	40	26,7
20	858	666	482	382	73,9	49,3	37	24,6	83,1	55,4	41,5	27,7
21	929	711	509	403	77	51,3	38,5	25,7	86,1	57,4	43,1	28,7
22	1003	799	565	439	80	53,3	40	26,7	89,2	59,4	44,6	29,7
23	1091	857	611	461	83,1	55,4	41,5	27,7	92,2	61,5	46,1	30,7
24	1171	911	661	511	86,1	57,4	43,1	28,7	95,3	63,5	47,6	31,8
25	1273	997	715	535	89,2	59,4	44,6	29,7	98,3	65,5	49,1	32,8
26	1367	1059	751	593	92,2	61,5	46,1	30,7	101,3	67,6	50,7	33,8
27	1465	1125	805	625	95,3	63,5	47,6	31,8	104,4	69,6	52,2	34,8
28	1528	1190	868	658	98,3	65,5	49,1	32,8	107,4	71,6	53,7	35,8
29	1628	1264	908	698	101,3	67,6	50,7	33,8	110,5	73,7	55,2	36,8
30	1732	1370	982	742	104,4	69,6	52,2	34,8	113,5	75,7	56,8	37,8
31	1840	1452	1030	790	107,4	71,6	53,7	35,8	116,6	77,7	58,3	38,9
32	1952	1538	1112	842	110,5	73,7	55,2	36,8	119,6	79,8	59,8	39,9
33	2068	1628	1168	898	113,5	75,7	56,8	37,8	122,7	81,8	61,3	40,9
34	2188	1722	1228	958	116,6	77,7	58,3	38,9	125,7	83,8	62,9	41,9
35	2303	1809	1283	983	119,6	79,8	59,8	39,9	128,8	85,9	64,4	42,9
36	2431	1911	1351	1051	122,7	81,8	61,3	40,9	131,8	87,9	65,9	43,9
37	2563	1989	1423	1093	125,7	83,8	62,9	41,9	134,9	89,9	67,4	45
38	2699	2099	1499	1139	128,8	85,9	64,4	42,9	137,9	91,9	69	46
39	2809	2213	1579	1219	131,8	87,9	65,9	43,9	141	94	70,5	47
40	2953	2331	1663	1273	134,9	89,9	67,4	45	144	96	72	48

## Những chú ý và hạn chế về kích cỡ in của mã vạch

Để mã vạch đã quét được giải mã chính xác, cần phải đáp ứng các tiêu chuẩn sau.

- Độ rộng của mã vạch đáp ứng các tiêu chuẩn sau
  - Độ rộng tối thiểu: 0,7 mm trong trường hợp quét ở độ phân giải 200 dpi, 300 dpi
  - Độ rộng tối thiểu: 0,3 mm trong trường hợp quét ở độ phân giải 400 dpi, 600 dpi
- Khoảng trống xung quanh mã vạch gấp 10 lần độ rộng tối thiểu
- Chiều cao tối thiểu của mã vạch là 10 mm. Giá trị này là chiều cao quy định cho 10 chữ số. Trường hợp trên 10 chữ số, chiều cao cần phải tỷ lệ với số chữ số.

## Lưu ý và hạn chế về mã QR thông thường và mã vạch

Khi chỉ định mã QR thông thường và mã vạch cho tên thư mục, "/" có trong chuỗi ký tự tương ứng được coi là phân cấp. Tuy nhiên, nếu được vào ở cuối chuỗi ký tự, nó sẽ bị bỏ qua.

## Phân phát Fax không giấy



### Lưu ý

- Ở một số loại máy, vui lòng đọc "Màn hình Trang chủ" như "Màn hình Trình đơn".

## Những chú ý và hạn chế

- Nếu ID người quản trị hệ thống hoặc mật mã bị thay đổi thông qua menu [Thiết bị] (trên một số máy là [Thiết đặt hệ thống]) của thiết bị đa chức năng, hãy chắc chắn rằng bạn đã thay đổi thiết lập thông tin người quản trị hệ thống trong Phân phát Fax không giấy. Nếu ID người quản trị hệ thống hoặc mật mã đã đăng ký trong Phân phát Fax không giấy khác với thông tin trên thiết bị đa chức năng thì thiết bị đa chức năng sẽ không thể chuyển đổi giữa quy tắc ngoại lệ và quy tắc thông thường.

Để biết thêm thông tin về cách thức thay đổi ID người quản trị hệ thống hoặc mật mã trong Phân phát Fax không giấy, vui lòng tham khảo "Thay đổi ID người quản trị hệ thống/Mật mã (Mật khẩu)"(P.69).

- Nếu mật khẩu dành cho điểm đích chuyển tiếp (SMB, FTP, hoặc Working Folder) bị thay đổi, hãy chắc chắn rằng bạn đã thay đổi mật khẩu trong Phân phát Fax không giấy. Mật khẩu, đã xảy ra lỗi chuyển.
- Hệ thống không xuất lịch sử chuyển đổi tiêu chuẩn/ngoại lệ của [Chuyển đổi Hoạt động Fax không giấy] cùng các thiết đặt khác.
- Không chuyển tiếp fax đến vào Working Folder trong khi đang bảo trì máy chủ Working Folder. Điều này gây ra lỗi chuyển và các fax nhận được trong quá trình bảo trì sẽ được lưu vào thư mục đến. Để chuyển các fax lưu trong thư mục vào máy chủ, hãy thực hiện các bước mô tả trong "Chuyển tiếp bằng tay các bản fax đã nhận được lưu trong thư mục"(P.69).
- Nếu bạn lưu cài đặt cho mỗi mục trên màn hình Phân phát Fax không giấy, các bước sau đây sẽ được tự động cấu hình hoặc xử lý.
  - Tạo một thư mục mới hoặc thay đổi thư mục đang tồn tại
  - Tạo một bảng chuỗi công việc mới hoặc chỉnh sửa bảng chuỗi công việc đang tồn tại
  - Cài đặt bộ chọn thư mục theo đường truyền
  - Kích hoạt bộ chọn thư mục
  - Cài đặt tính năng Báo cáo thư mục thành [Tắt]

-Thay đổi bố cục các nút trên màn hình Trang chủ chính

- Nếu từng cài đặt được chỉ định trên màn hình Phân phát Fax không giấy, tính năng Báo cáo thư mục sẽ được tự động tắt. Để tự động in Báo cáo thư mục, chọn [Bật] trong [Thiết bị] > [Thiết đặt hệ thống] > [Báo cáo] (trên một số máy là [Thiết đặt hệ thống] > [Thiết đặt bộ lệnh thông dụng] > [Báo cáo]).
- Hãy chắc chắn rằng bạn đã thay đổi cả hai đường dẫn giữa các đường truyền fax và các thư mục cũng như đường dẫn giữa các thư mục và các bảng chuỗi công việc đã được thiết lập với Phân phát Fax không giấy thông qua menu vận hành của thiết bị đa chức năng.
- Nếu thông tin đã đăng ký trong Sổ địa chỉ của thiết bị đa chức năng bị thay đổi sau khi điểm đích chuyển tiếp được chỉ định từ Sổ địa chỉ trên màn hình Phân phát Fax không giấy, thông tin trên điểm đích chỉ định sẽ không được tự động cập nhật với Phân phát Fax không giấy. Trong trường hợp này, bạn cần phải thiết lập lại điểm đích chuyển tiếp. Bảng chuỗi công việc được tạo với Phân phát Fax không giấy không khớp với Sổ địa chỉ của thiết bị đa chức năng.
- Bảng chuỗi công việc đã tạo với Phân phát Fax không giấy không thể chỉnh sửa được bằng CentreWare Internet Services hoặc Device Setup.
- Trong các trường hợp sau, văn bản sẽ bị xóa mà không phụ thuộc vào thiết đặt tại [Xóa tệp sau khi truy xuất] trên màn hình thiết đặt phân phát fax không giấy.
  - Khi [Bắt buộc xóa] được chọn trên [Thiết bị] > [Thiết đặt ứng dụng] > [Thiết đặt gửi từ thư mục] > [Tệp do máy khách truy xuất] (trên một số máy là [Thiết đặt hệ thống] > [Thiết đặt bộ lệnh thư mục] > [Tệp do máy khách truy xuất]):  
Các cài đặt cho mỗi thư mục sẽ được bỏ qua, và các bản fax đã nhận được lưu trong thư mục sẽ bị xóa cưỡng chế khi chúng được lấy ra bởi máy trạm.
  - Thời hạn lưu của tài liệu được cài đặt trong [Thiết bị] > [Thiết đặt ứng dụng] > [Thiết đặt gửi từ thư mục] > [Giai đoạn giữ lại tệp] (trên một số máy là [Thiết đặt hệ thống] > [Thiết đặt tệp đã lưu] > [Ngày hết hạn cho tệp trong thư mục]) và [Có] được chọn trong [Gửi từ thư mục] > [Thiết đặt thư mục] > [Xóa tệp hết hạn] (trên một số máy là [Thiết lập] > [Tạo thư mục] > [Xóa tệp hết hạn]):  
Các tệp tin đã hết hạn trong thư mục sẽ bị xóa vào thời điểm chỉ định.
- Khi lỗi xảy ra do sự cố trên máy chủ nơi chuyển tiếp hoặc rớt mạng trong khi chuyển tiếp các bản fax đã nhận, các bản fax này sẽ được lưu trong một thư mục. Tại thời điểm này, thư mục đã tạo tại đích truyền được giữ lại không bị xóa. Tuy nhiên, chúng sẽ không được chuyển tiếp đến nơi được chỉ định một lần nữa ngay cả khi lỗi được giải quyết. Để chuyển tiếp các bản fax đã nhận được lưu trong thư mục, thực hiện thao tác được trình bày trong "Chuyển tiếp bằng tay các bản fax đã nhận được lưu trong thư mục"(P.69). Các bản fax được chuyển tiếp lại đến thư mục đã tạo tại đích truyền. Ngoài ra, khi dừng tạm thời tính năng Bắt đầu tự động chuyển thì các bản fax được lưu trữ trong hộp sẽ không được chuyển tiếp tự động, ngay cả khi bật lại tính năng Bắt đầu tự động chuyển. Để chuyển tiếp các bản fax đã nhận được lưu trong thư mục, thực hiện thao tác được trình bày trong "Chuyển tiếp bằng tay các bản fax đã nhận được lưu trong thư mục"(P.69).
- Chúng tôi khuyến nghị bạn nên đặt ký hiệu thư mục ở nơi mà bạn có thể dễ dàng tìm thấy trên màn hình Trình đơn chính, việc này sẽ giúp bạn nhận biết các fax còn sót lại trong thư mục đến.  
Thêm vào đó, chúng tôi khuyên bạn nên cấu hình cài đặt in tự động "Báo cáo truyền tin - Công việc chưa được giao" để có thể xác nhận thông tin lỗi chi tiết (Cài đặt này được bật theo mặc định.).

Để biết thêm chi tiết, hãy tham khảo "Cài đặt trợ giúp cho Xử lý sự cố" ở mục "Phân phát Fax không giấy Hướng dẫn sử dụng".

- Nếu bạn đặt độ dài đường dẫn đủ của tệp là 256 byte\* hoặc hơn, lỗi xảy ra và không chuyển được tệp.

\*: Tính cả đuôi mở rộng. Độ dài đường dẫn mà người dùng có thể quy định là 241 byte.



#### Lưu ý

- "Byte" trong bảng có nghĩa là số byte theo mã ký tự UTF-8. "Số byte của văn bản" và số ký tự mà byte biểu diễn phụ thuộc vào ký tự. Ví dụ, hệ thống mô tả các ký tự đủ độ rộng bằng hai đến bốn byte.
- Số tệp và thư mục tối đa có thể được lưu trữ trong một thư mục của đích truyền là 10000.

## Chuyển tiếp bằng tay các bản fax đã nhận được lưu trong thư mục

Các bản fax được lưu trữ trong hộp khi xảy ra lỗi chuyển tiếp hoặc trong khi dừng tạm thời chuyển tiếp, thì có thể chuyển tiếp các bản fax này theo trình tự như dưới đây.

### Các bước

#### 1 Chọn thư mục nơi các bản fax đã nhận được lưu theo các bước phụ sau đây.

▶ Khi các thư mục cho dịch vụ Fax không giấy được gán cho các nút trên màn hình Services Home

(1) Hiện thị màn hình Services Home và nhấn vào nút thư mục mong muốn.

▶ Khi các thư mục cho dịch vụ Fax không giấy không được gán cho các nút trên màn hình Services Home

(1) Hiện thị màn hình Services Home và nhấn vào [Gửi từ thư mục].

(2) Trên màn hình [Gửi từ thư mục], chọn thư mục mong muốn.

#### 2 Chọn các tập tin cần chuyển tiếp từ thư mục.

#### 3 Nhấn [Thiết đặt chuỗi công việc...].

#### 4 Nhấn [Bắt đầu chuỗi c.việc hiện thời].

Các bản fax đã nhận trong thư mục được chuyển tiếp đến nơi chỉ định.



#### Lưu ý

- Nếu bạn chuyển tiếp các fax đã nhận được theo các bước trên vào thời gian đã định dành cho ngoại lệ thì các fax này sẽ không được chuyển tiếp đến thư mục chỉ định dành cho quy tắc thông thường mà được chuyển tiếp đến thư mục chỉ định dành cho ngoại lệ.

## Thay đổi ID người quản trị hệ thống/Mật mã (Mật khẩu)

Nếu ID người quản trị hệ thống hoặc mật mã bị thay đổi với thiết bị đa chức năng thì cũng sẽ bị thay đổi với Phân phát Fax không giấy.

Có thể thay đổi ID người quản trị hệ thống hoặc mật mã (mật khẩu) theo các bước sau đây.

### Các bước

#### 1 Khởi động Phân phát Fax không giấy.



#### Lưu ý

- Các bước sau đây mô tả cách khởi động thông qua bảng điều khiển dưới dạng ví dụ.



**Xem**

Để biết thêm chi tiết về việc khởi động, vui lòng tham khảo các bước sau đây.

- Khi khởi động thông qua bảng điều khiển của thiết bị đa chức năng, hãy tham khảo mục "Thiết lập thông qua Bảng điều khiển của thiết bị đa chức năng" > "Hiển thị màn hình cài đặt" trong "Phân phát Fax không giấy Hướng dẫn sử dụng".
- Khi bắt đầu sử dụng Internet Services, hãy tham khảo mục "Thiết lập sử dụng Internet Services" > "Hiển thị màn hình cài đặt" trong "Phân phát Fax không giấy Hướng dẫn sử dụng".

**2** Khi thông tin người quản trị máy in đa chức năng bị thay đổi thì sẽ hiển thị màn hình [Đăng ký ID/Mật khẩu người quản trị hệ thống]. Nhập ID người quản trị hệ thống và mật mã mới trong [ID người quản trị hệ thống] và trong [Mật khẩu người quản trị hệ thống], rồi nhấn [OK] (hoặc [Luu]).

Thông tin người quản trị hệ thống của Phân phát Fax không giấy đã được thay đổi.

**3** Sau khi thay đổi, khi màn hình [Phân phát Fax không giấy] hiển thị, hãy cấu hình cài đặt nếu cần thiết, hoặc đóng màn hình mà không cần thêm bất kỳ cài đặt nào.

## Updating for Add-on Application

- Lịch biểu mà việc cập nhật tự động được thực thi sẽ khác nhau cho mỗi số sê-ri thiết bị đa chức năng. Nếu bạn muốn cập nhật các ứng dụng add-on của nhiều thiết bị đa chức năng cùng lúc, hãy thực hiện cập nhật một cách thủ công.
- Nếu bạn chọn [Updating for Add-on Apps] và các ứng dụng khác cùng nhau từ màn hình cập nhật thủ công, và cập nhật, thì các ứng dụng khác có thể không được cập nhật. Trong trường hợp này, vui lòng cập nhật một lần nữa.

## 注意制限事項集

著作者 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社  
発行者 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

発行年月 2022年9月 第1版

(帳票番号：ME9078Z8-1)